

小中学校の適正規模等に関する アンケート調査

- 調査結果報告書 -

令和3年2月

二本松市教育委員会 教育総務課

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
第2章 調査結果	2
1. 回答者について.....	2
問1 性別.....	2
問2 年齢.....	2
問3 居住地（小学校区）.....	2
問4 出身地.....	3
問5 勤務先.....	3
問6 家庭に児童生徒がいるかどうか.....	3
2. 児童生徒数について.....	4
問7 小学校における1学級あたりの望ましい児童数.....	4
問8 中学校における1学級あたりの望ましい生徒数.....	4
問9 複式学級について.....	7
問10 義務教育学校（小中一貫校）について.....	12
3. 学校規模によるメリット・デメリットについて.....	13
問11 学校の児童生徒数や学級数が少ない場合に期待できること.....	13
問12 学校の児童生徒数や学級数が少ない場合に課題となること.....	20
問13 学校の児童生徒数や学級数が多い場合に期待できること.....	27
問14 学校の児童生徒数や学級数が多い場合に課題となること.....	34
問15 学級の人数が減ることによる影響.....	41
4. 通学方法、通学時間について.....	50
問16 小学生の望ましい通学方法.....	50
問17 小学生の通学時間.....	51
問18 小学生の通学距離.....	52
問19 中学生の望ましい通学方法.....	53
問20 中学生の通学時間.....	54
問21 中学生の通学距離.....	55
5. 適正規模・適正配置を検討するうえで配慮すべき点について.....	56
問22 学校の適正規模・適正配置を検討するうえで配慮すべき点.....	56
問23 学校教育や学校生活に関して重要なこと.....	68
問24 学校の統合や学区の再編について.....	75
6. 地域コミュニティの核としての学校の役割について.....	76
問25 地域コミュニティの側面から学校に期待する役割.....	76

第1章 調査の概要

1.調査の目的

二本松市立小学校及び中学校適正規模等調査検討会において、小中学校の適正規模等についての検討を進めるうえでの基礎資料とするために実施した。

2.調査概要

項目	内容
調査対象	市内に居住する満20歳以上の市民
標本数	2,000件
抽出方法	住民基本台帳から小学校区ごとに小学校区の人数に応じて無作為抽出
調査方法	郵送配付・回収
調査実施時期	令和2年7月17日（金）～9月30日（水）

3.回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	776件	38.8%

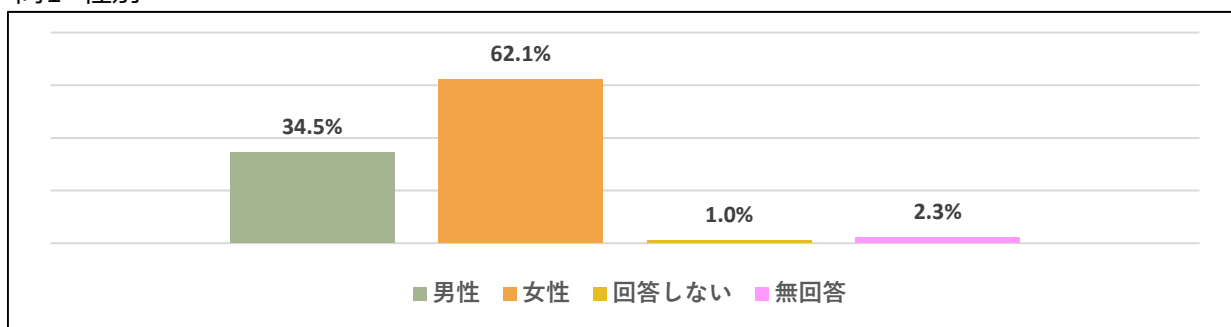
4.報告書の見方

- ◆回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。
- ◆図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ◆グラフの見やすさを考慮し、グラフ中の「0.0」を非表示にしている場合がある。
- ◆回答数が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中で言及していない場合がある。

第2章 調査結果

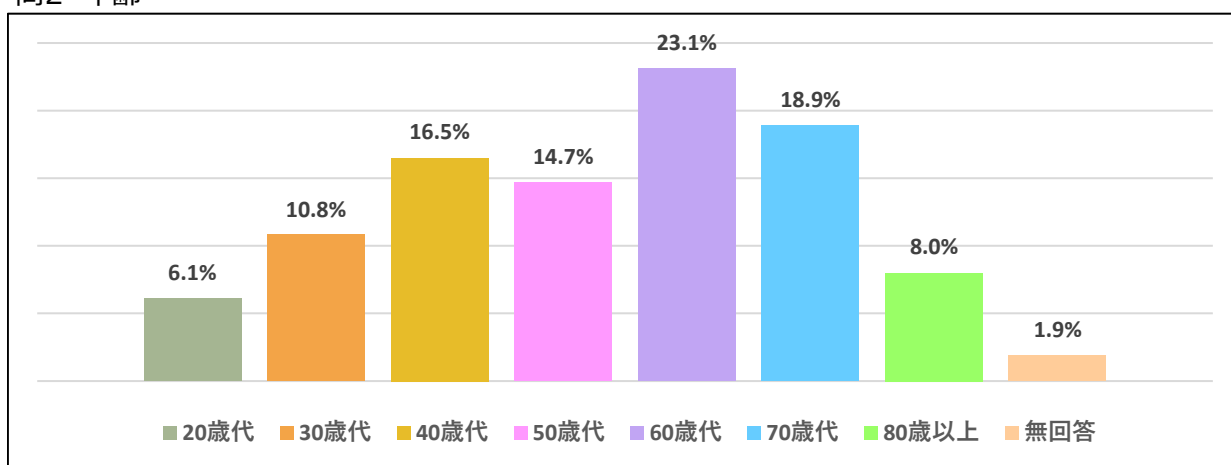
1.回答者について

問1 性別



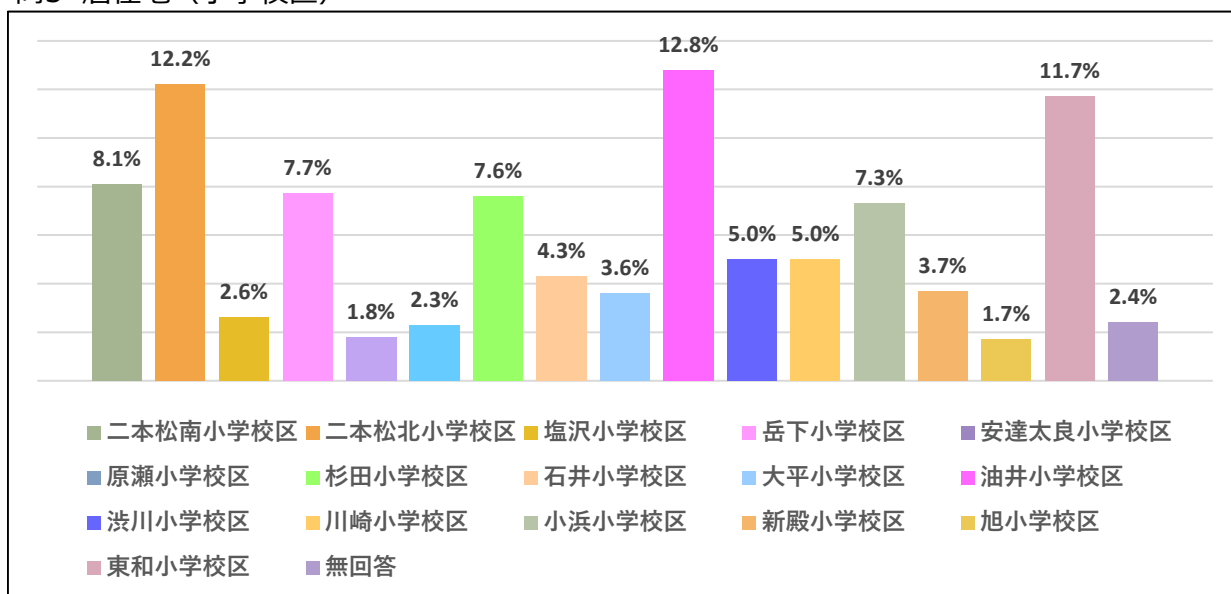
性別について、「男性」が34.5%、「女性」が62.1%となっている。

問2 年齢



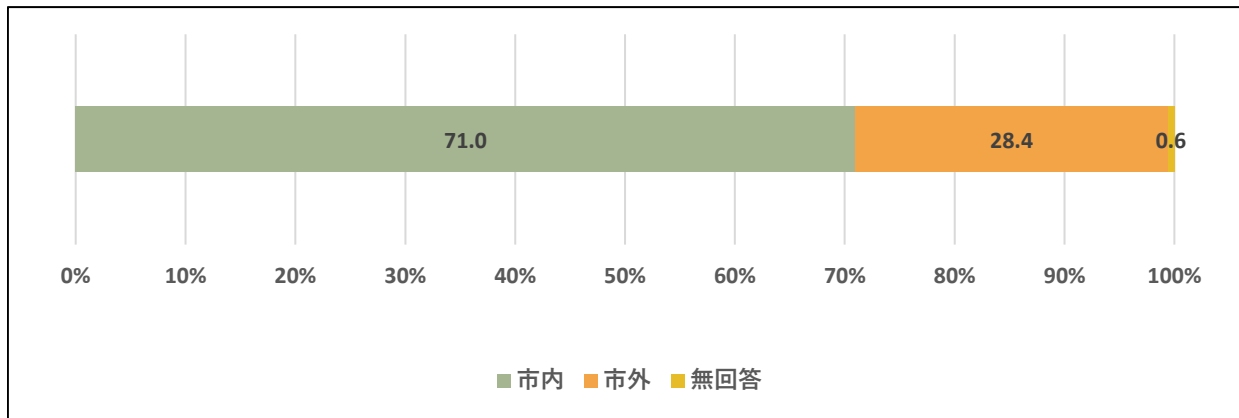
年齢について、「60歳代」が23.1%と最も多く、次いで「70歳代」（18.9%）、「40歳代」（16.5%）となっている。

問3 居住地（小学校区）



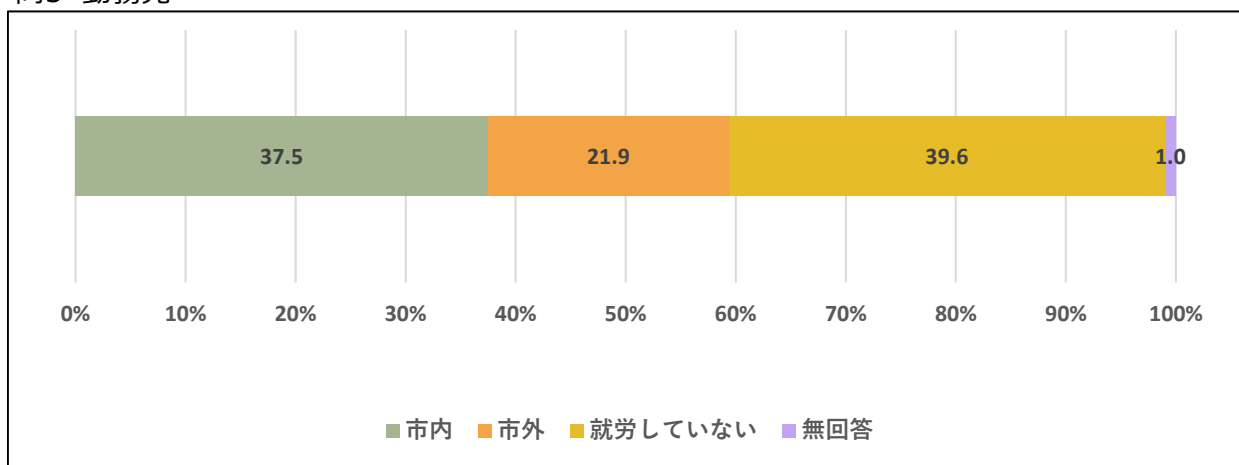
小学校区の人口割合で対象者の抽出を行ったこともあり、回答者の割合も人口割合に近いものとなっている。

問4 出身地



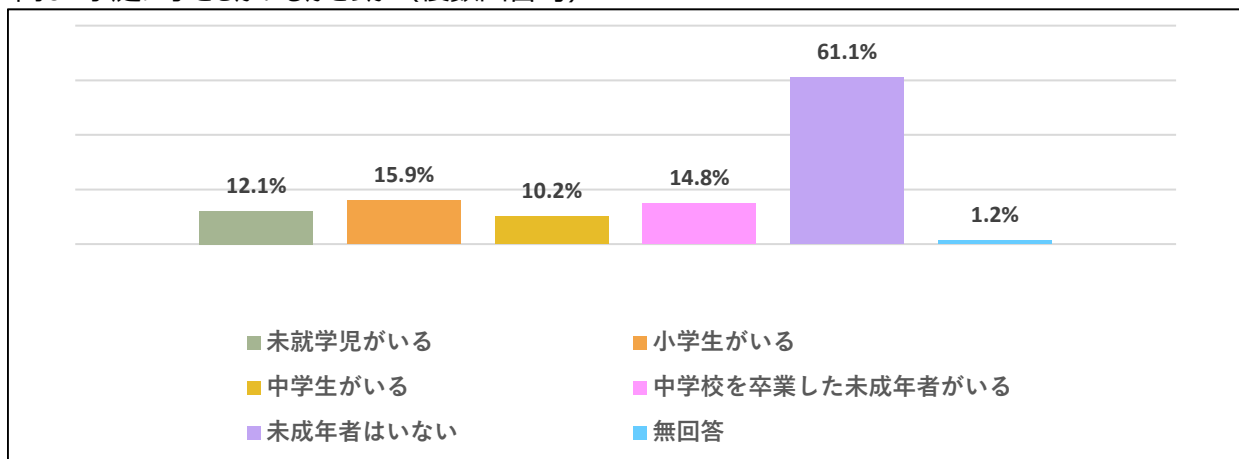
出身地について、「市内」が71.0%、「市外」が28.4%となっている。

問5 勤務先



勤務先について、「市内」が37.5%、「市外」が21.9%、合計59.4%となっており、「就労していない」が39.6%となっている。

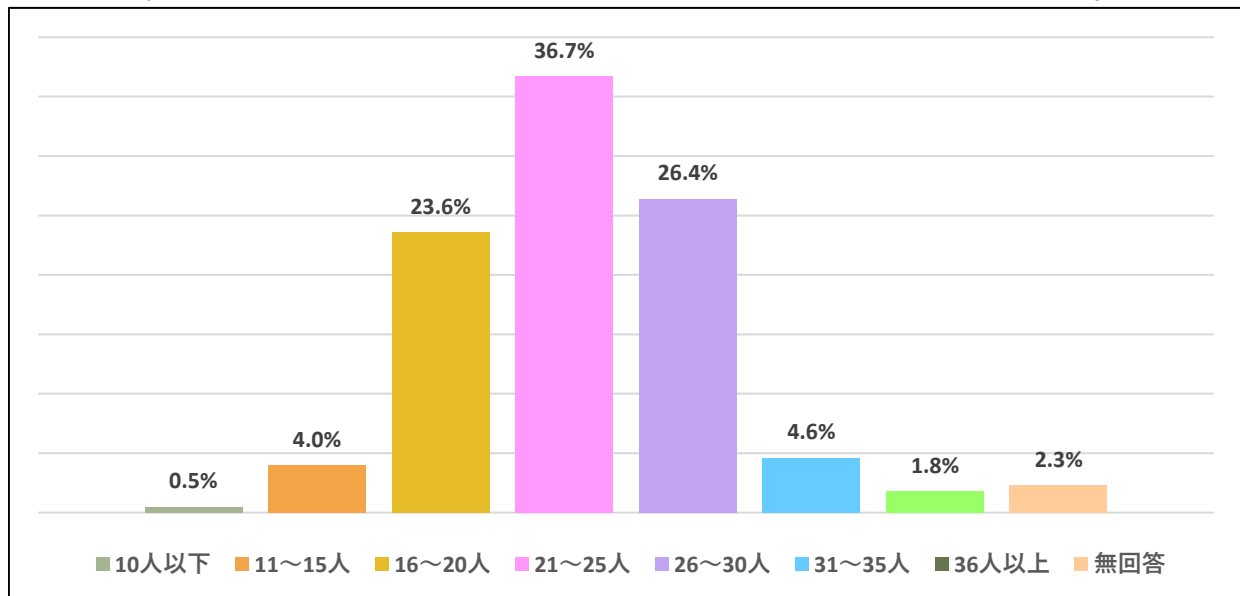
問6 家庭に子どもがいるかどうか（複数回答可）



回答者のうち6割以上は「未成年者はいない」となっている。問2の結果から、子どもが既に成人した家庭が多いのではないかと考えられる。

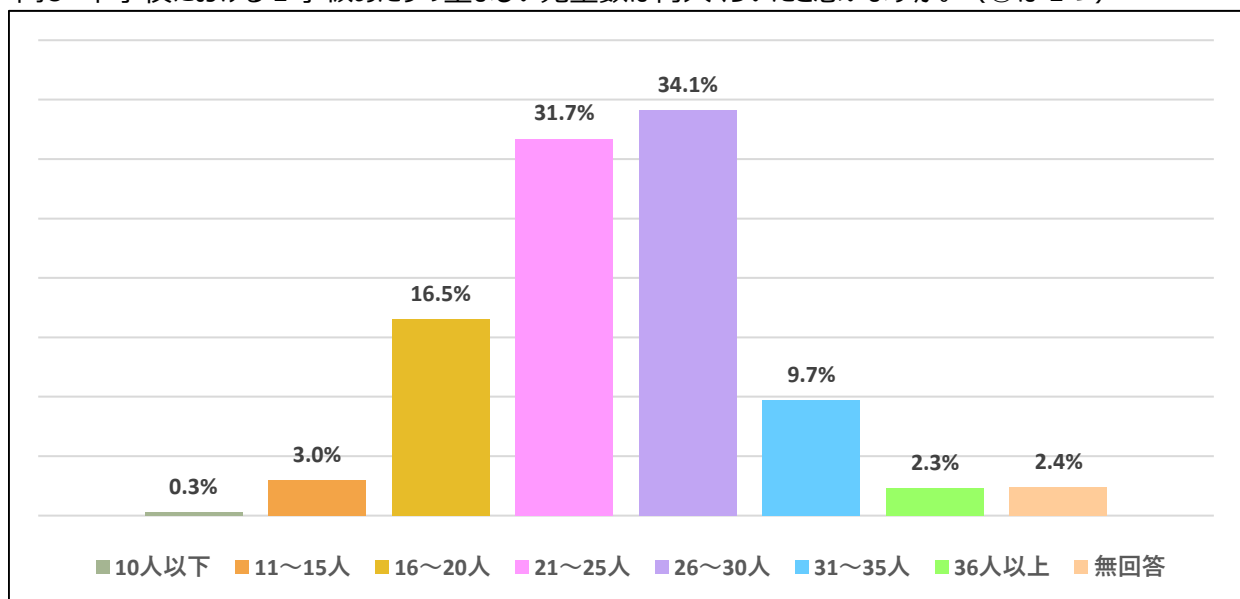
2.児童生徒数について

問7 小学校における1学級あたりの望ましい児童数は何人くらいだと思いますか。(○は1つ)



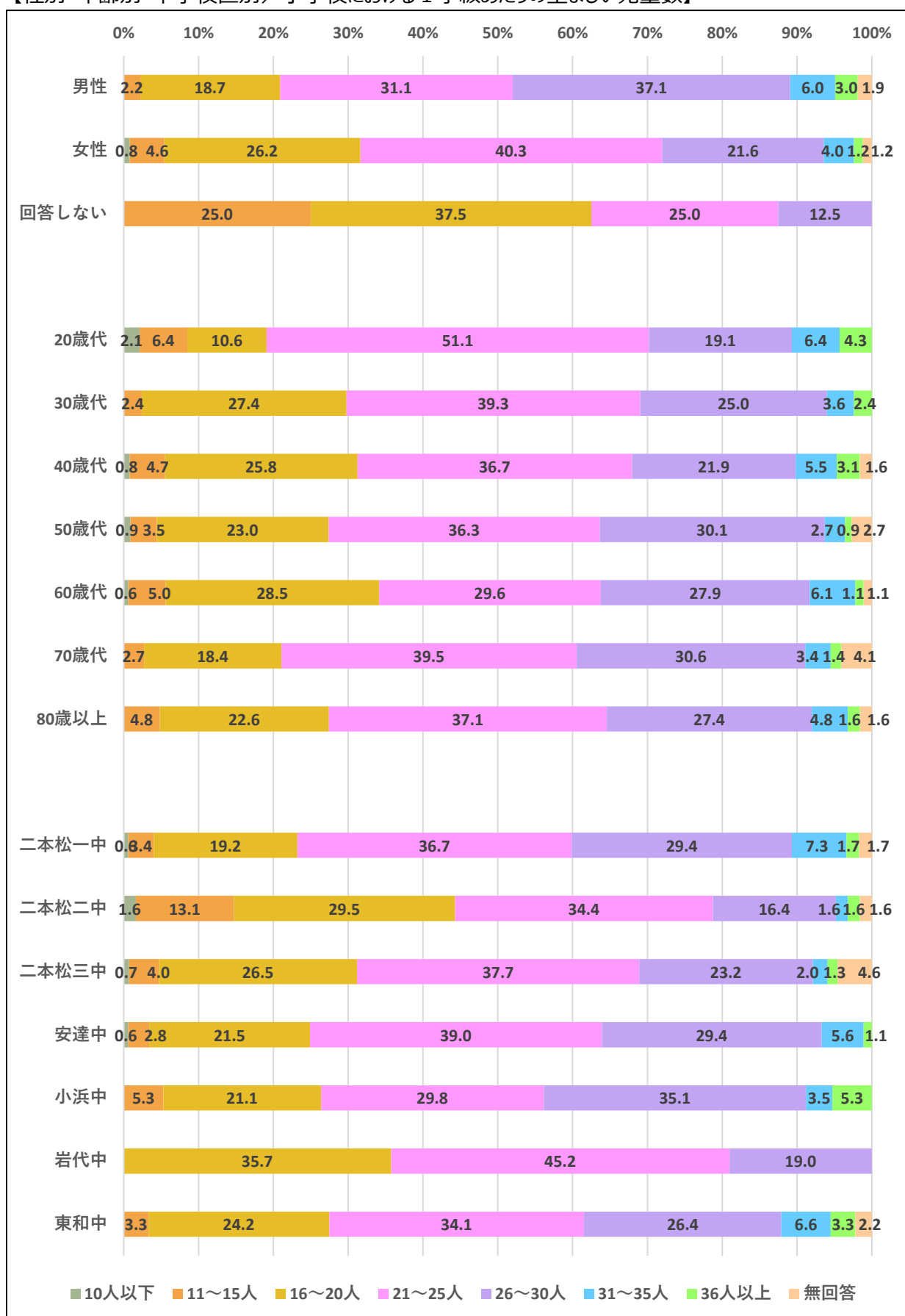
小学校における1学級あたりの望ましい児童数について、「21～25人」が36.7%と最も多く、次いで「26～30人」(26.4%)、「16～20人」(23.6%)となっている。16～30人を合わせて86.7%となっている。

問8 中学校における1学級あたりの望ましい児童数は何人くらいだと思いますか。(○は1つ)



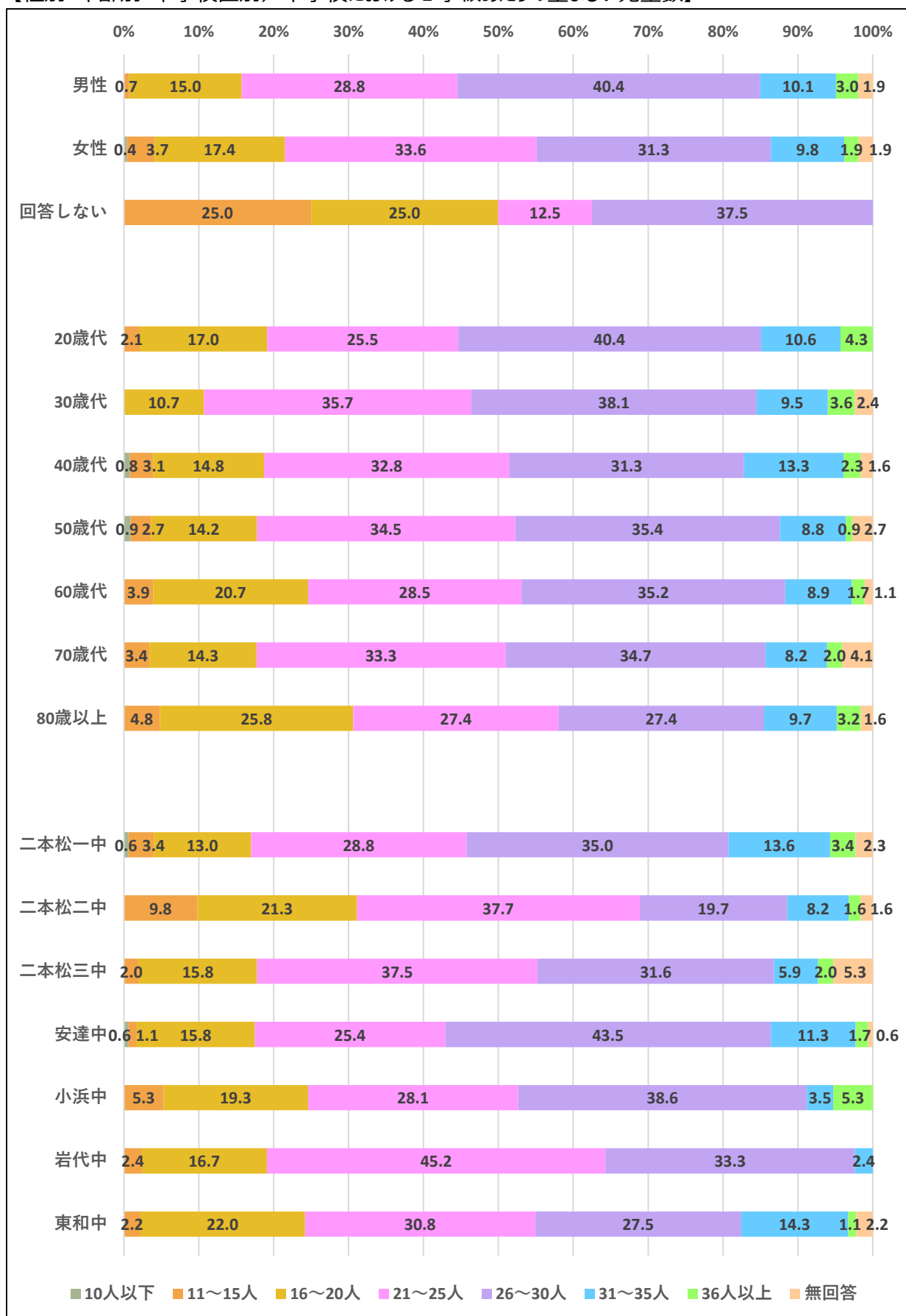
中学校における1学級あたりの望ましい児童数について、「26～30人」が34.1%と最も多く、次いで「21～25人」(31.7%)、「16～20人」(16.5%)となっている。16～30人を合わせて82.3%となっている。

【性別・年齢別・中学校区別／小学校における1学級あたりの望ましい児童数】



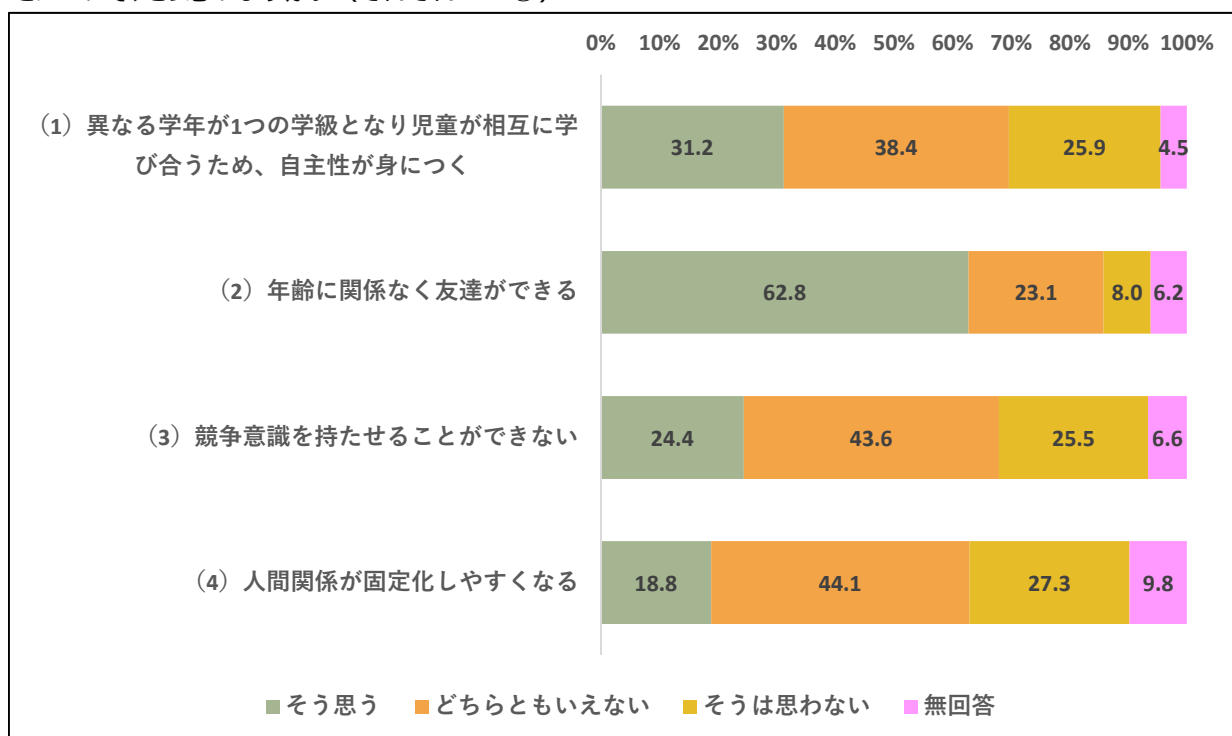
性別では、女性の方がより少ない人数の割合が高くなっている。年齢別では、下の年代ほど25人以下の割合が高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」と「岩代中」で25人以下の割合が高くなっている。

【性別・年齢別・中学校区別／中学校における1学級あたりの望ましい児童数】



性別では、女性の方がより少ない人数の割合が高くなっている。年齢別では、下の年代ほど26人以上の割合が高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」と「岩代中」で25人以下の割合が高くなっている。

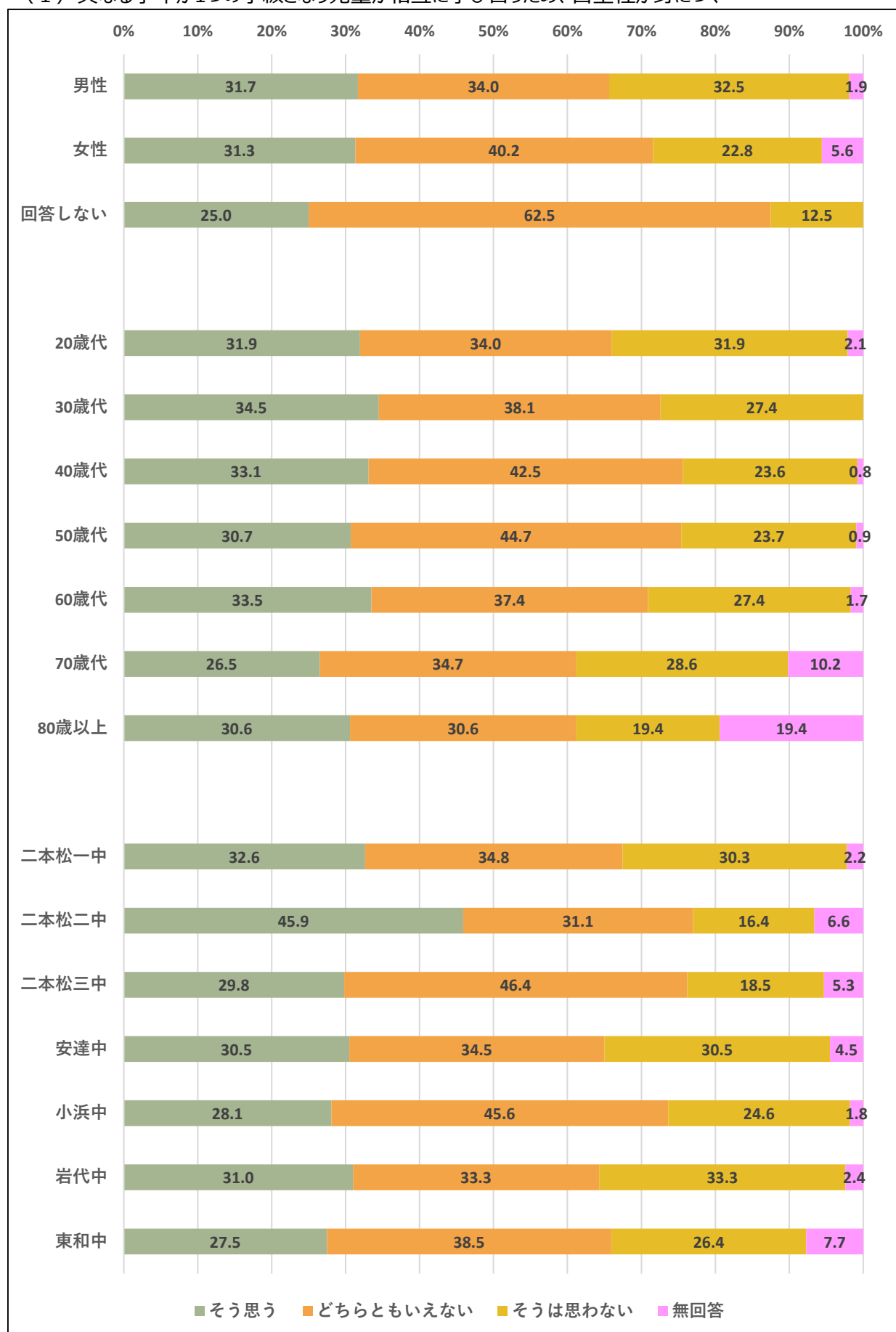
問9 少子化により複数学年（例：1・2年生合同、3・4年生合同）で授業をする複式学級になることについて、どう思いますか。（それぞれ1つ○）



「そう思う」の割合が最も高いのは、「年齢に関係なく友達ができる」で62.8%となっている。そのほかは、「どちらともいえない」の割合が最も高くなっている。

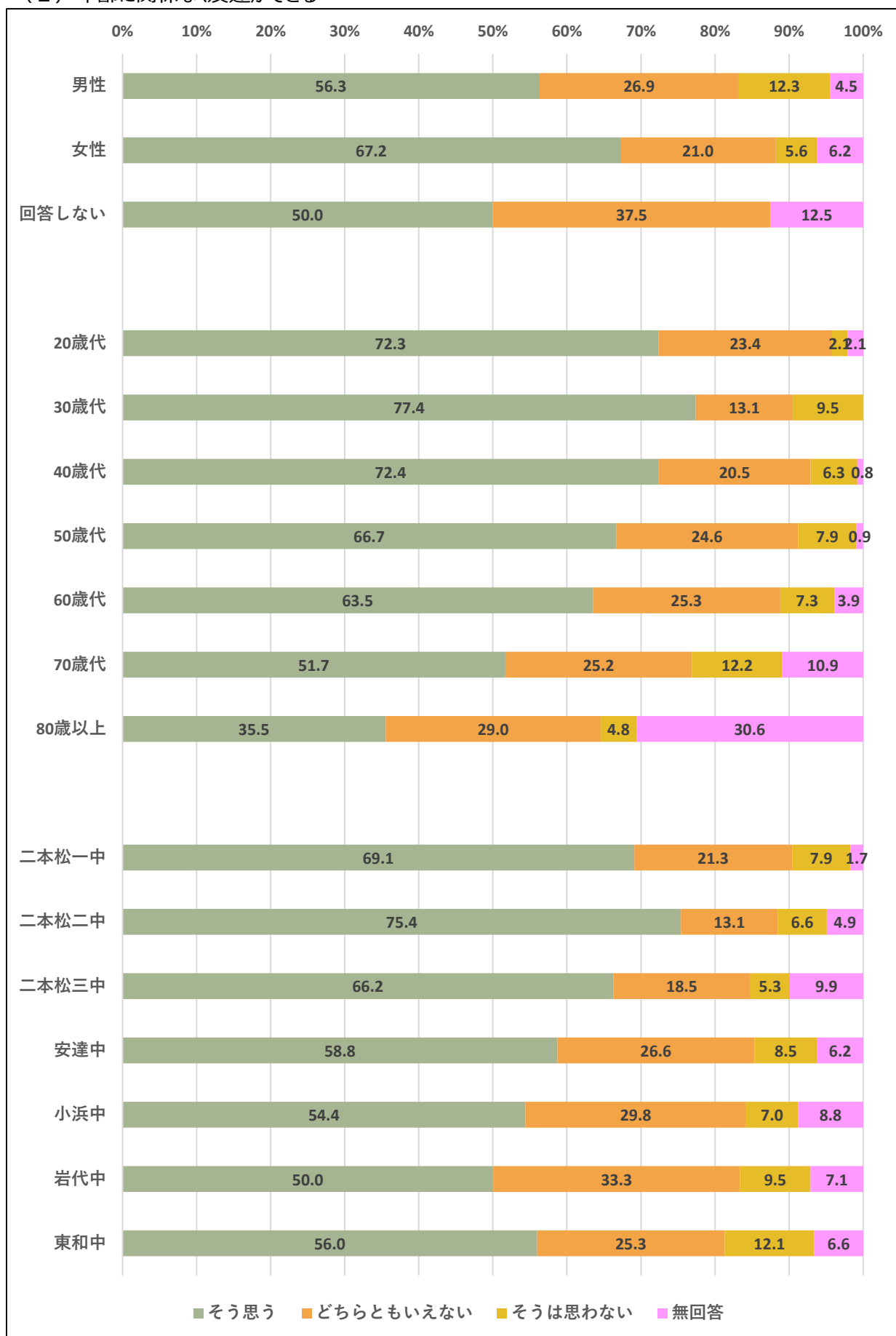
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 異なる学年が1つの学級となり児童が相互に学び合うため、自主性が身につく



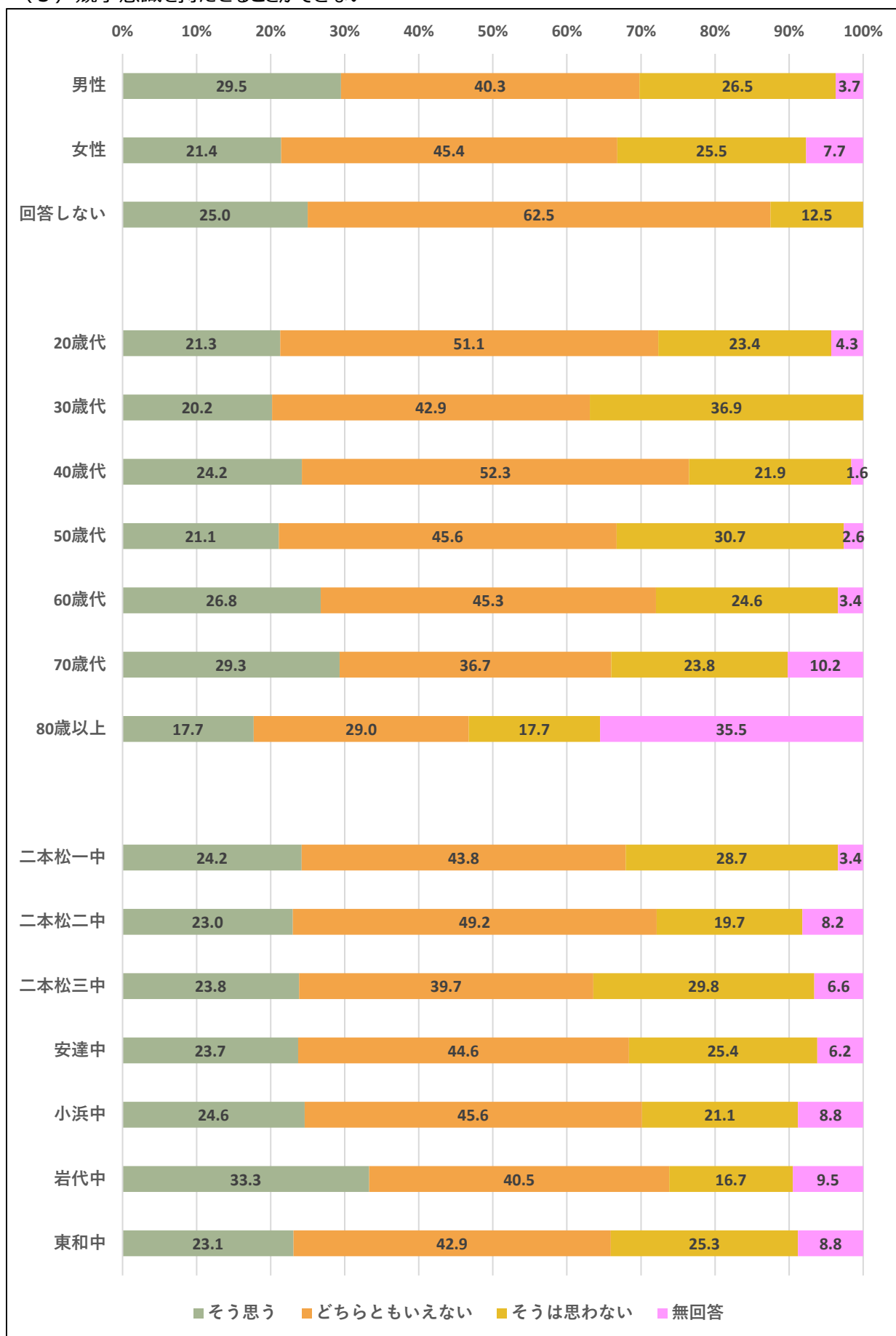
中学校区別では、「二本松二中」で「そう思う」の割合が45.9%と比較的高くなっている。

(2) 年齢に関係なく友達ができる



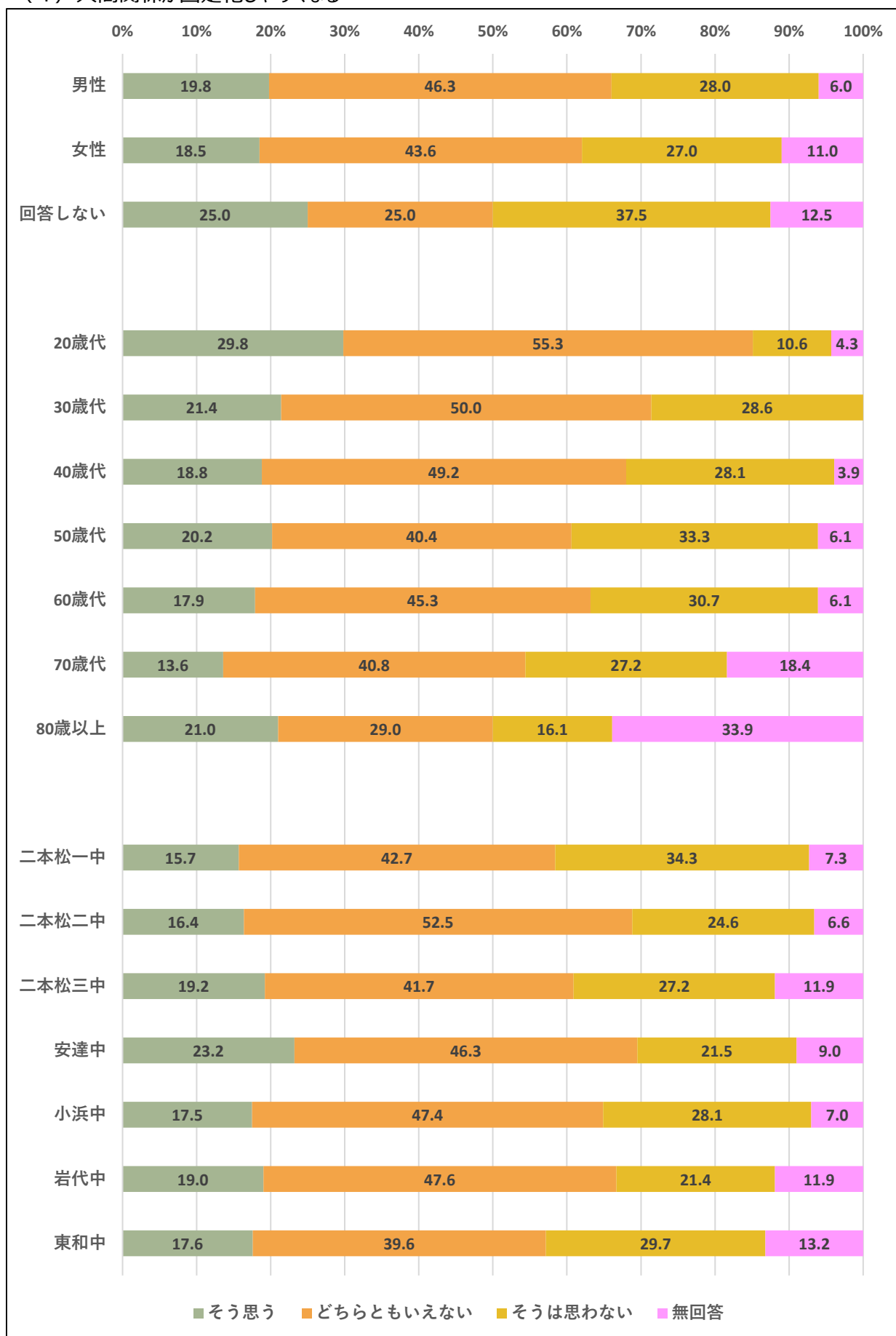
「そう思う」の割合は、性別では「女性」の方が高く、年齢別では下の年代の方が高く、中学校区別では二本松地域で高くなっている。

(3) 競争意識を持たせることができない



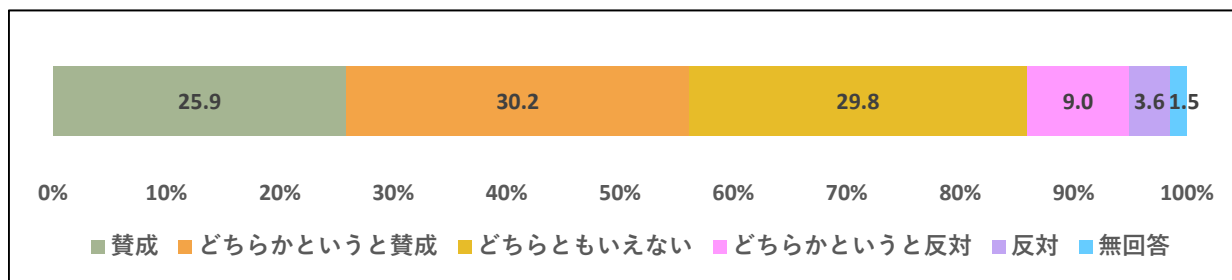
年齢別では、「30歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(4) 人間関係が固定化しやすくなる



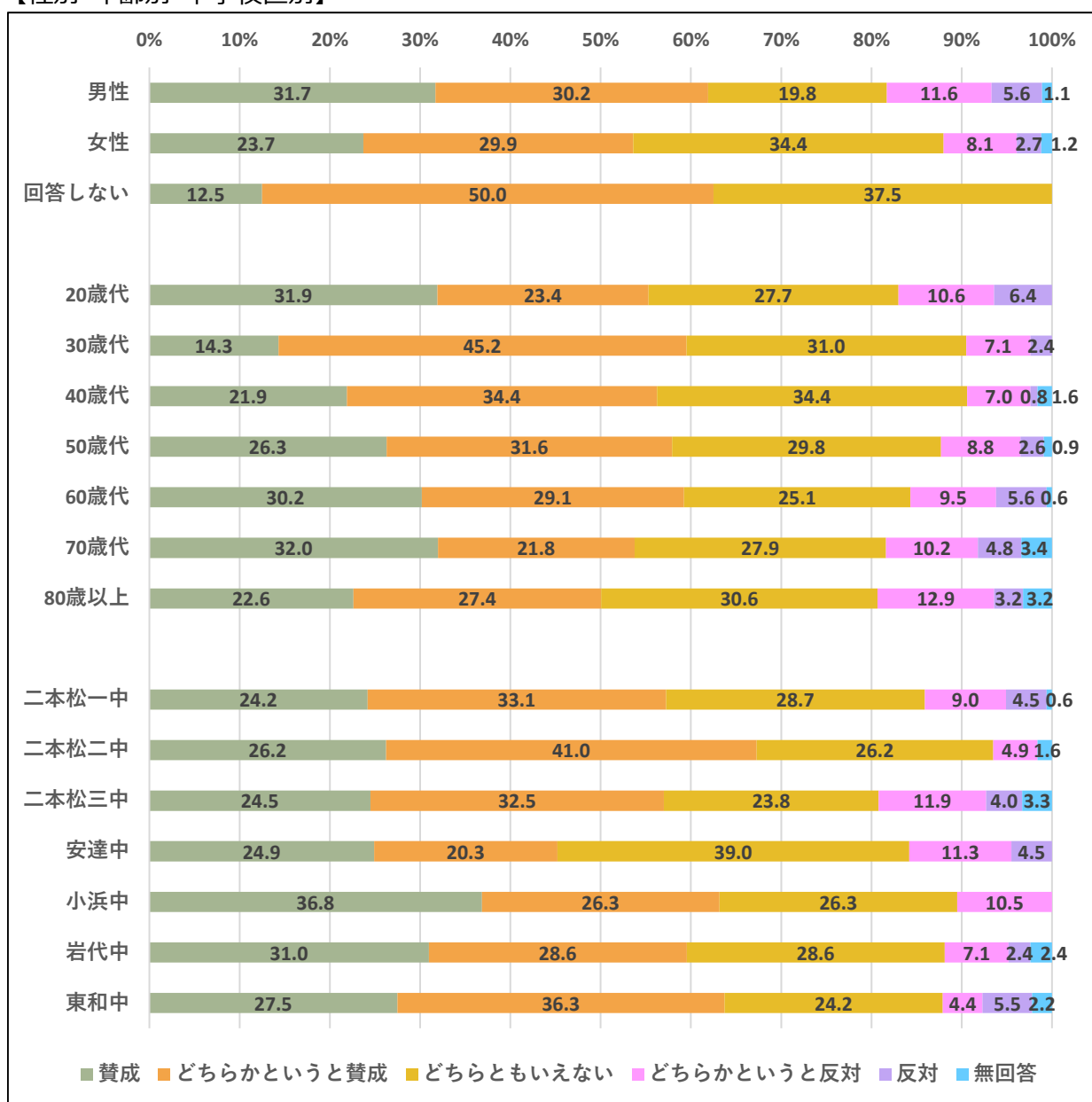
年齢別では、「20歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっているが、「70歳代」では低くなっている。中学校区別では、「安達中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

問10 学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、現行の小中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校（小中一貫校）」が新たな学校の種類として制度化されています。義務教育学校（小中一貫校）についてどのように考えますか。（1つ○）



「賛成」と「どちらかという賛成」を合わせると56.1%となり、「反対」と「どちらかという反対」を合わせると12.6%となっている。

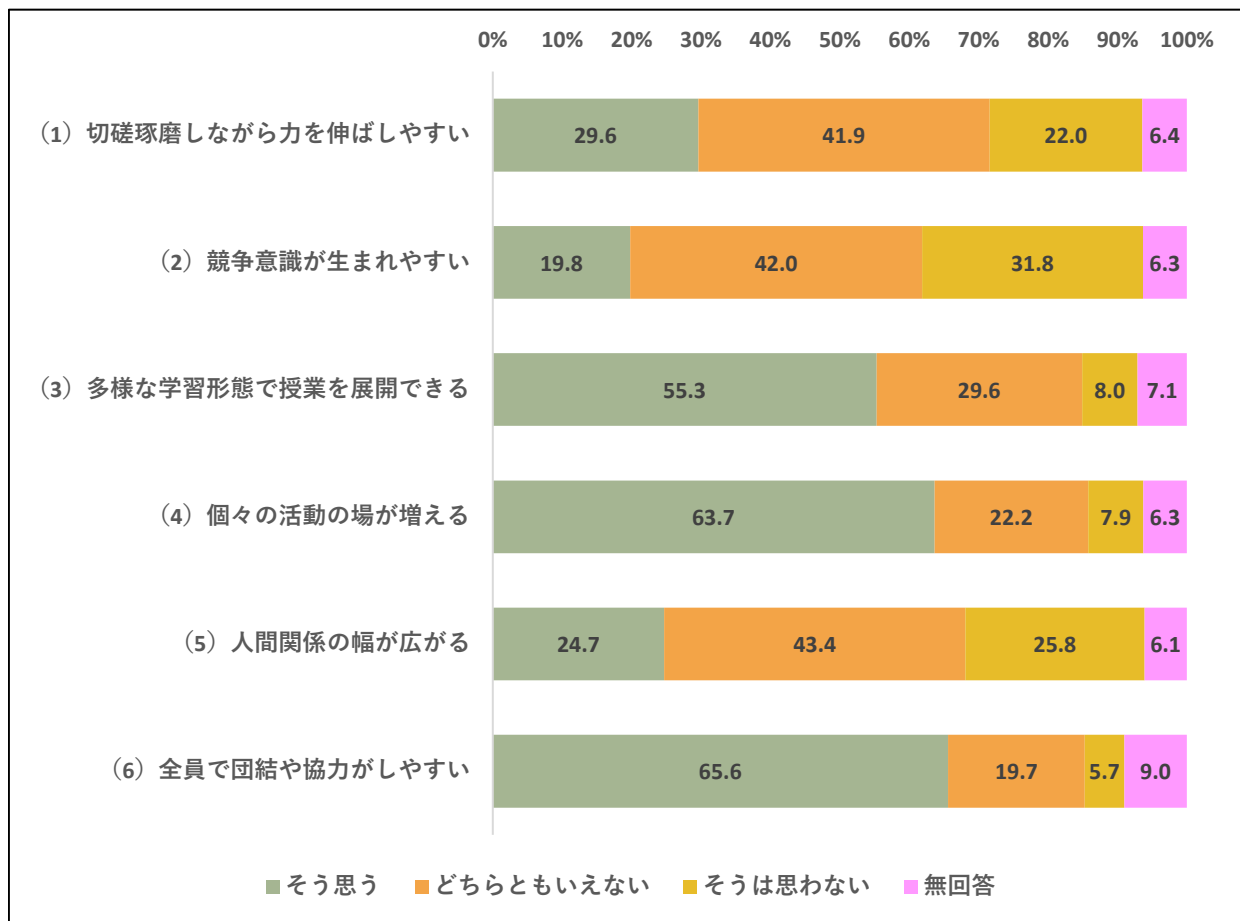
【性別・年齢別・中学校区別】



年齢別では、「20歳代」、「60歳代」、「70歳代」、「80歳代」で「反対」と「どちらかという反対」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」で「賛成」と「どちらかという賛成」を合わせた割合が高く、「安達中」では低くなっている。

3.学校規模によるメリット・デメリットについて

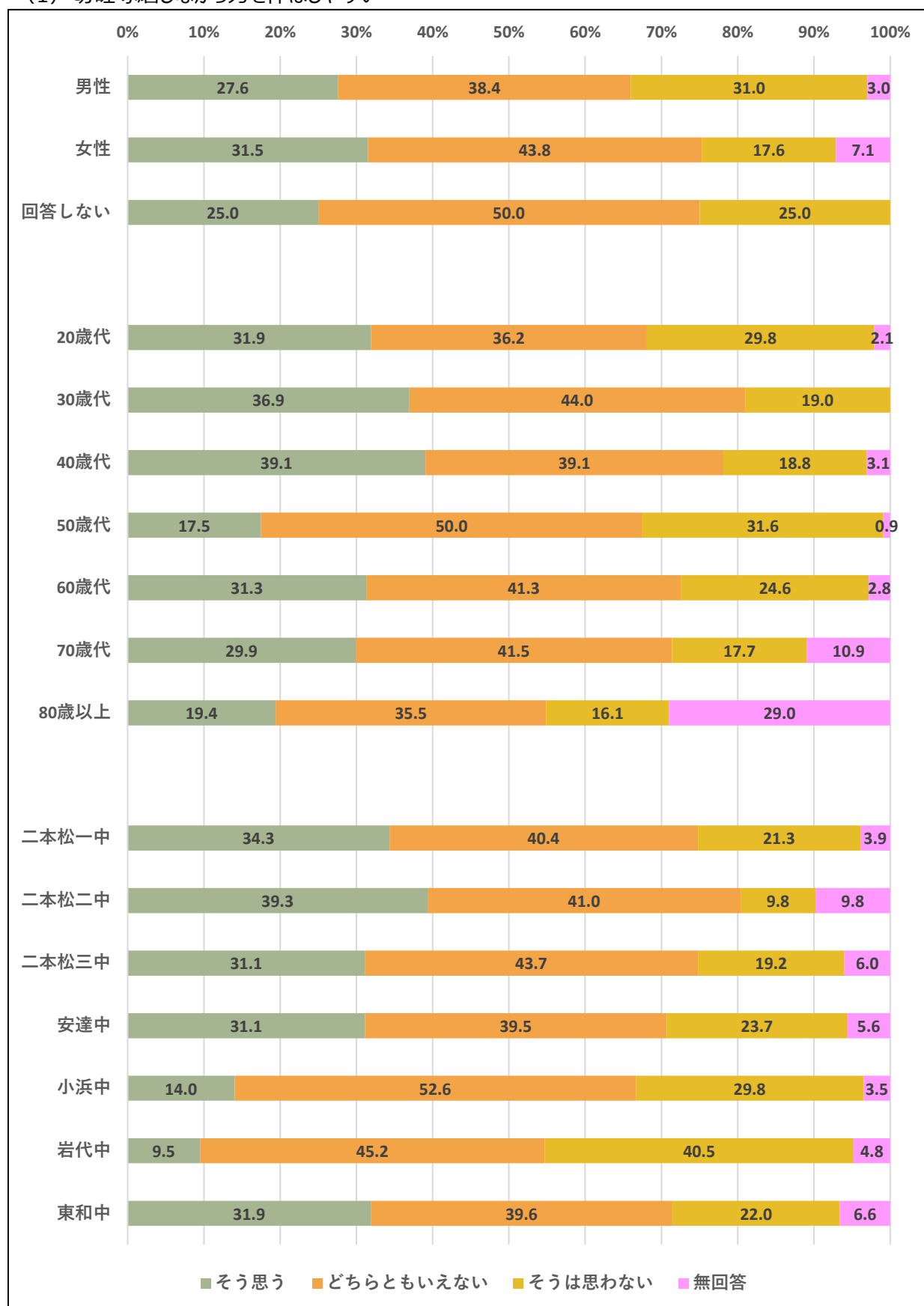
問11 学校の児童生徒数や学級数が少ない場合に期待できることはどのようなことだと思いますか。（それぞれ1つ○）



「多様な学習形態で授業を展開できる」、「個々の活動の場が増える」、「全員で団結や協力がしやすい」で「そう思う」の割合が高くなっているが、「競争意識が生まれやすい」では「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

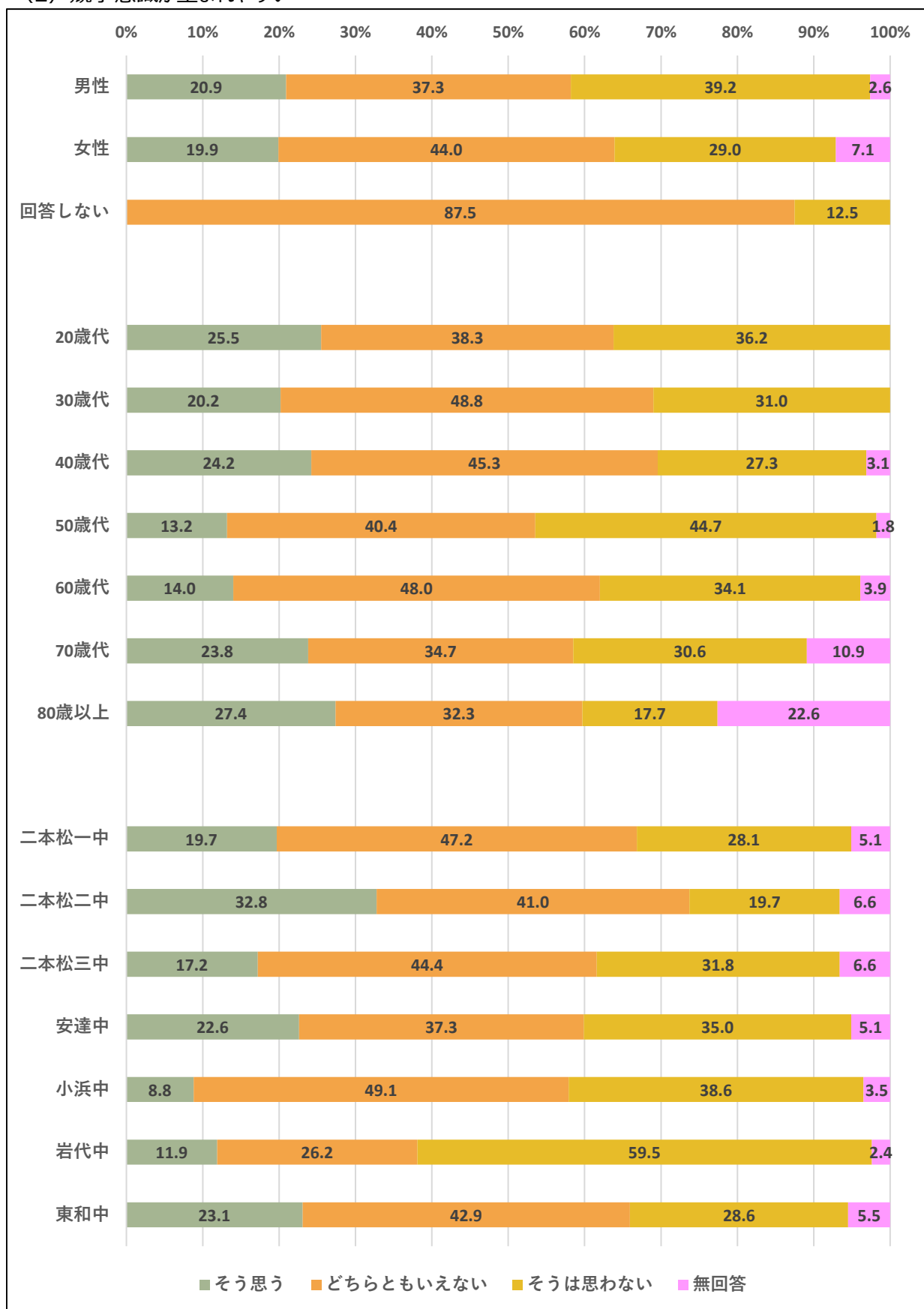
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい



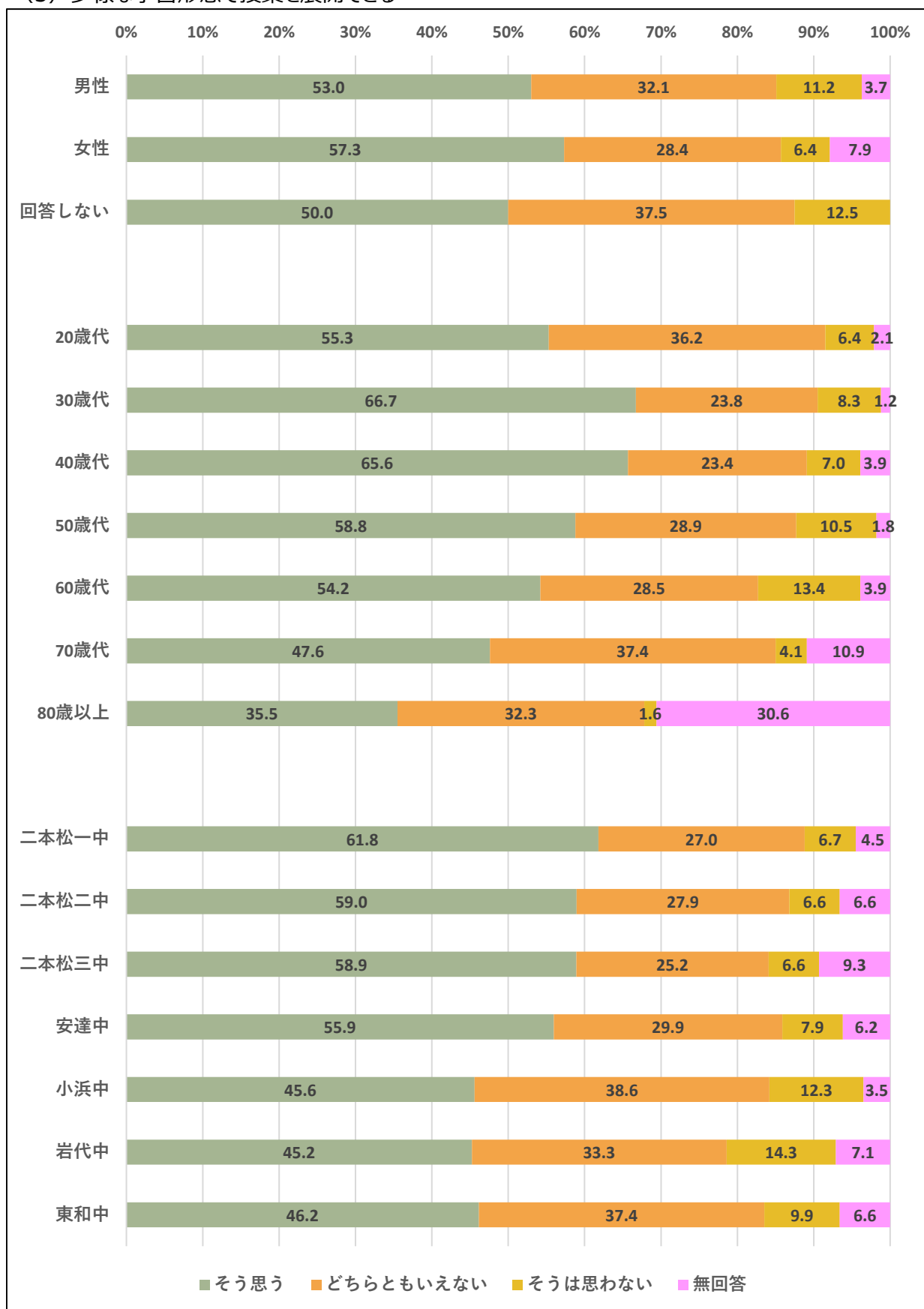
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」で「そう思う」の、「小浜中」、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(2) 競争意識が生まれやすい



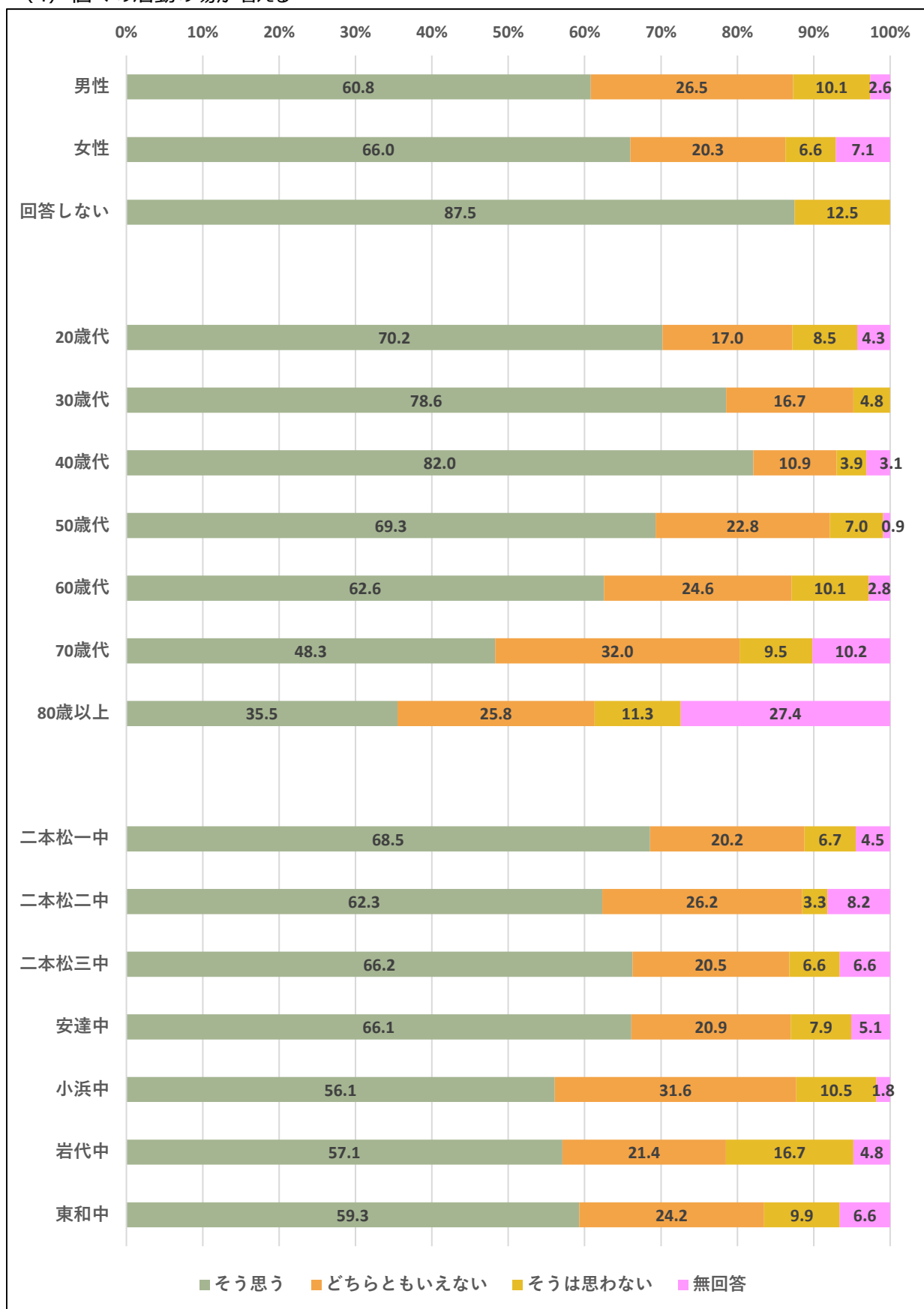
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「40歳代」、「70歳代」、「80歳以上」で「そう思う」の、「20歳代」、「50歳代」、「60歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」で「そう思う」の、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が高くなっている。

(3) 多様な学習形態で授業を展開できる



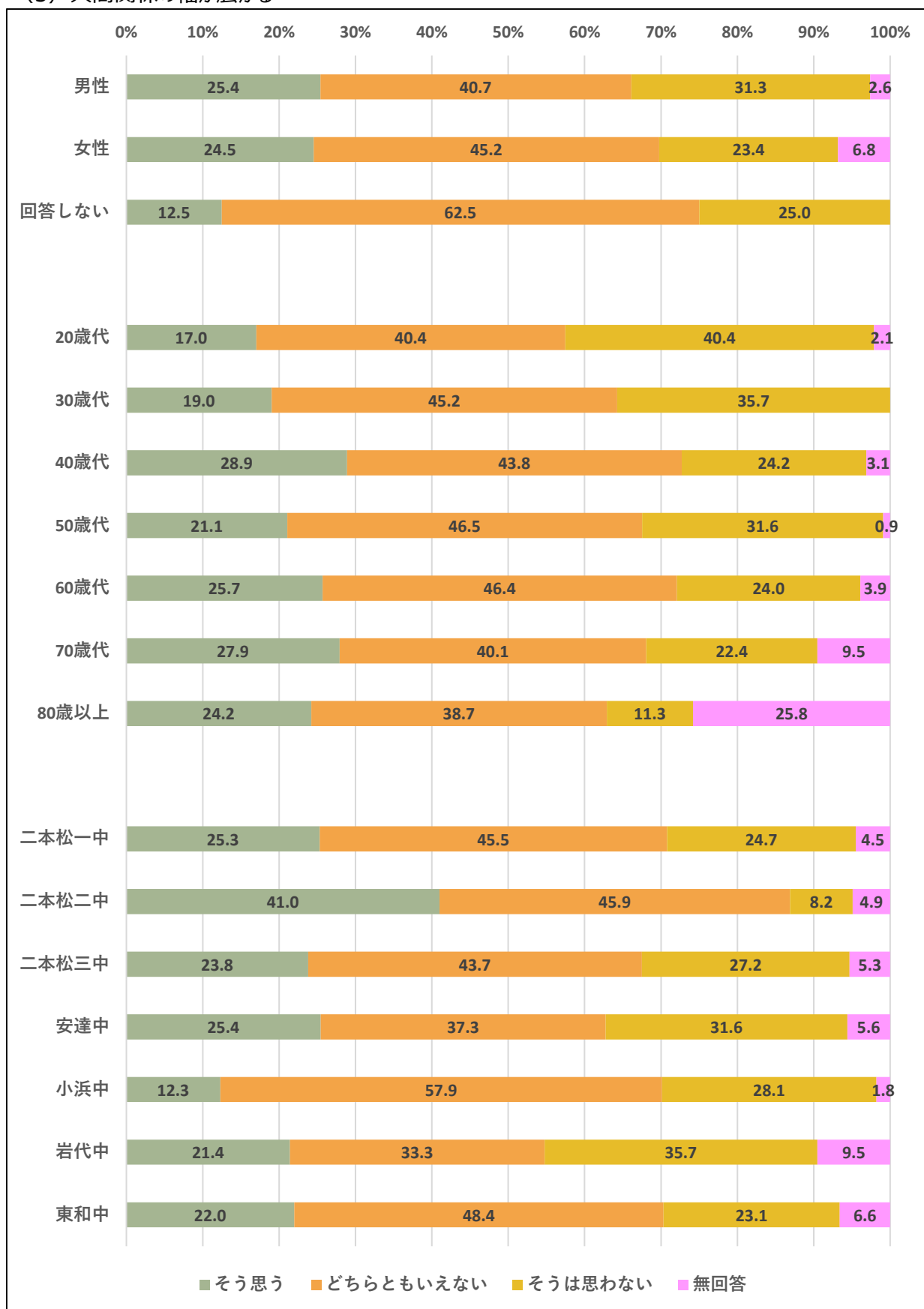
年齢別では、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「60歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」、「二本松三中」で「そう思う」の、「小浜中」、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) 個々の活動の場が増える



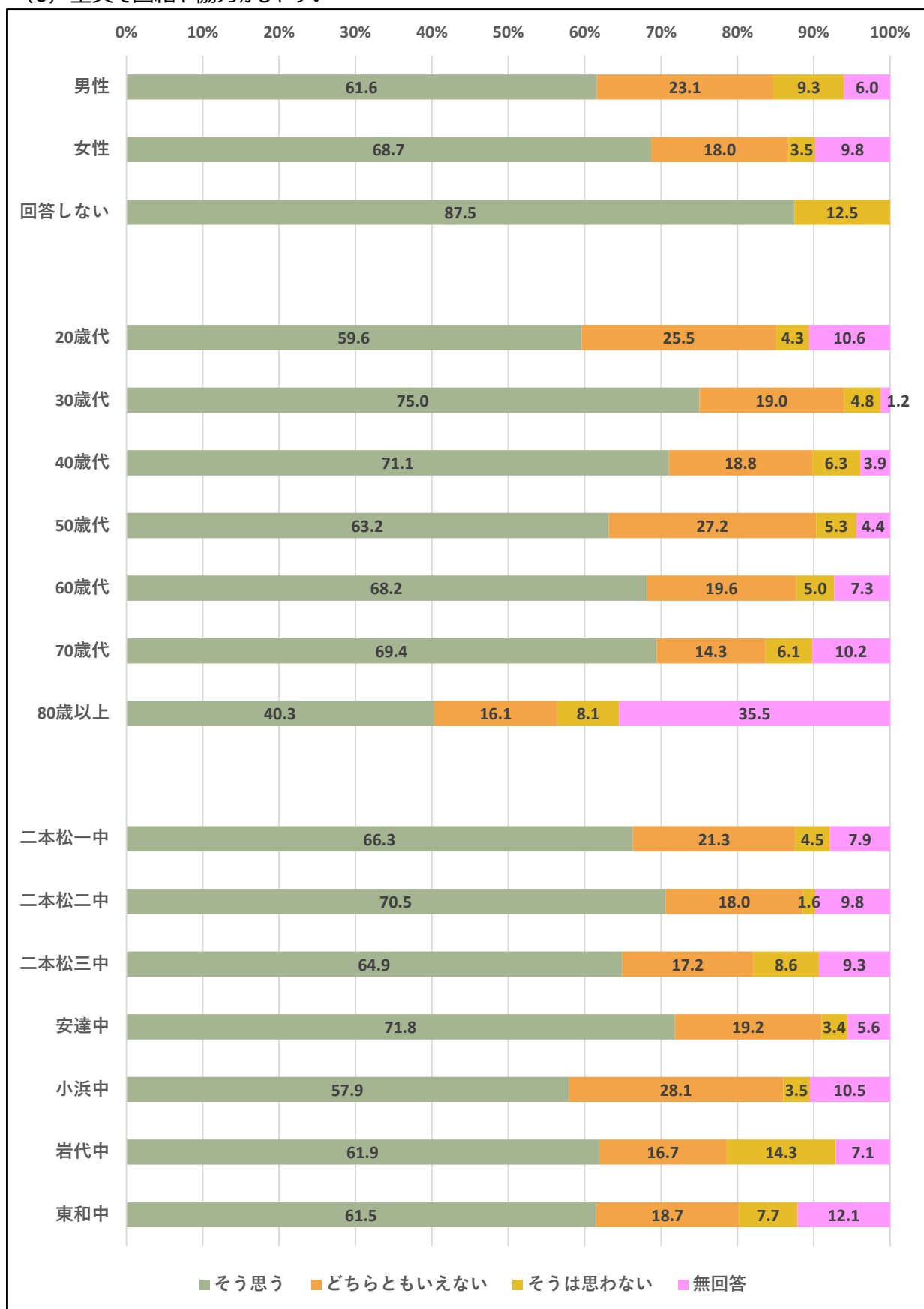
性別では、「女性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の割合が高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松三中」、「安達中」で「そう思う」の、「岩代中」では「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(5) 人間関係の幅が広がる



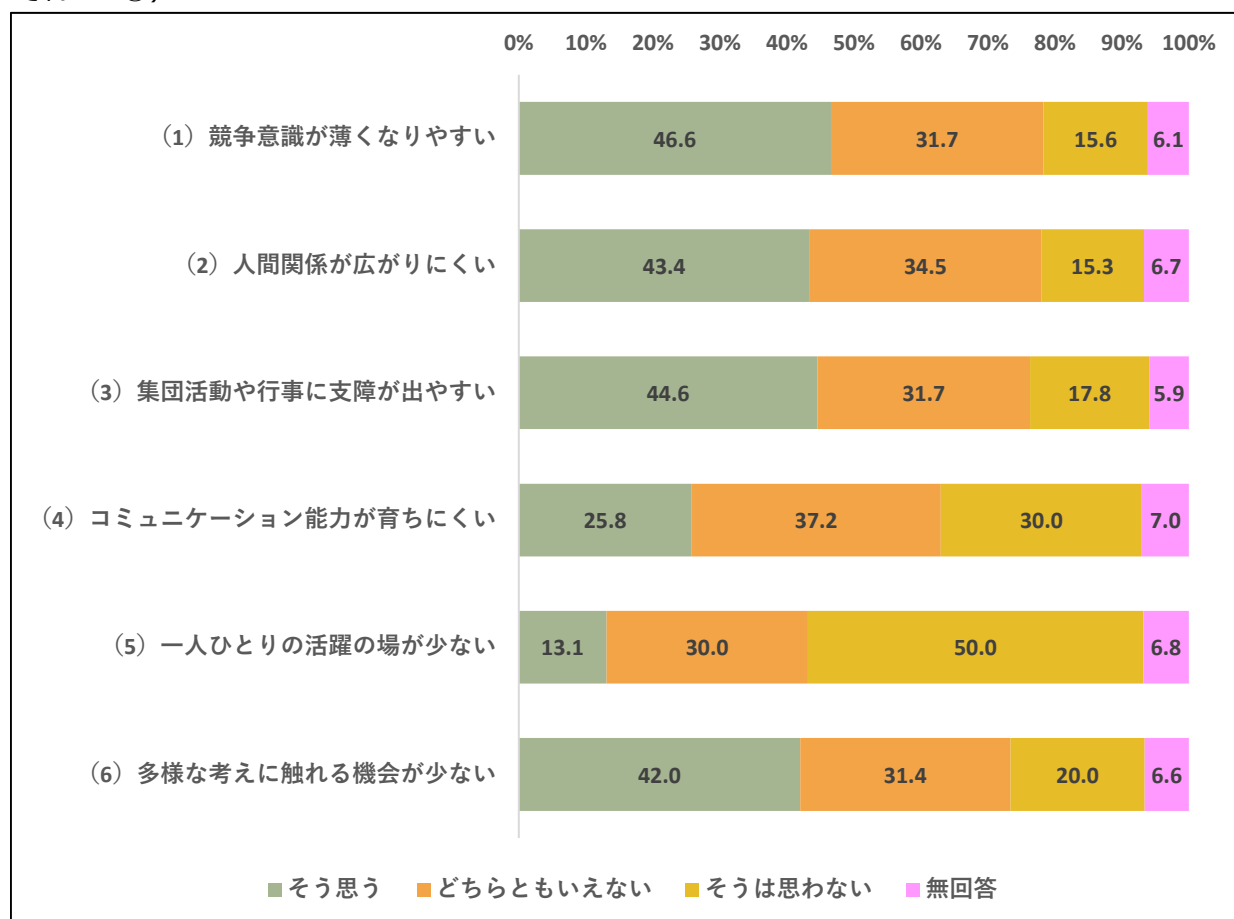
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「40歳代」、「60歳代」、「70歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「30歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」で「そう思う」の、「安達中」、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(6) 全員で団結や協力がしやすい



性別では、「女性」で「そう思う」の、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」、「安達中」で「そう思う」の、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

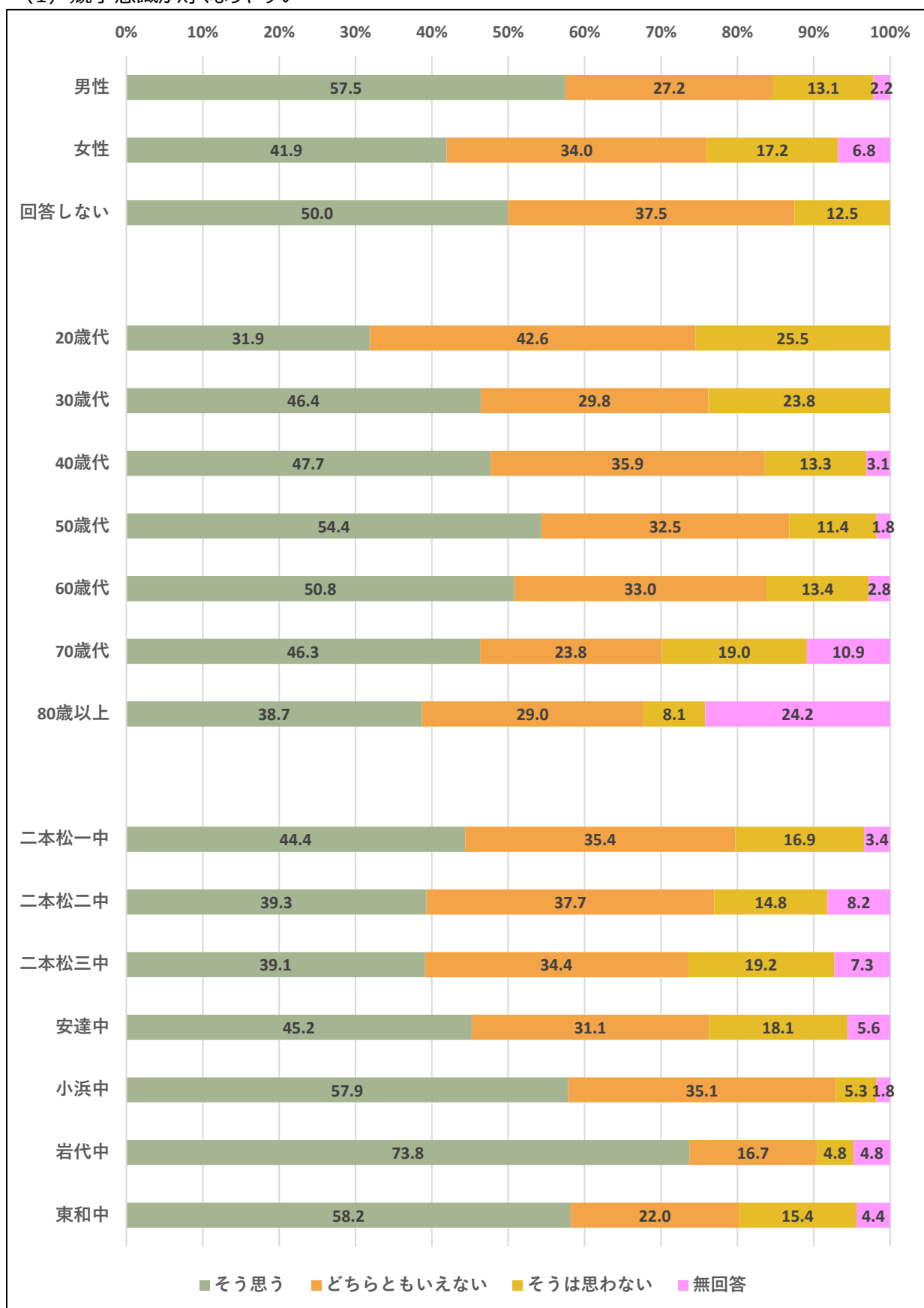
問12 学校の児童生徒数や学級数が少ない場合に課題となることはどのようなことだと思いますか。（それぞれ1つ○）



「競争意識が薄くなりやすい」、「人間関係が広がりにくい」、「集団活動や行事に支障が出やすい」、「多様な考えに触れる機会が少ない」で「そう思う」の割合が高く、「一人ひとりの活躍の場が少ない」で「そうは思わない」の割合が高くなっている。

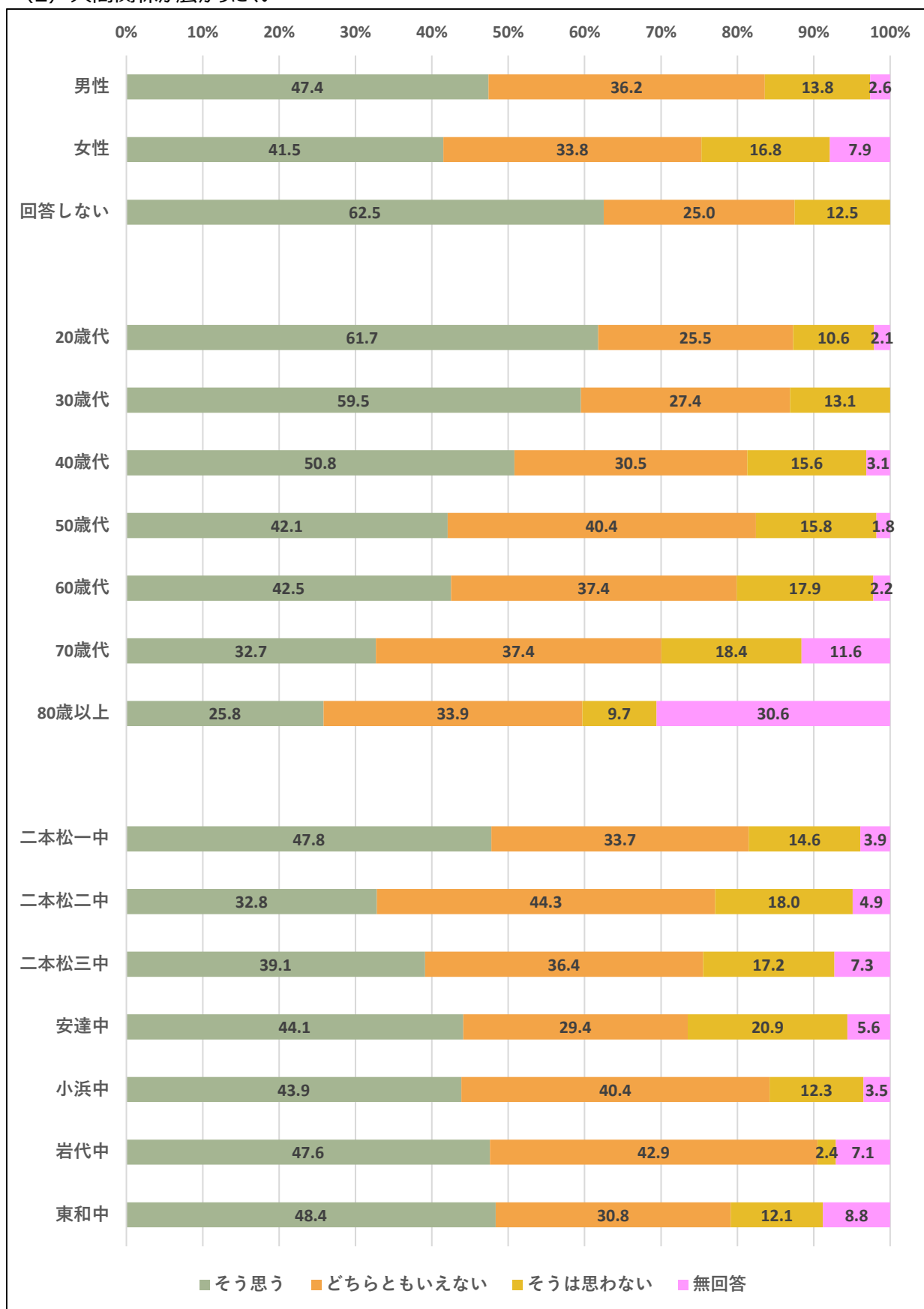
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 競争意識が薄くなりやすい



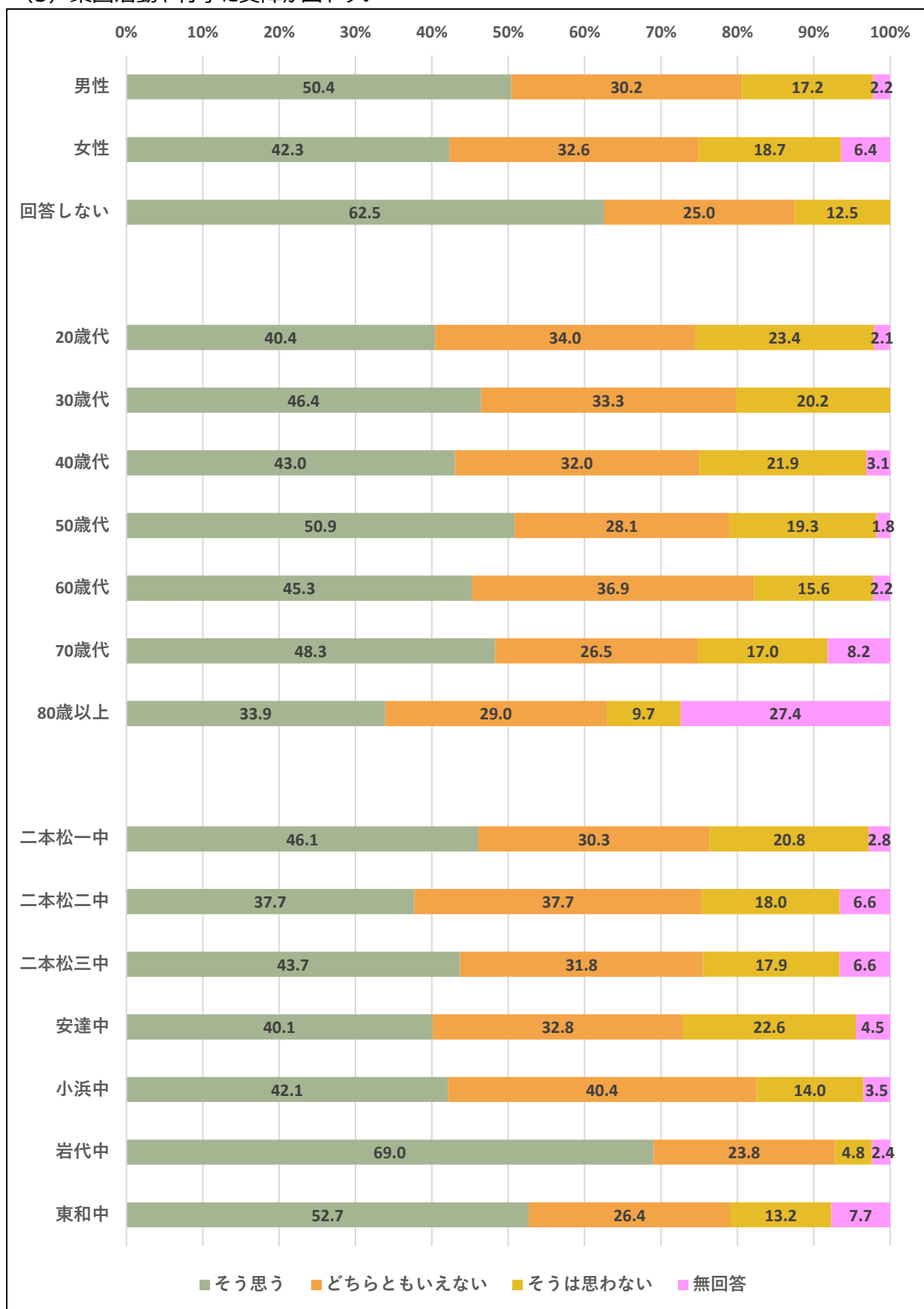
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「50歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(2) 人間関係が広がりにくい



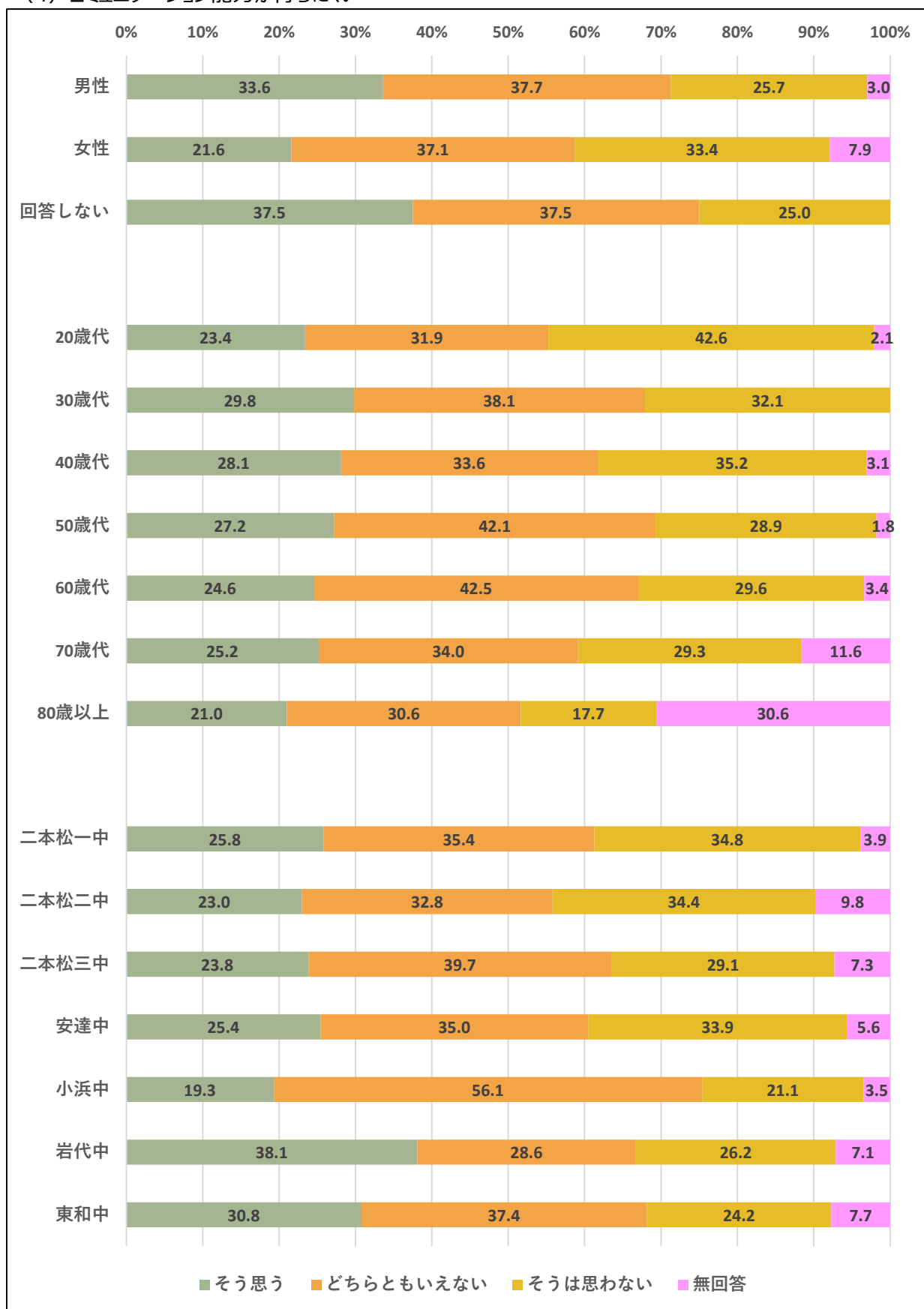
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(3) 集団活動や行事に支障が出やすい



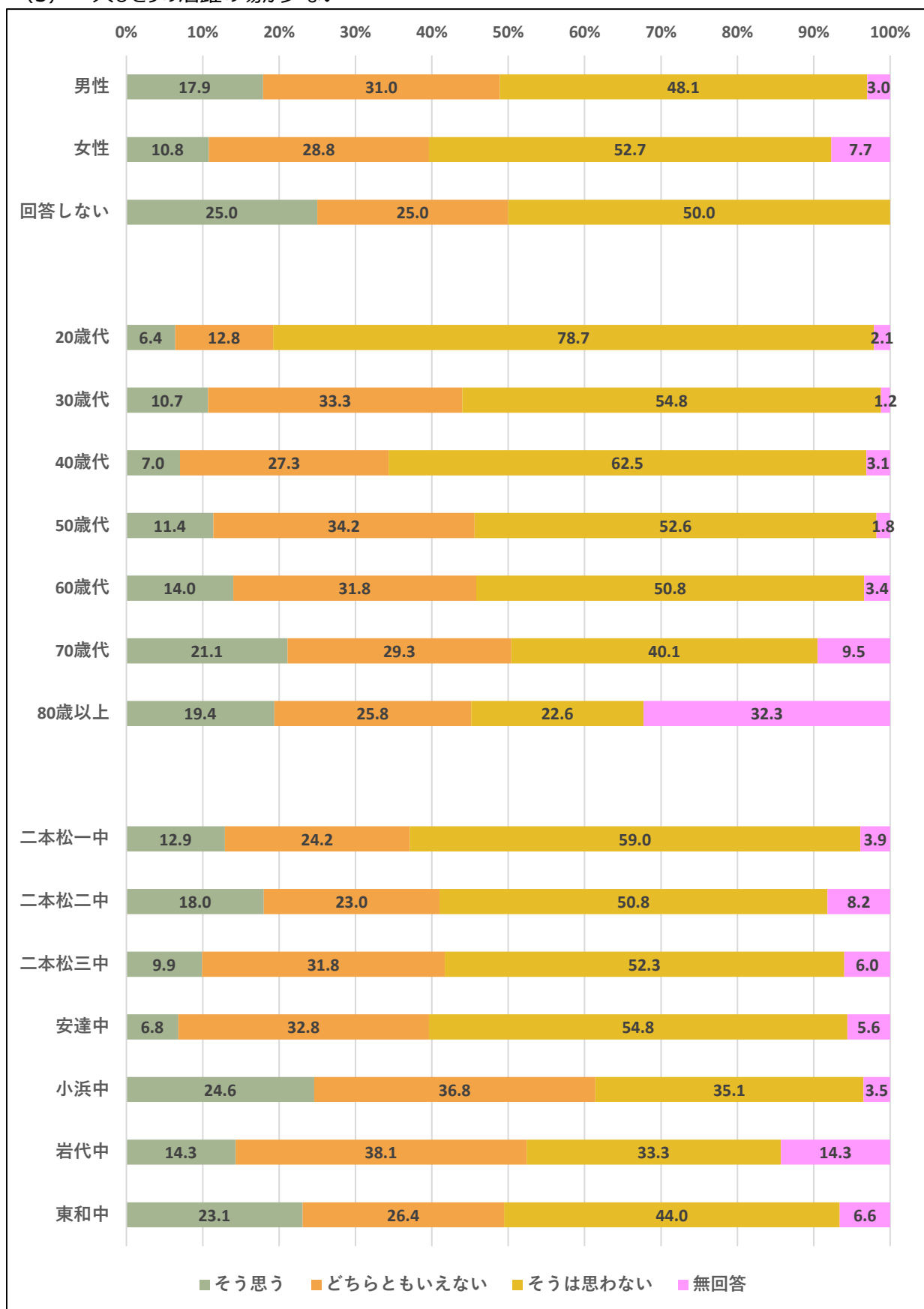
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「50歳代」、「70歳代」、「30歳代」の順に「そう思う」の割合が高く、「20歳代」、「40歳代」、「30歳代」の順に「そうは思わない」の割合が高くなっている。中学校区別では、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「安達中」、「二本松一中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) コミュニケーション能力が育ちにくい



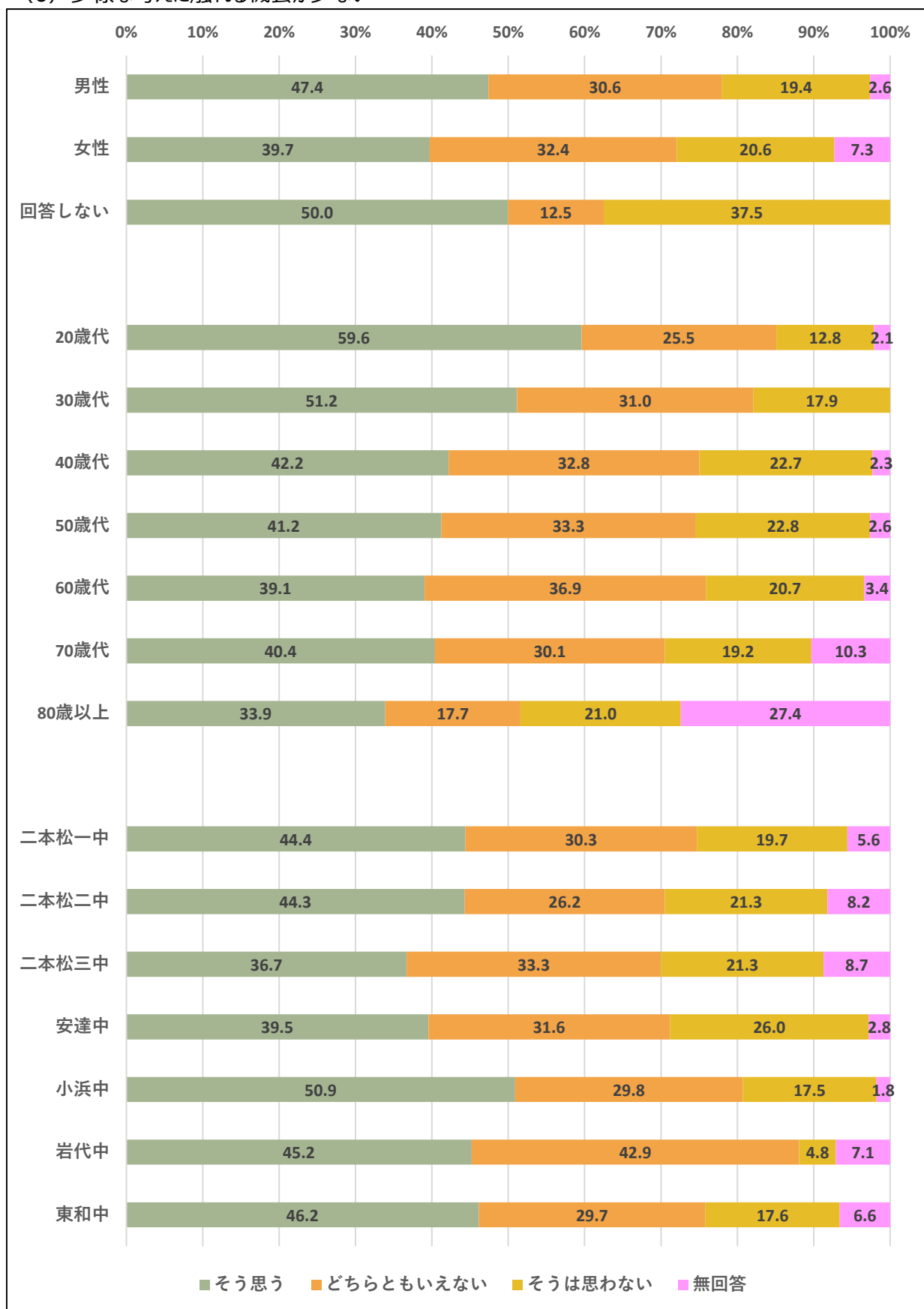
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「40歳代」、「30歳代」の順に「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松一中」、「二本松二中」、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(5) 一人ひとりの活躍の場が少ない



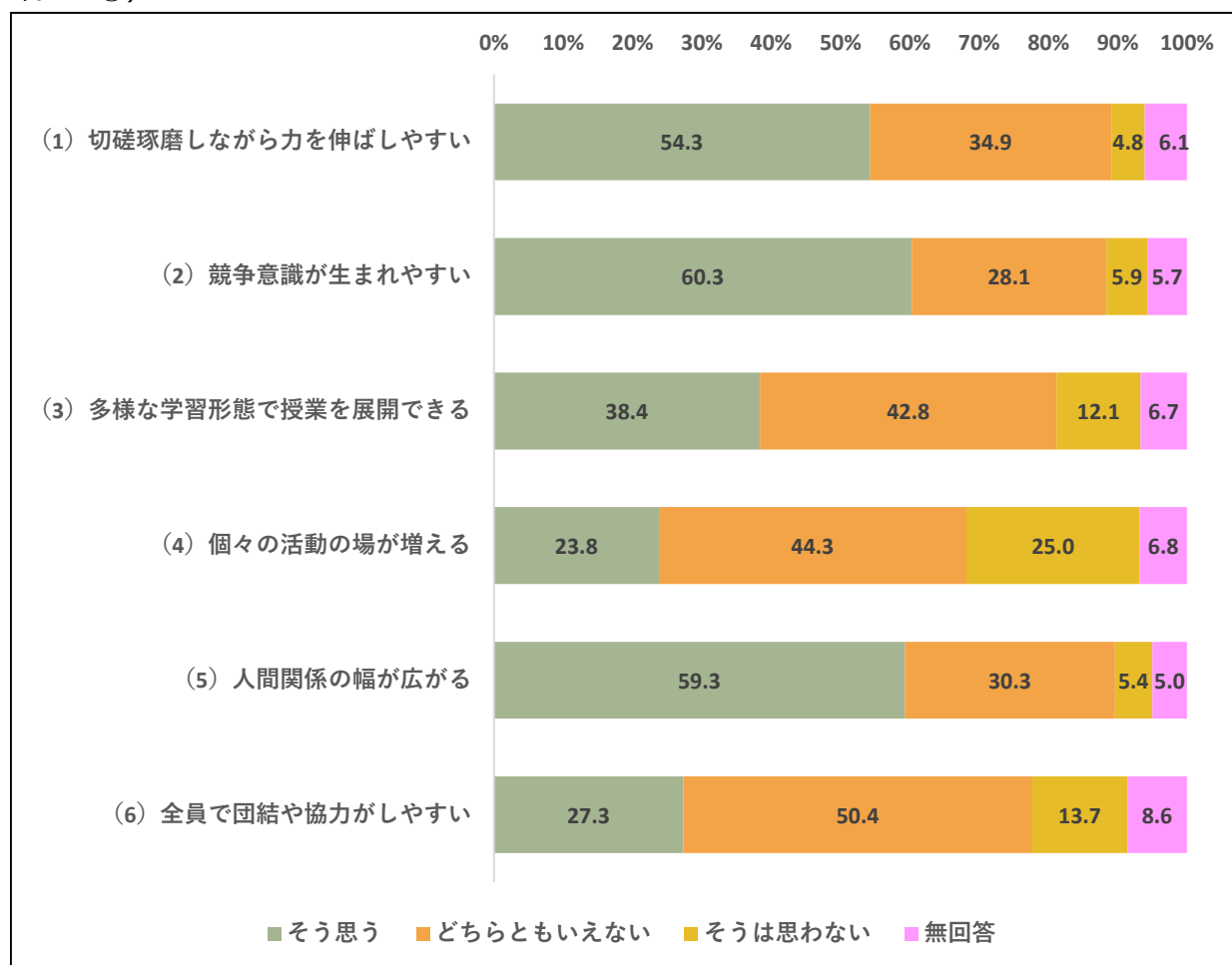
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「70歳代」、「80歳以上」で「そう思う」の、「20歳代」、「40歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「東和中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(6) 多様な考えに触れる機会が少ない



性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

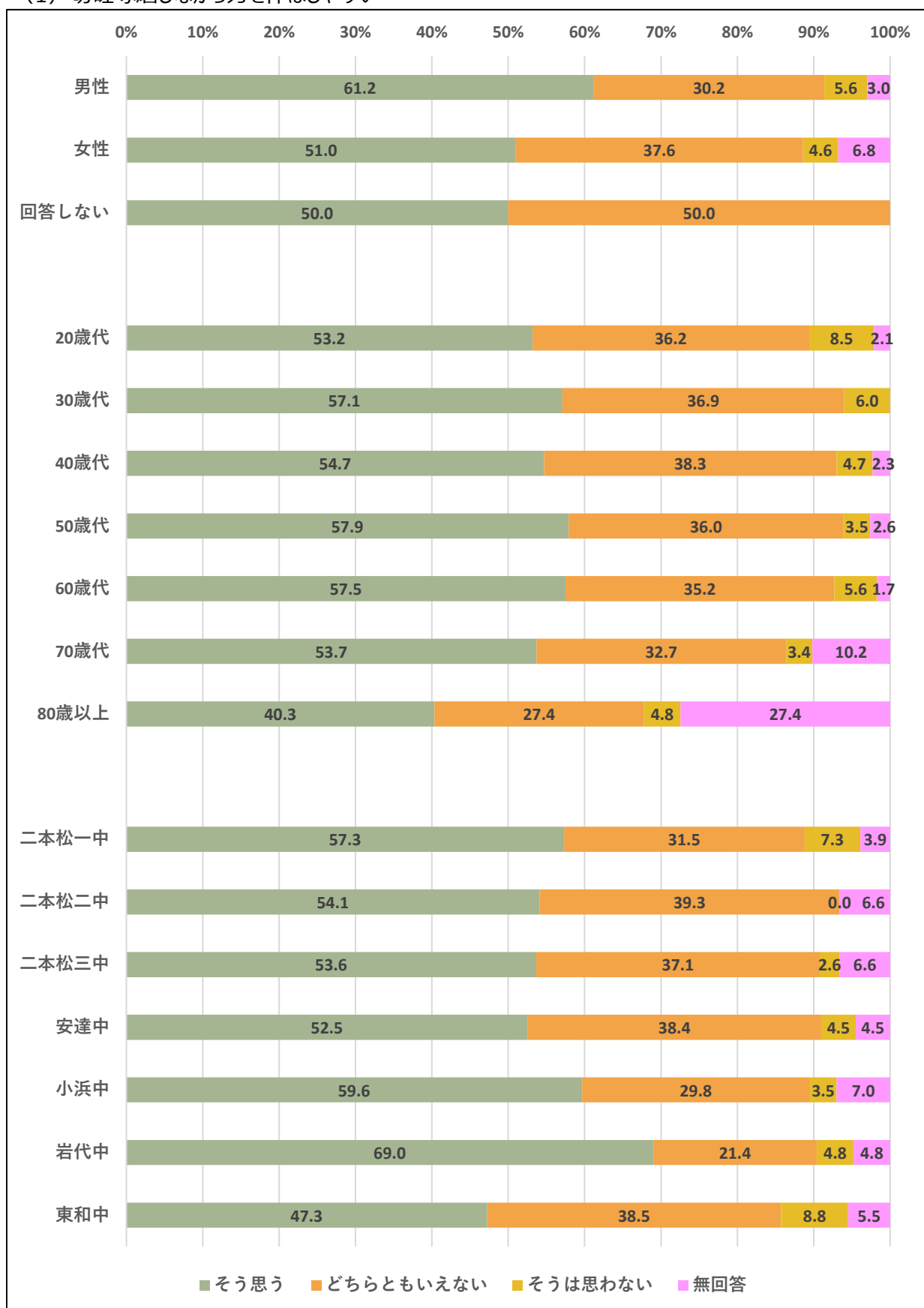
問13 学校の児童生徒数や学級数が多い場合に期待できることはどのようなことだと思いますか。（それぞれ1つ〇）



「切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい」、「競争意識が生まれやすい」、「人間関係の幅が広がる」で「そう思う」の割合が高く、「個々の活動の場が増える」で「そうは思わない」の割合が高くなっている。

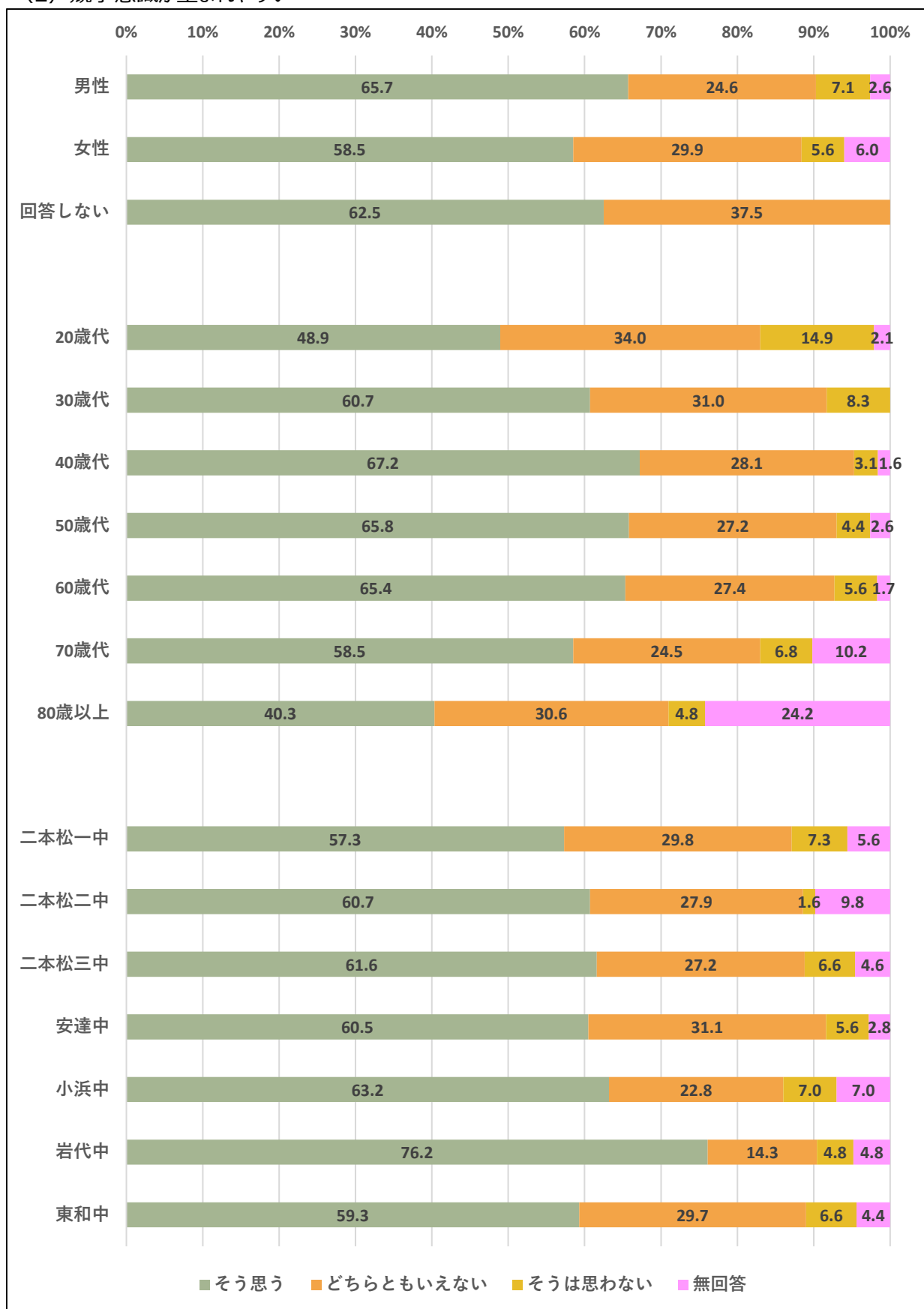
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい



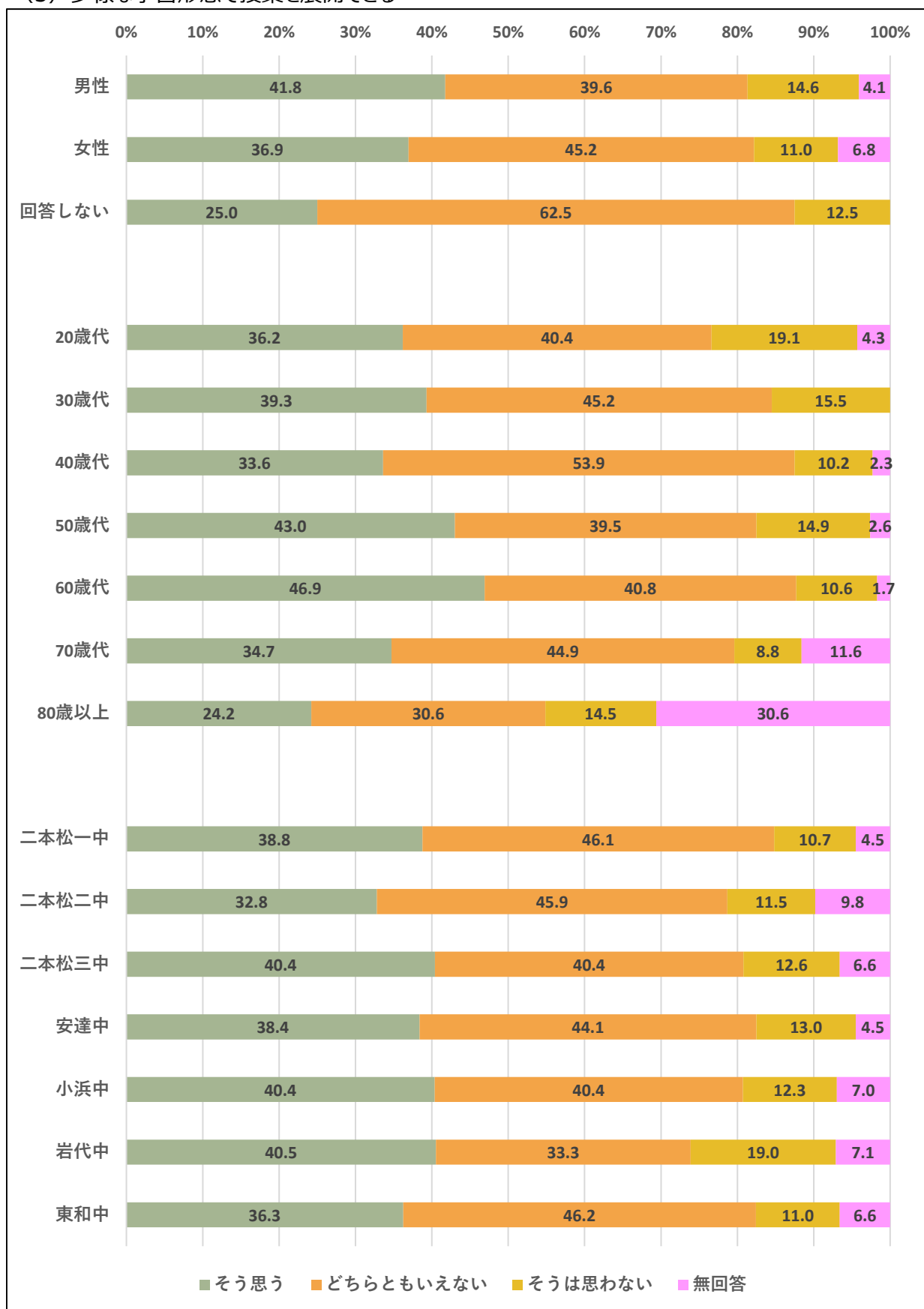
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の、「東和中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(2) 競争意識が生まれやすい



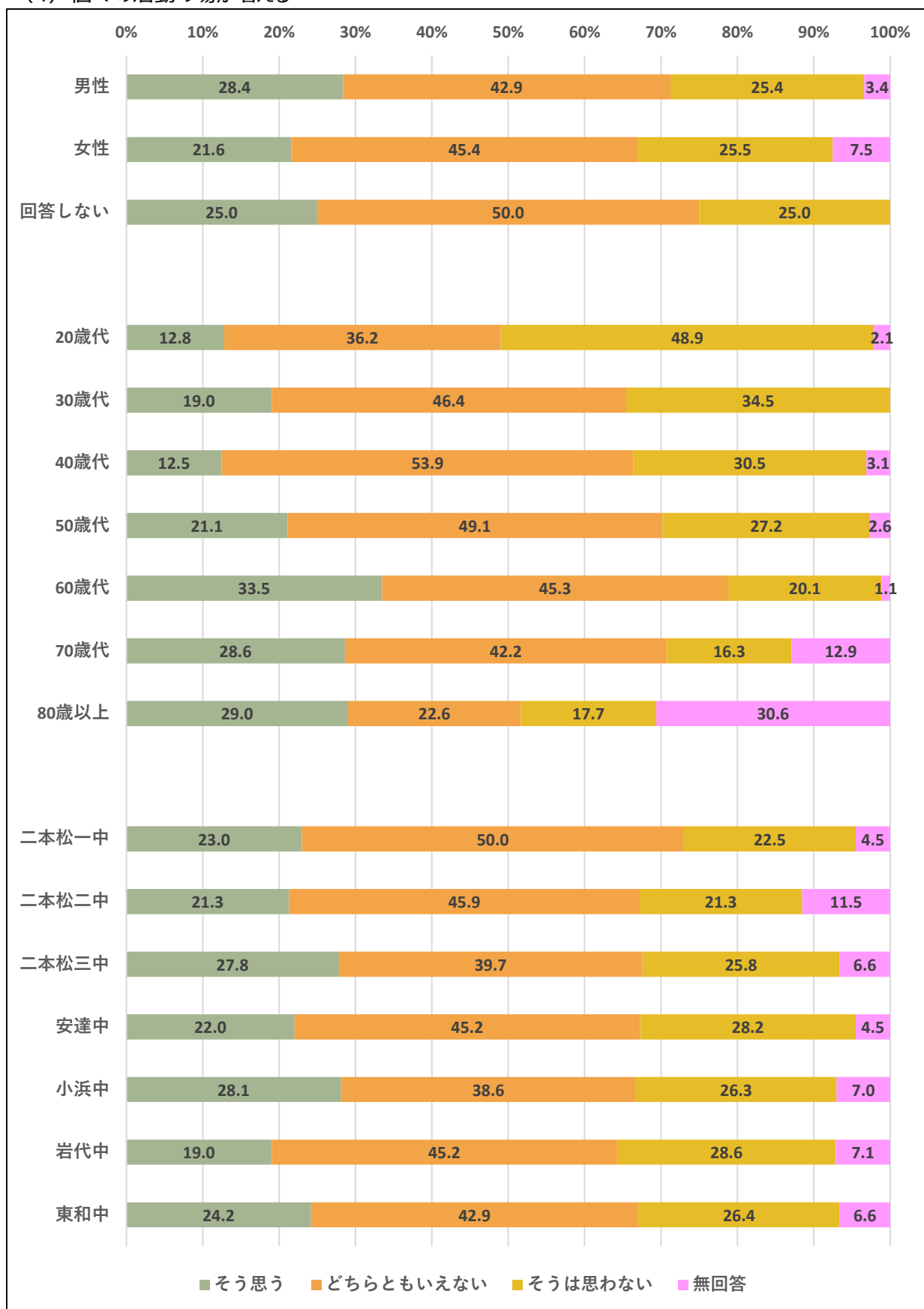
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」で「そう思う」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(3) 多様な学習形態で授業を展開できる



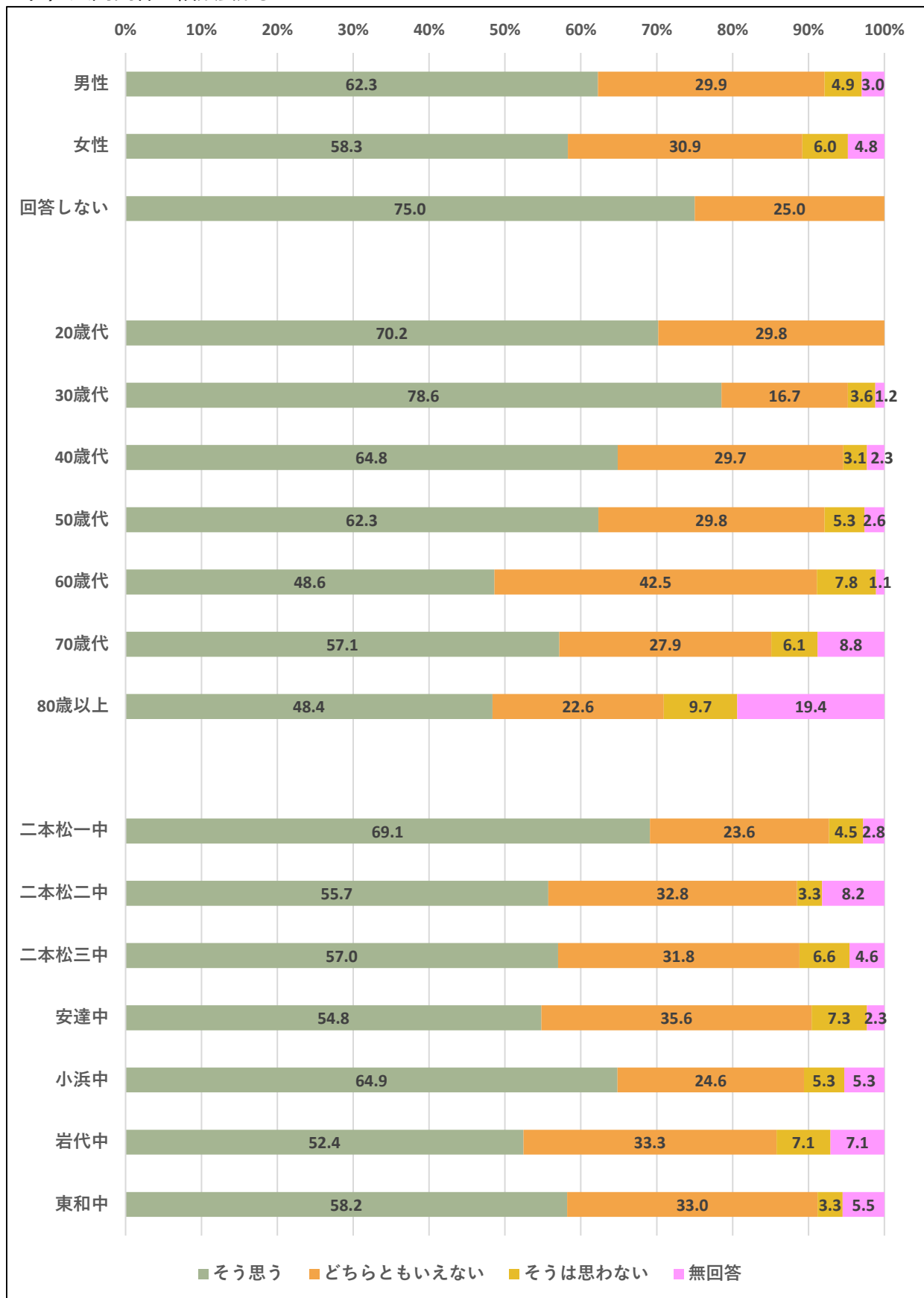
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「50歳代」、「60歳代」で「そう思う」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) 個々の活動の場が増える



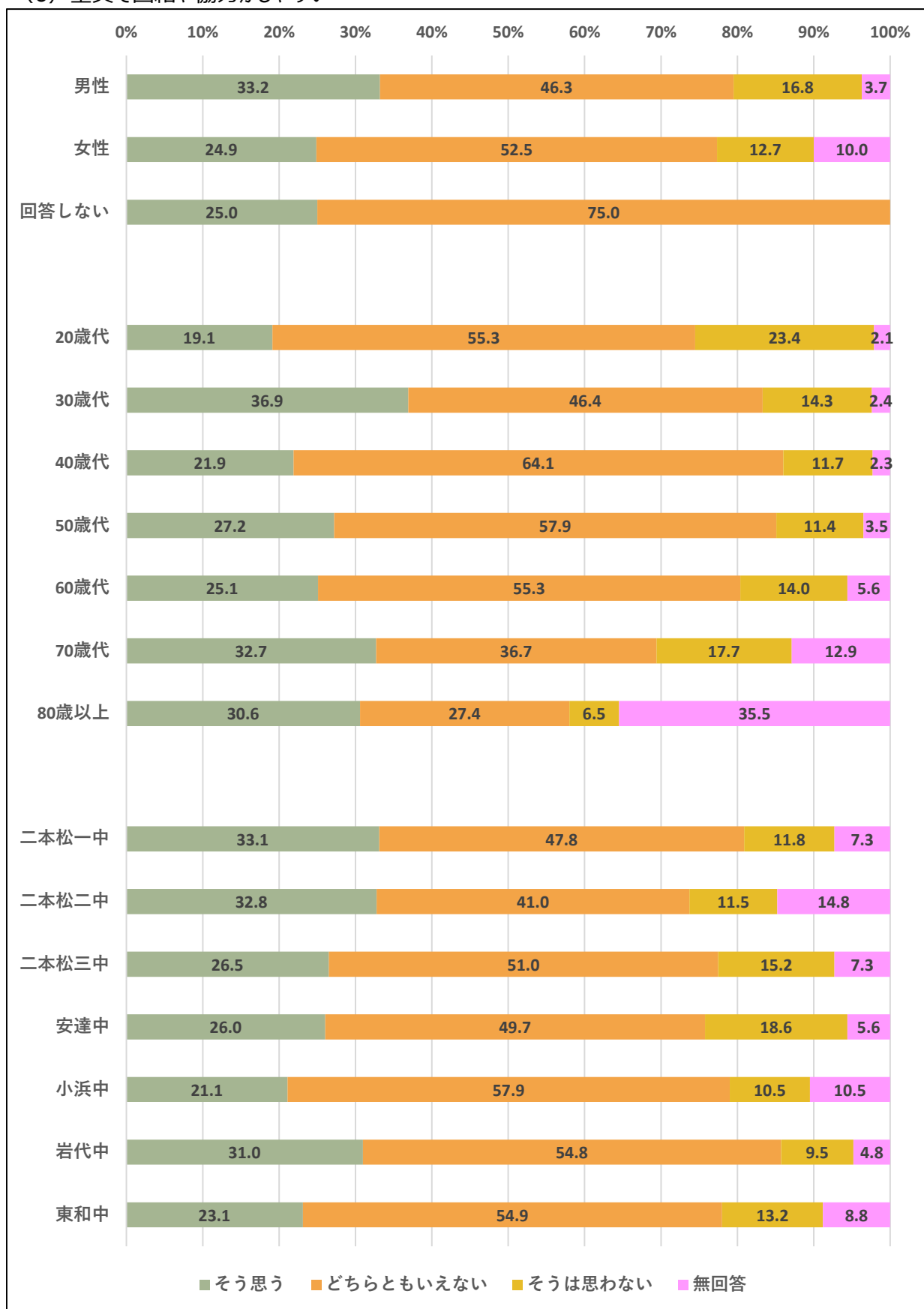
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「60歳代」、「70歳代」、「80歳以上」で「そう思う」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「二本松三中」、「東和中」の順に「そう思う」の割合が高くなっている。

(5) 人間関係の幅が広がる



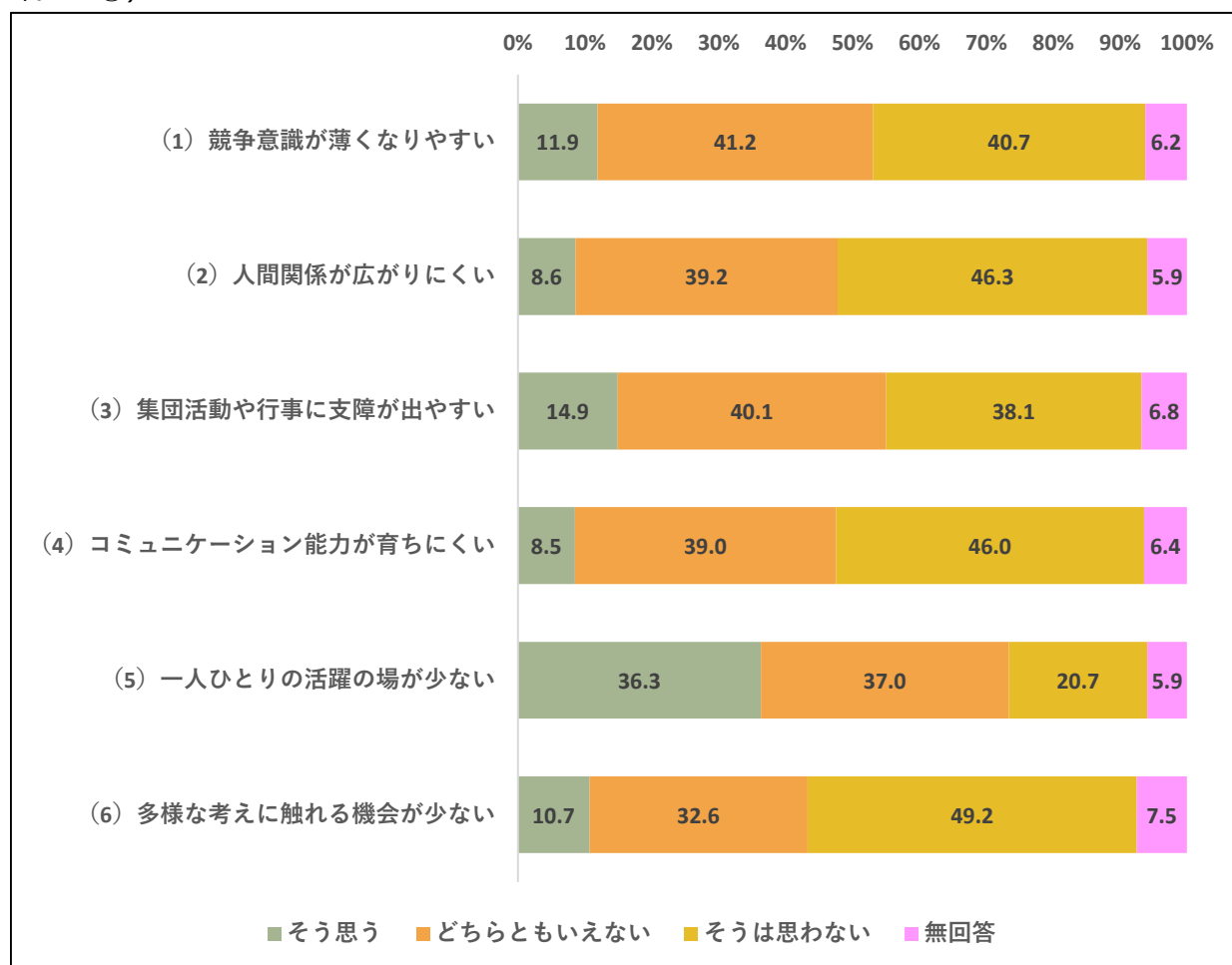
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「小浜中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(6) 全員で団結や協力がしやすい



性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「30歳代」で「そう思う」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」、「岩代中」で「そう思う」の、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

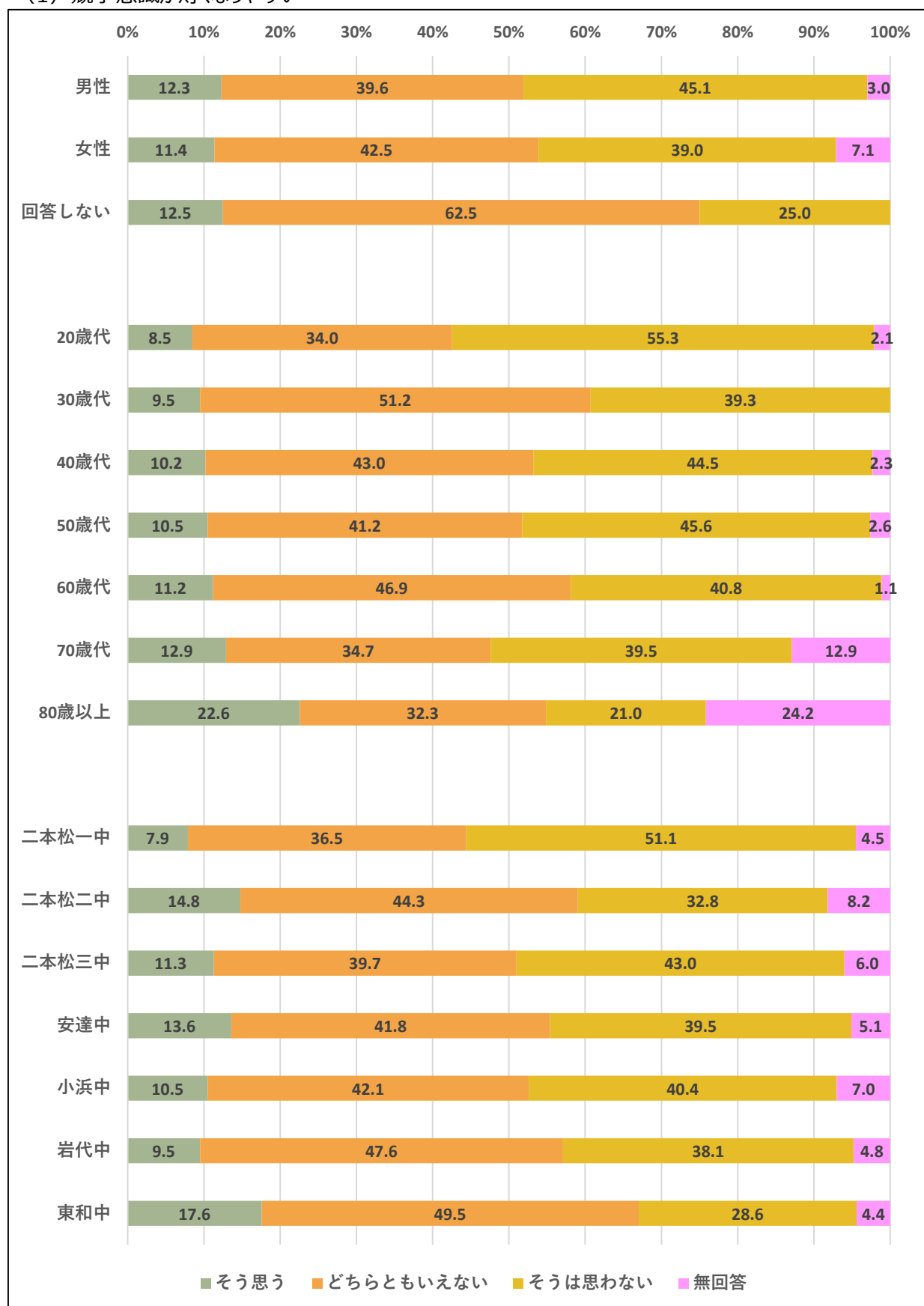
問14 学校の児童生徒数や学級数が多い場合に課題となることはどのようなことだと思いますか。（それぞれ1つ〇）



「一人ひとりの活躍の場が少ない」で「そう思う」の割合が高く、その他の設問では「そうは思わない」の割合が高くなっている。

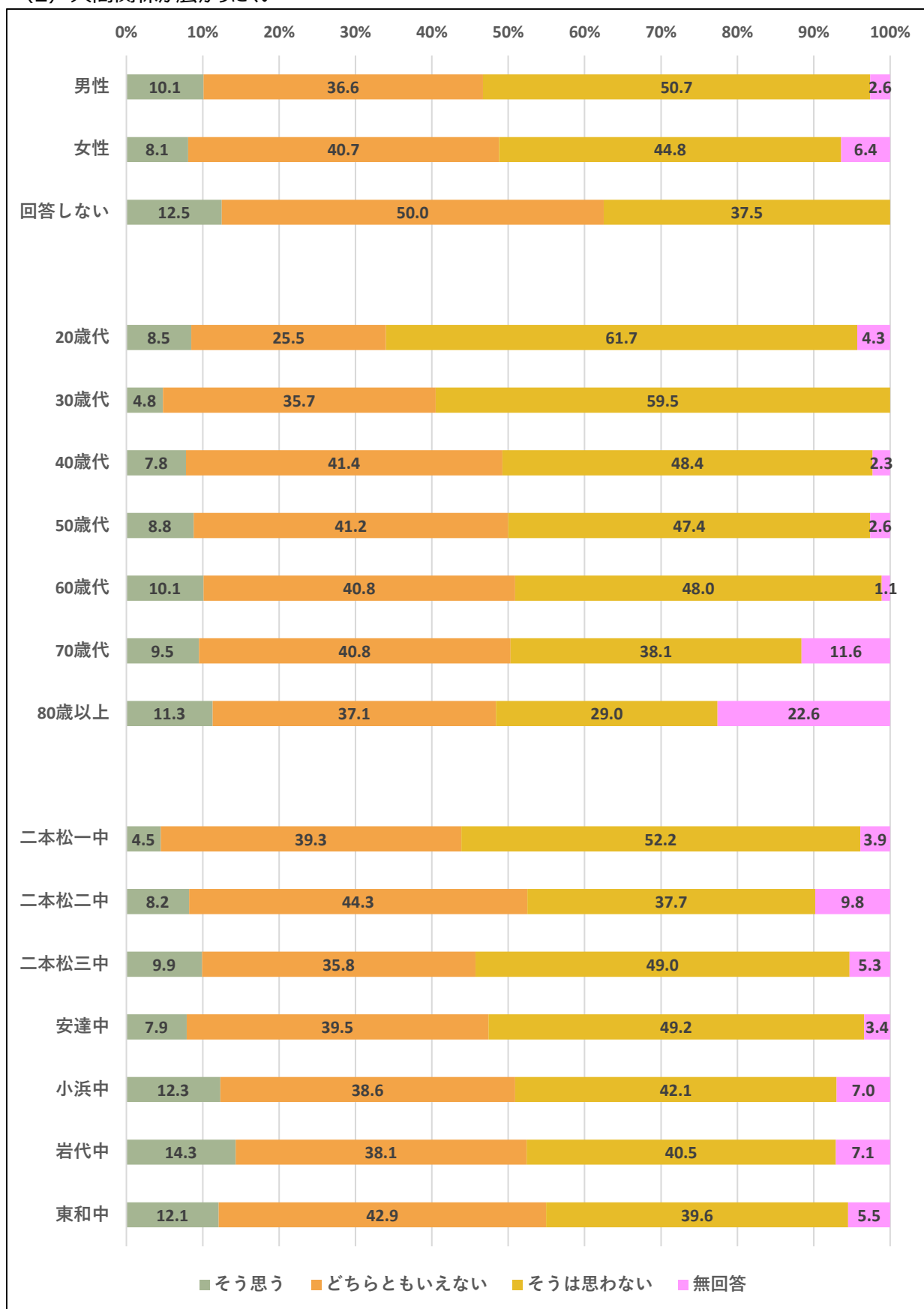
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 競争意識が薄くなりやすい



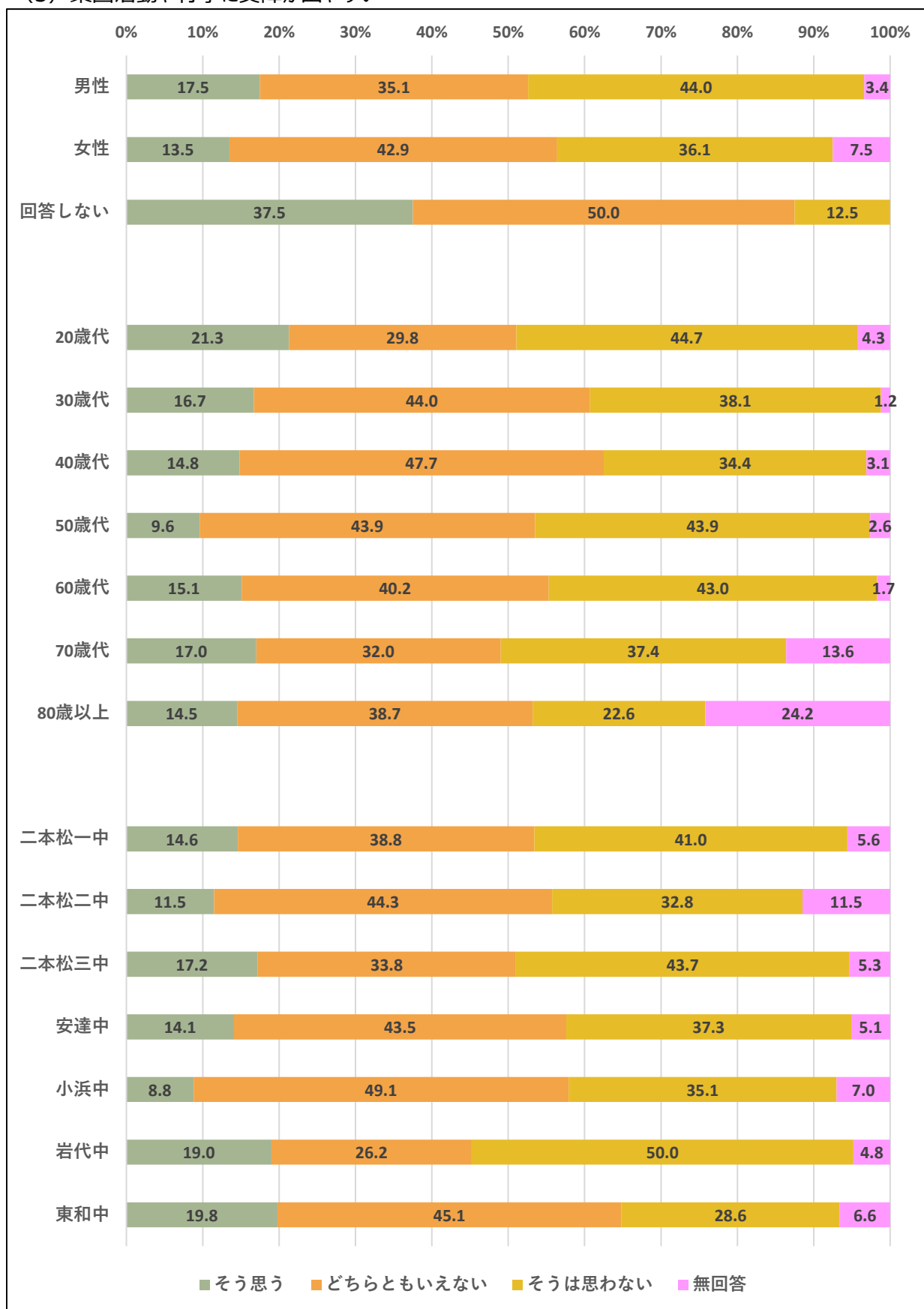
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「40歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(2) 人間関係が広がりにくい



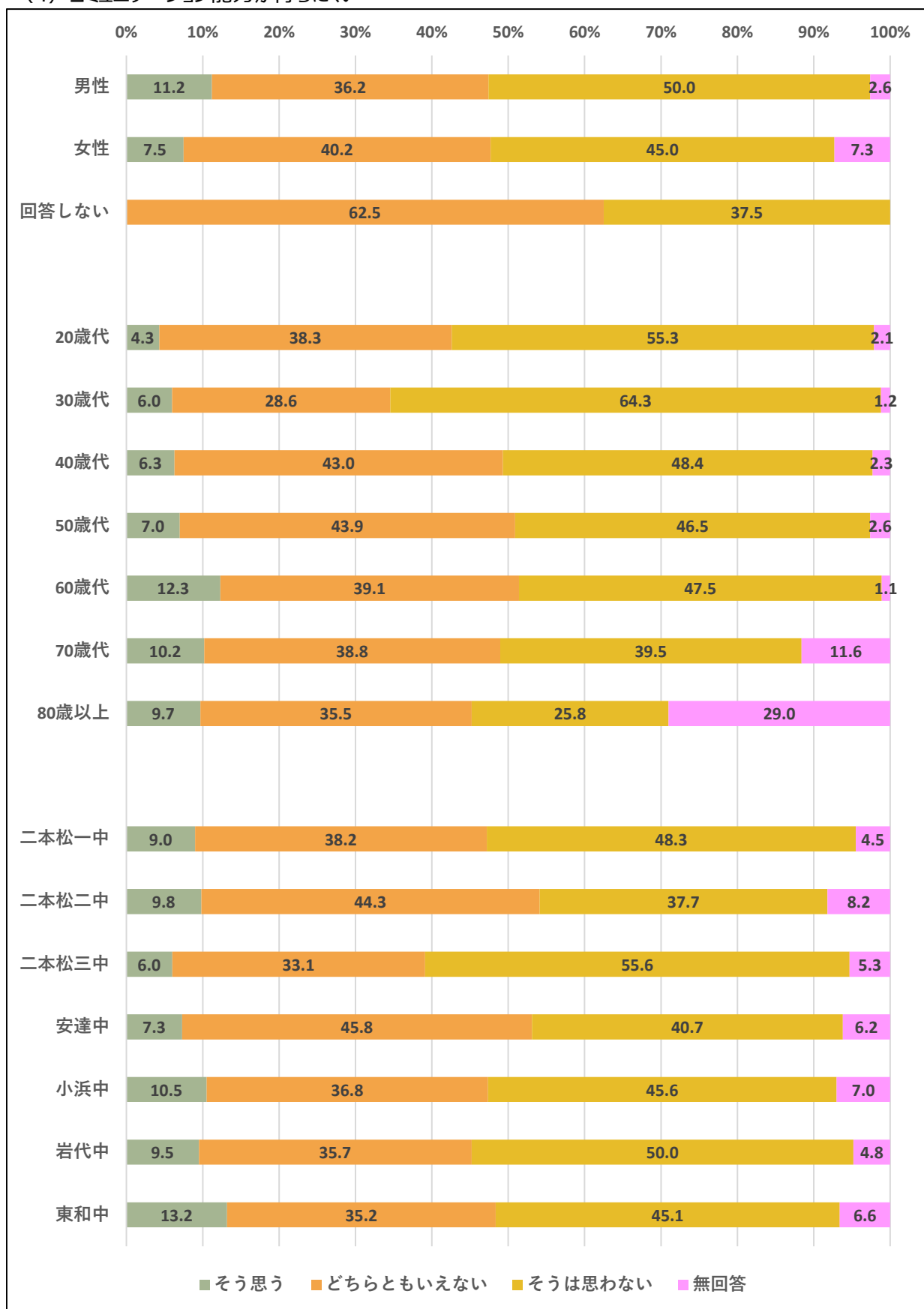
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松一中」、「二本松三中」、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(3) 集団活動や行事に支障が出やすい



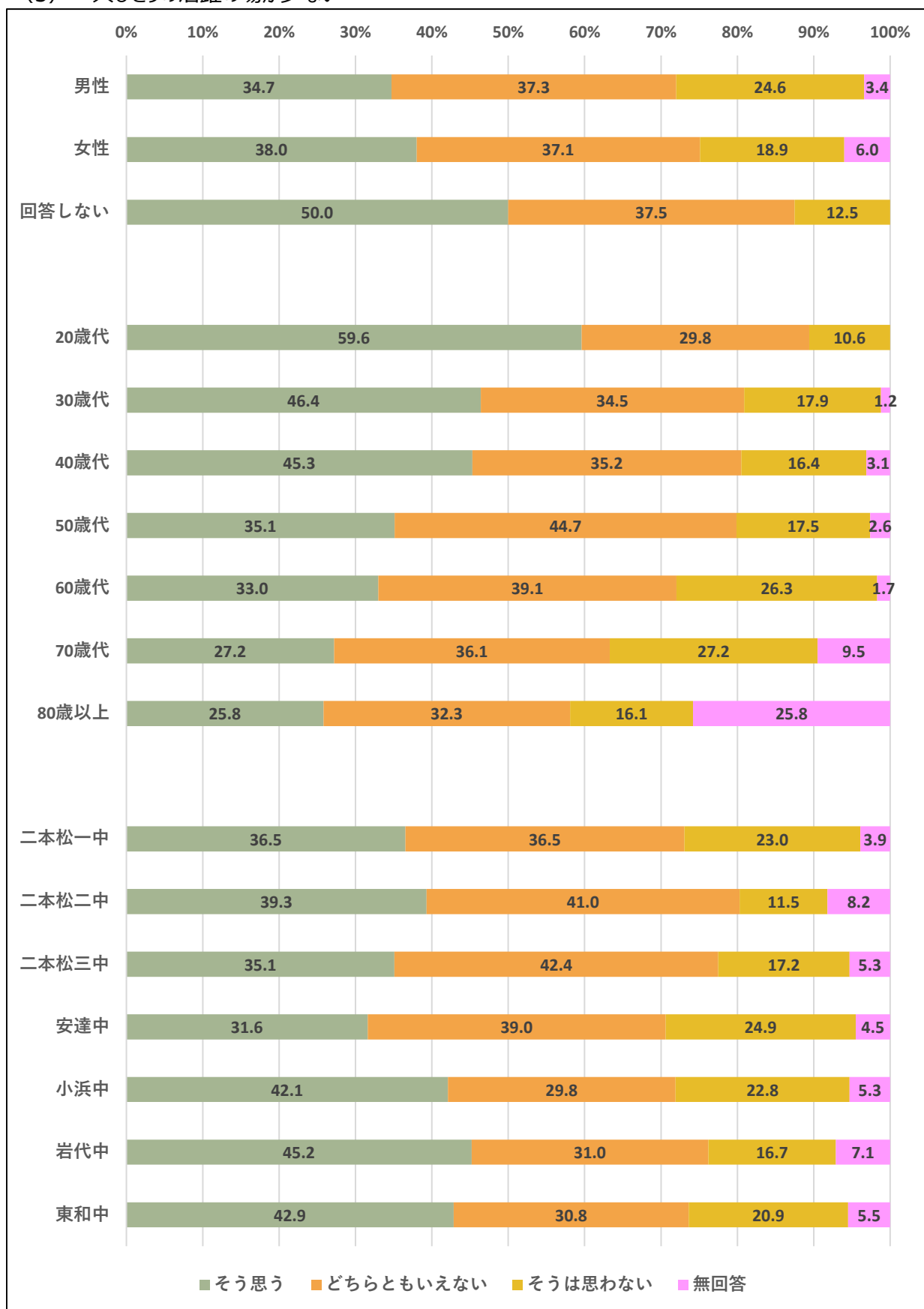
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松一中」、「二本松三中」、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) コミュニケーション能力が育ちにくい



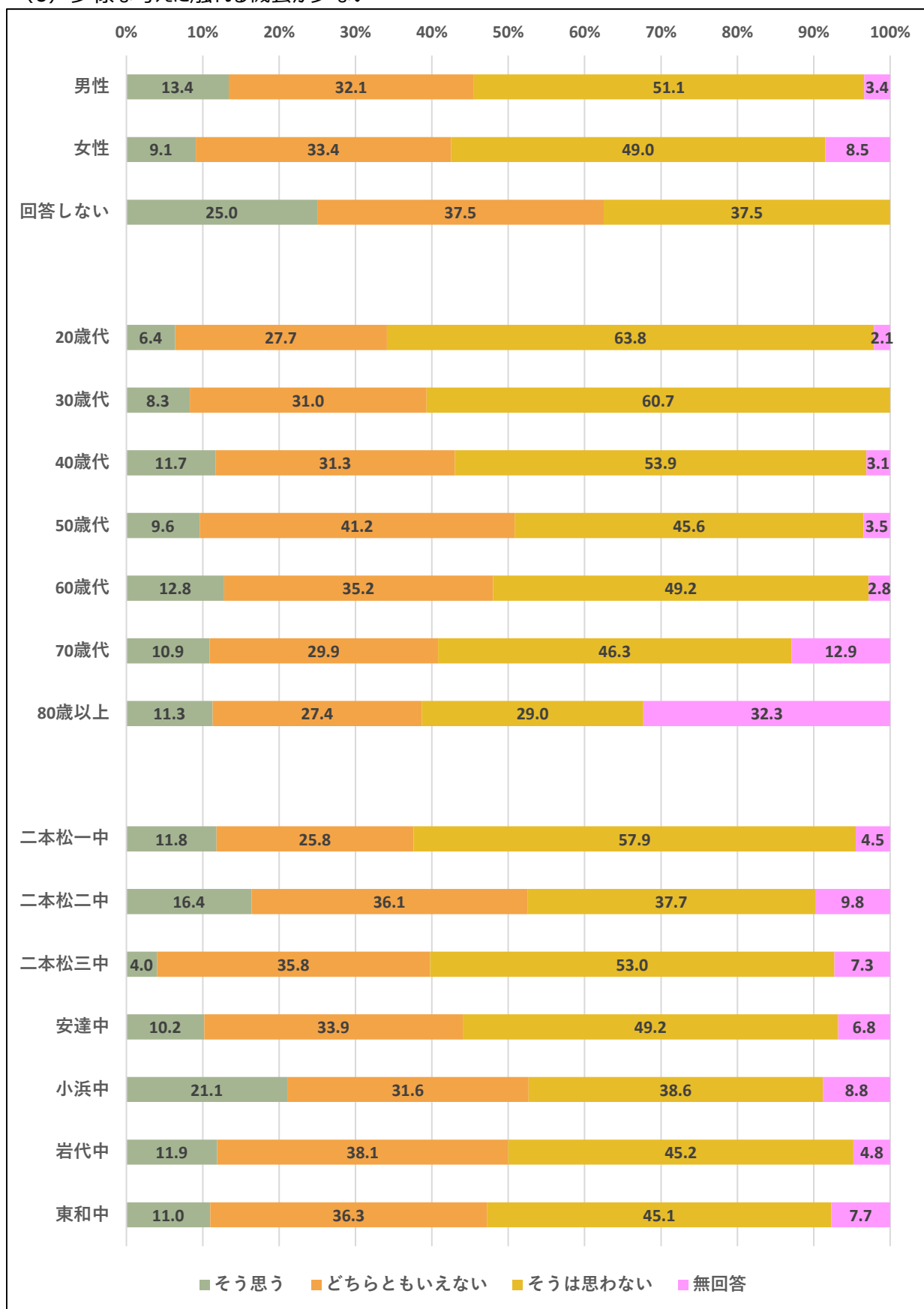
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「東和中」で「そう思う」の、「二本松三中」、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(5) 一人ひとりの活躍の場が少ない



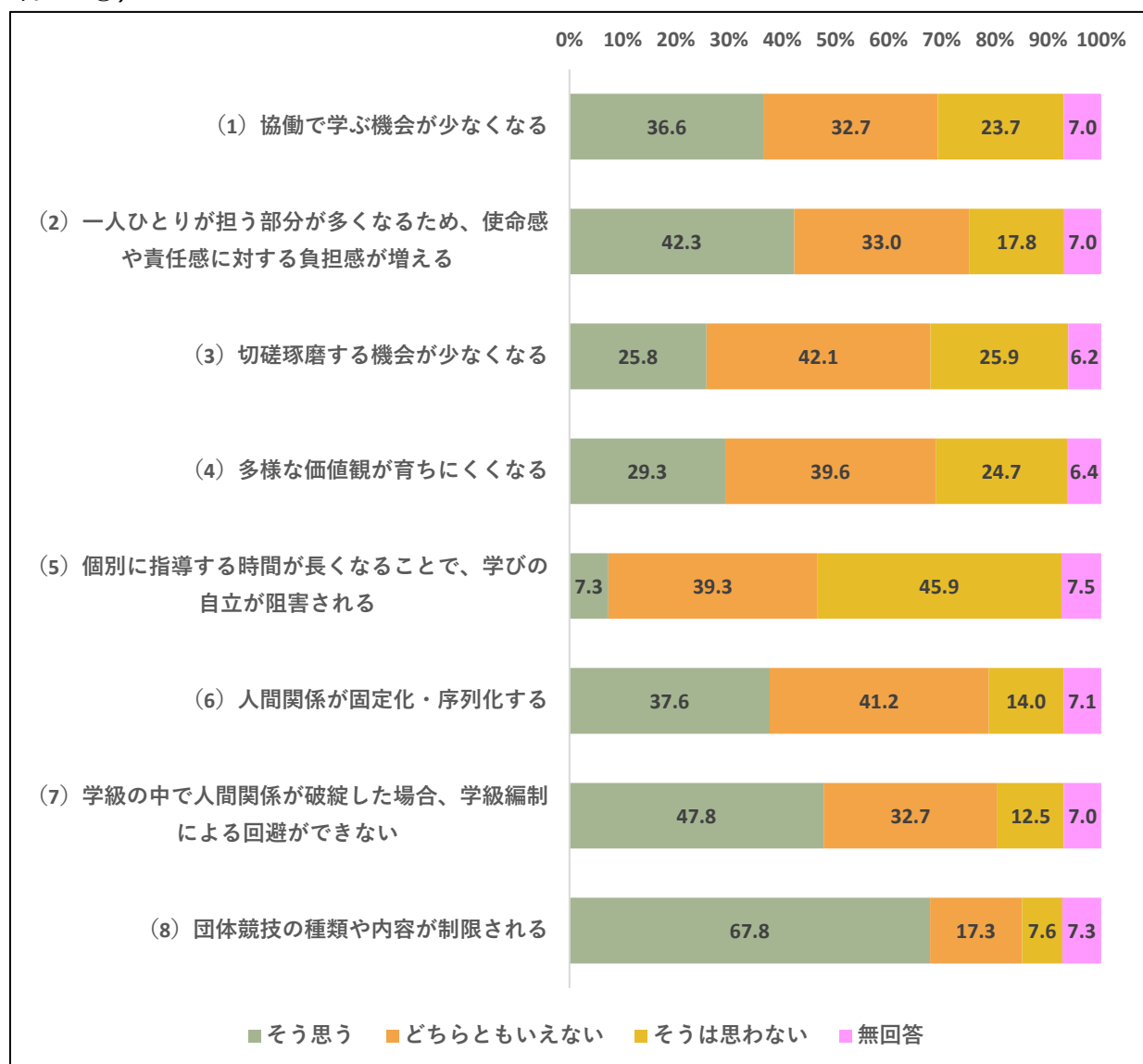
性別では、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「60歳代」、「70歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(6) 多様な考えに触れる機会が少ない



年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」、「小浜中」で「そう思う」の、「二本松一中」、「二本松三中」、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

問15 小中学校において、学級の人数が減ることによって、どのような影響が生じると思いますか。（それぞれ1つ〇）

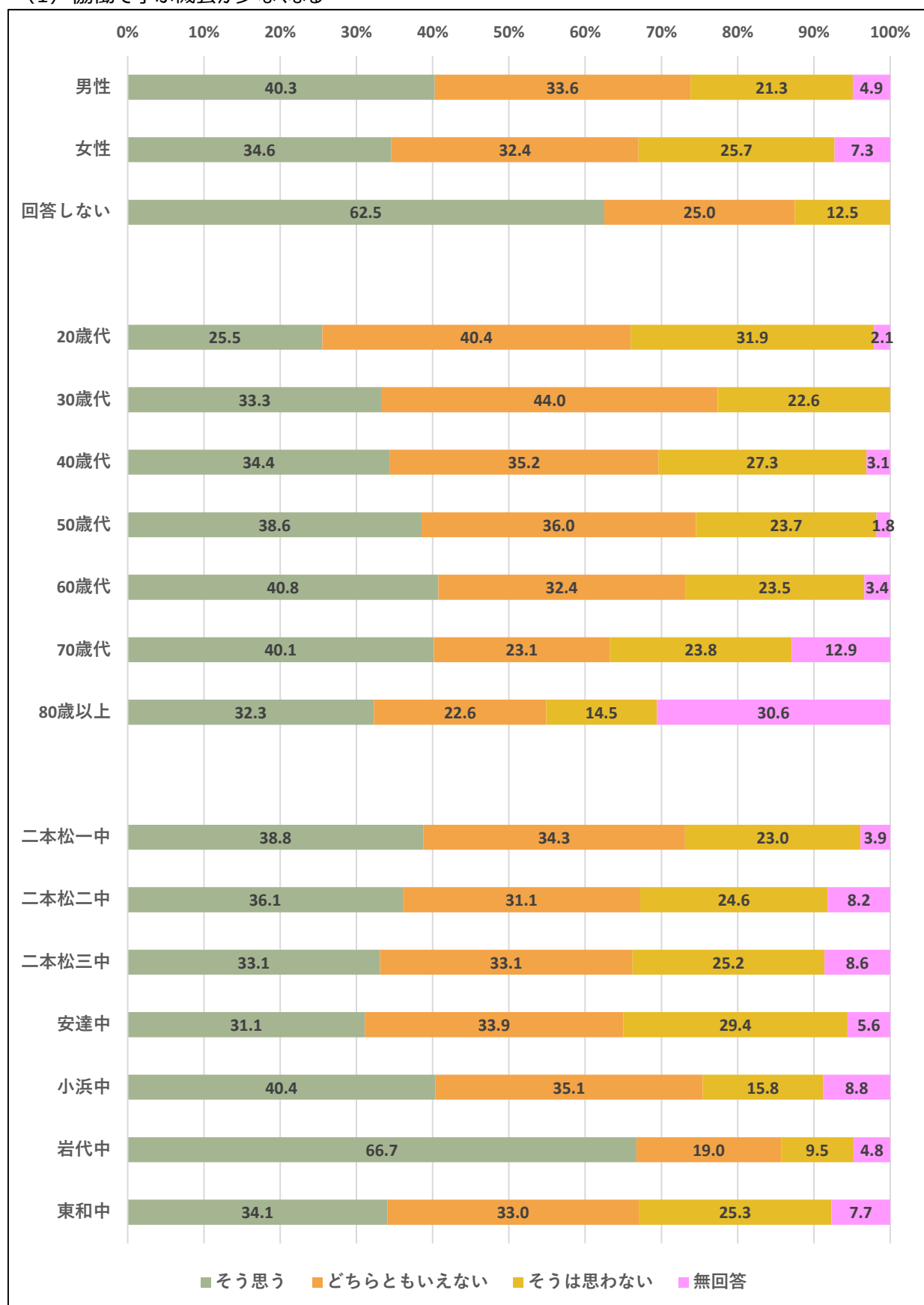


「協働で学ぶ機会が少なくなる」、「一人ひとりが担う部分が多くなるため、使命感や責任感に対する負担感が増える」、「人間関係が固定化・序列化する」、「学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編制による回避ができない」、「団体競技の種類や内容が制限される」で「そう思う」の割合が高く、特に「団体競技の種類や内容が制限される」では67.8%となっている。

また、「個別に指導する時間が長くなることで、学びの自立が阻害される」で「そうは思わない」の割合が高くなっている。

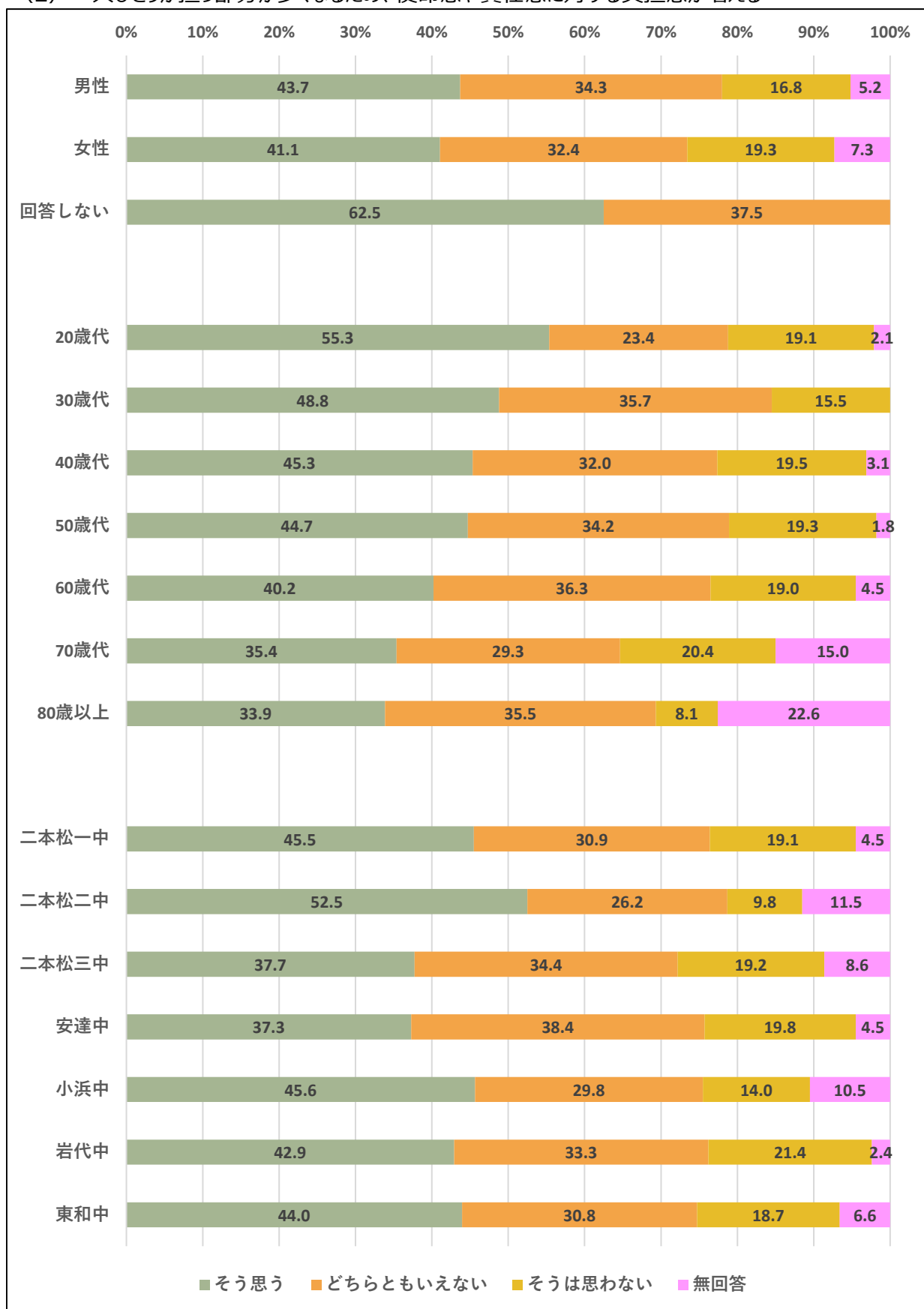
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 協働で学ぶ機会が少なくなる



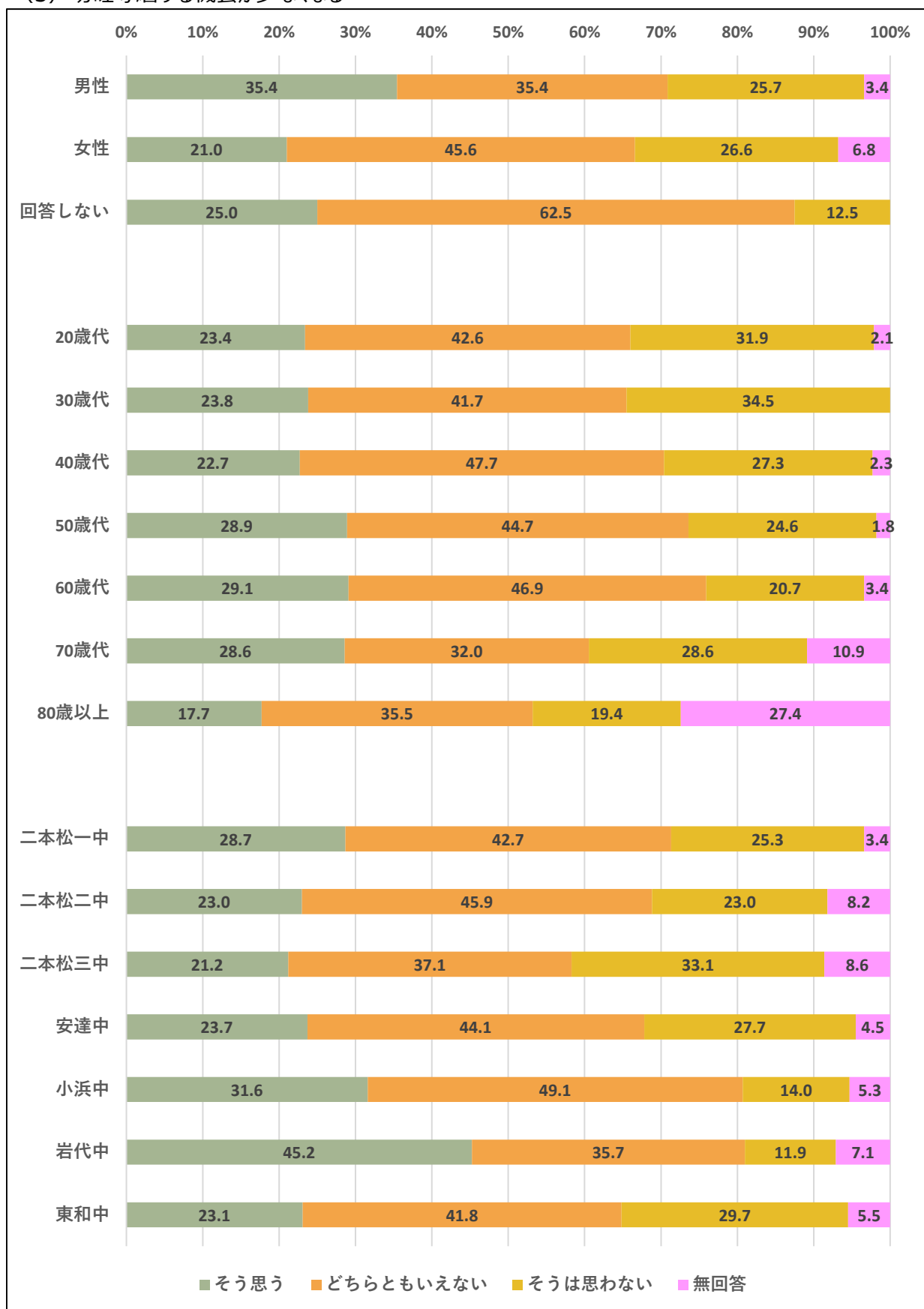
性別では「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「40歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(2) 一人ひとりが担う部分が多くなるため、使命感や責任感に対する負担感が増える



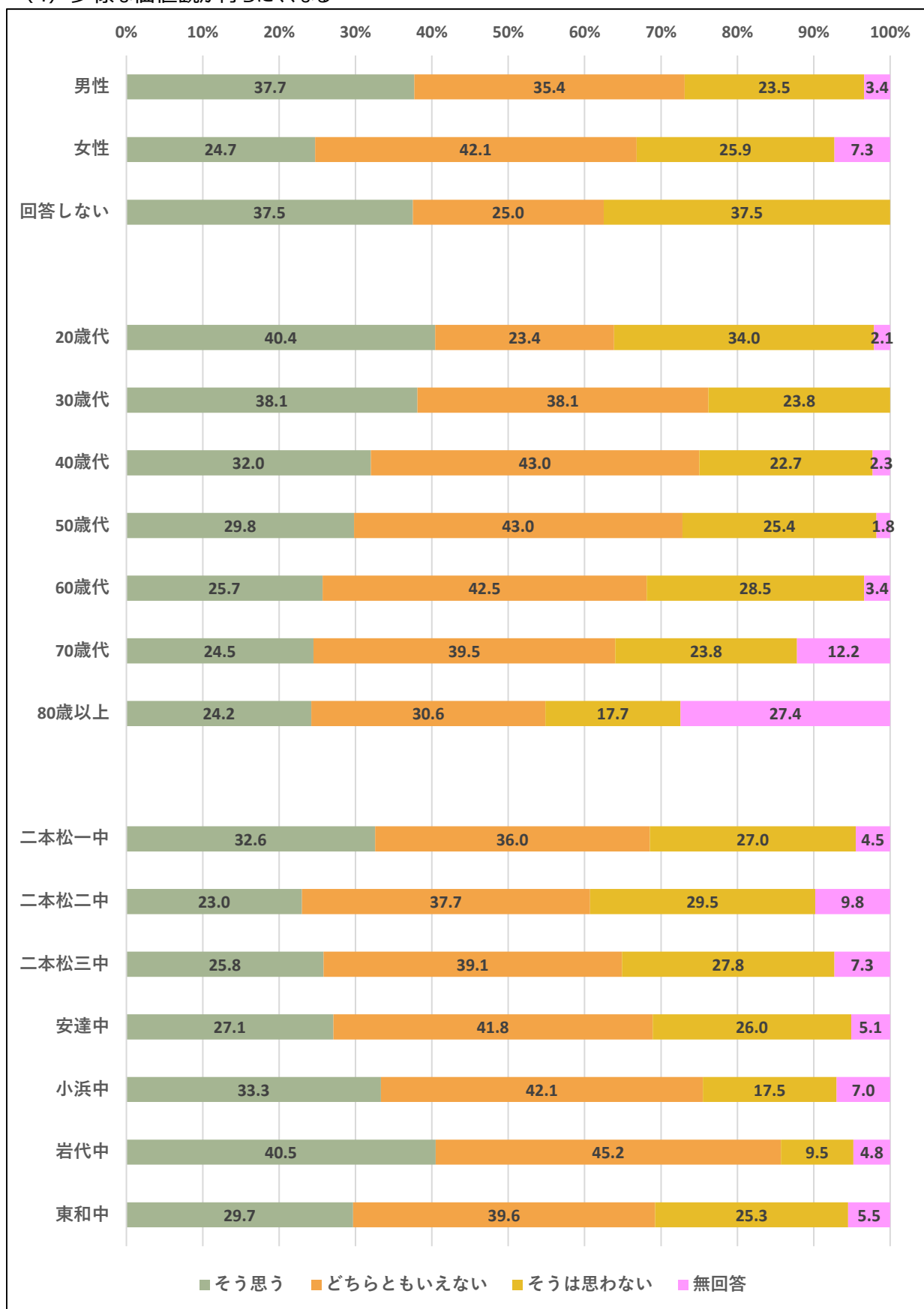
年齢別では、下の年代ほど「そう思う」の割合が高くなっており、「20歳代」では55.3%となっている。中学校区別では、「二本松二中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(3) 切磋琢磨する機会が少なくなる



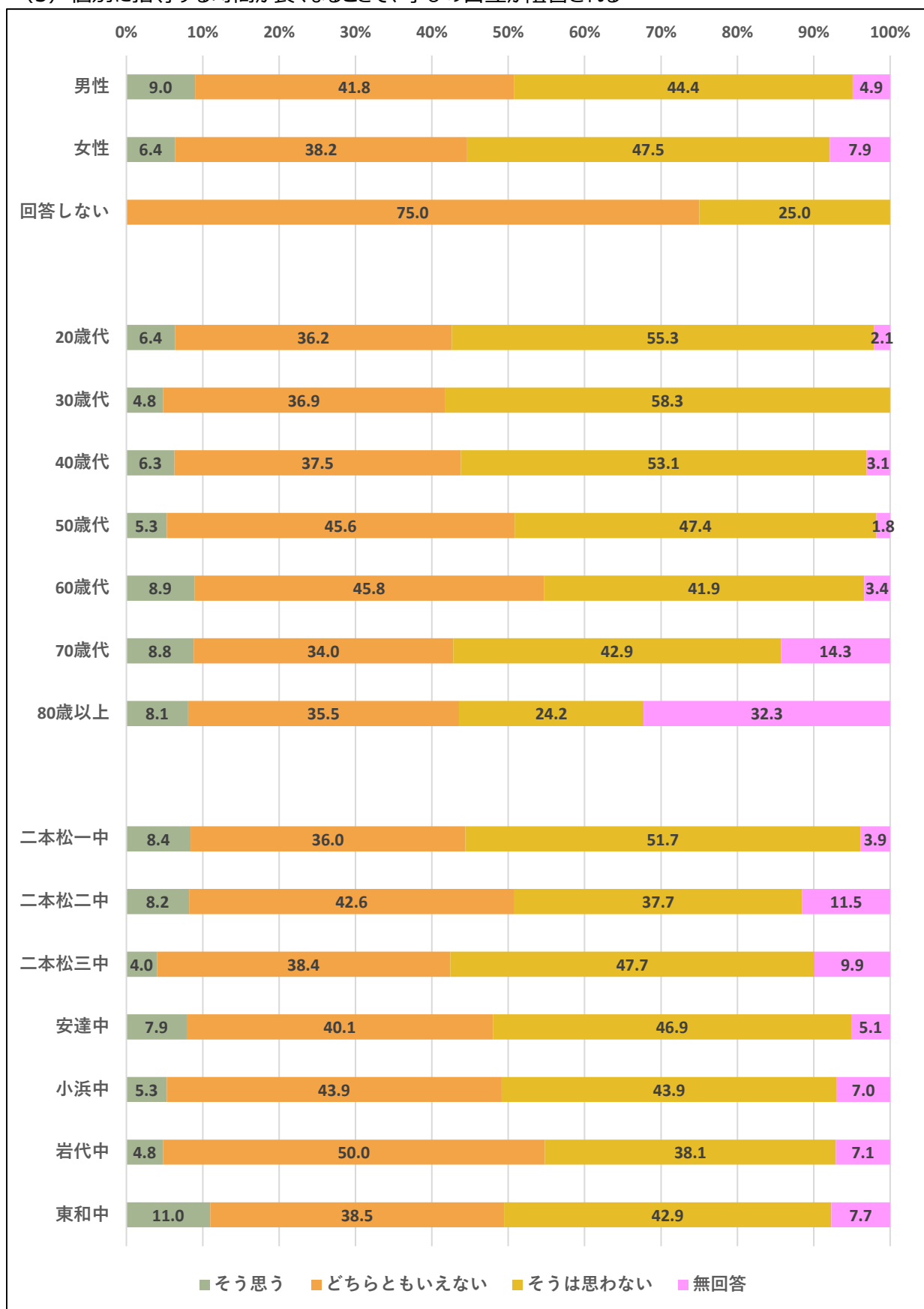
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」、「小浜中」で「そう思う」の、「二本松三中」、「安達中」、「東和中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) 多様な価値観が育ちにくくなる



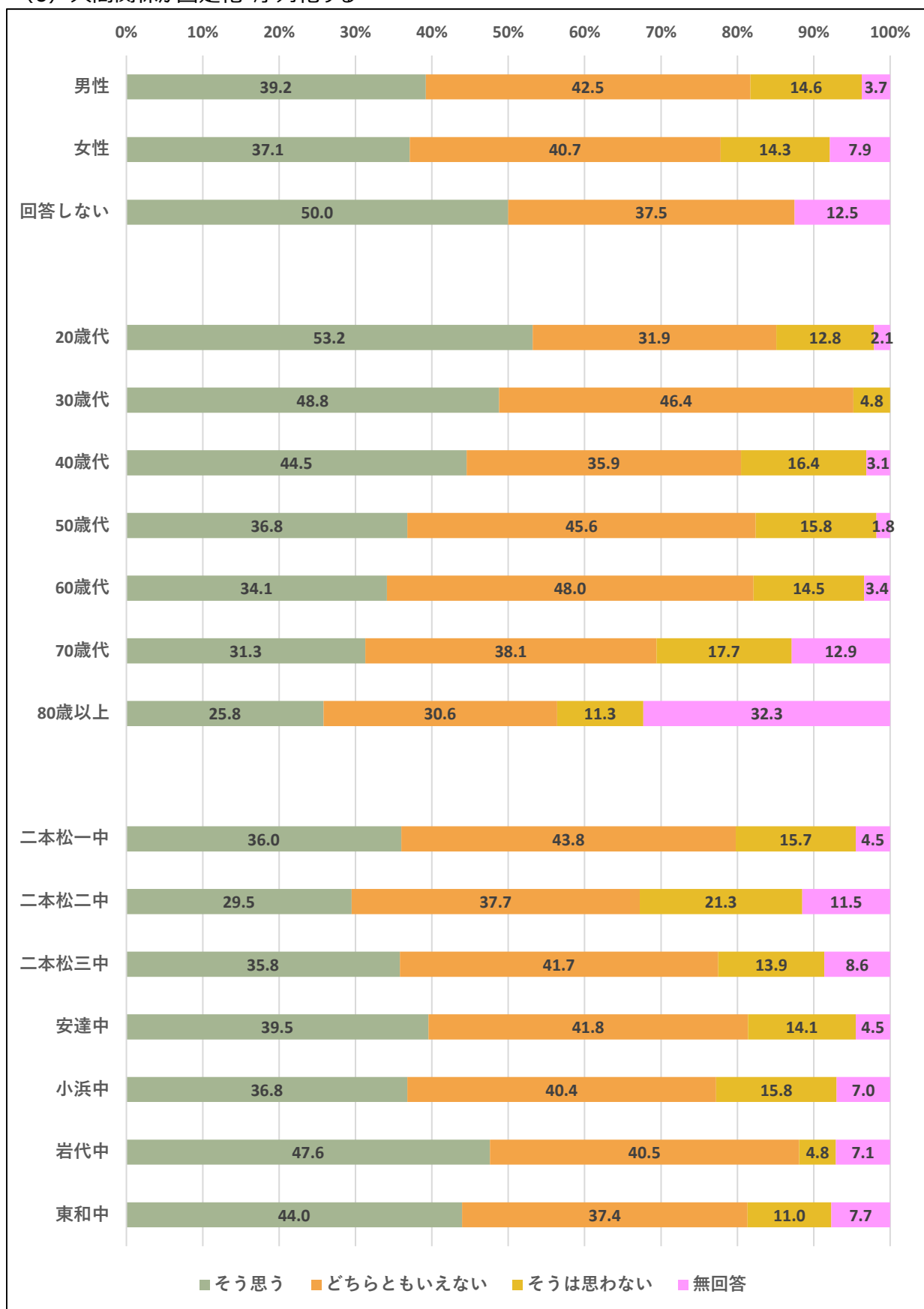
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、下の年代ほど「そう思う」の割合が高くなっており、「20歳代」では40.4%となっている。また、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「小浜中」、「岩代中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(5) 個別に指導する時間が長くなることで、学びの自立が阻害される



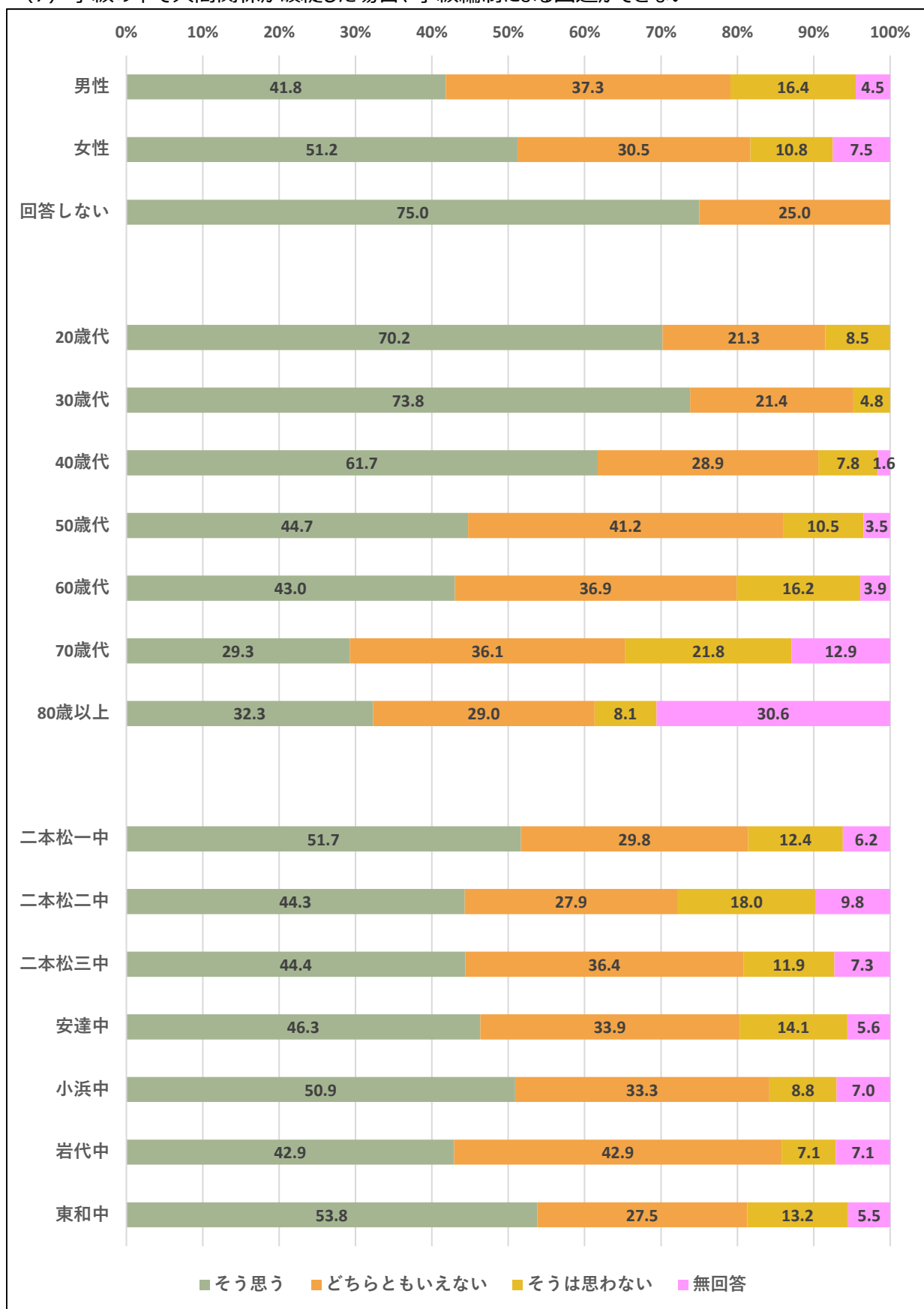
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「東和中」で「そう思う」の、「二本松一中」、「二本松三中」、「安達中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(6) 人間関係が固定化・序列化する



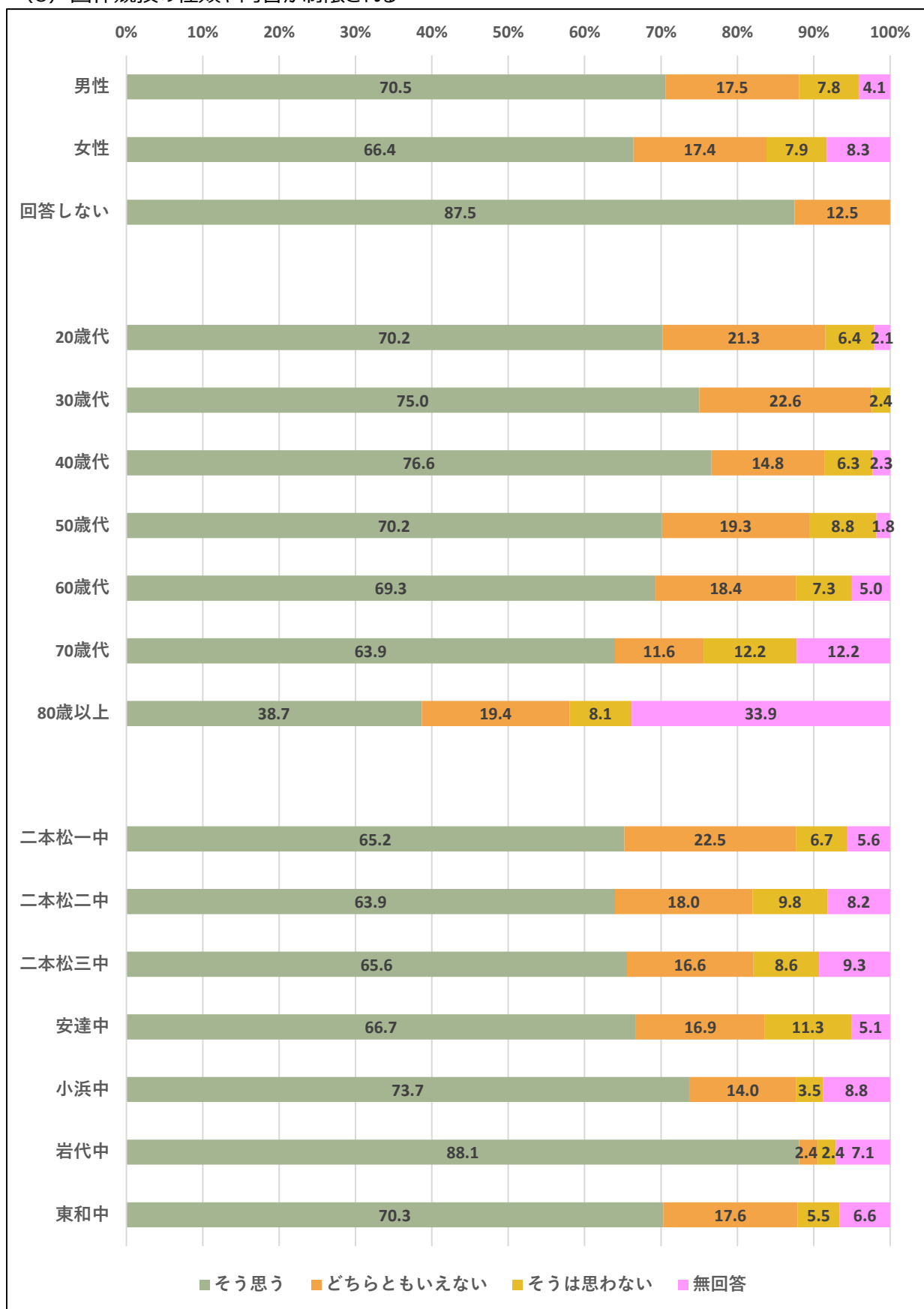
年齢別では、下の年代ほど「そう思う」の割合が高くなっており、「20歳代」では53.2%となっている。中学校区別では、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松二中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(7) 学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編制による回避ができない



性別では、「女性」で「そう思う」の、「男性」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「60歳代」、「70歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「小浜中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松二中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

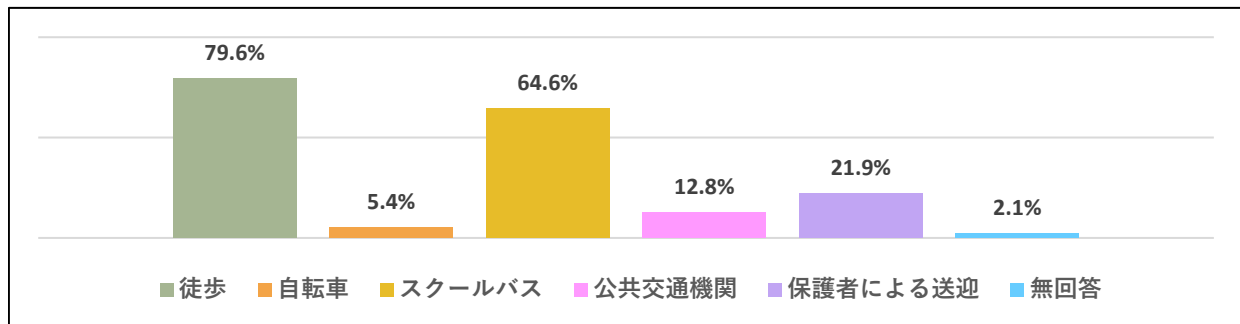
(8) 団体競技の種類や内容が制限される



年齢別では、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「70歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

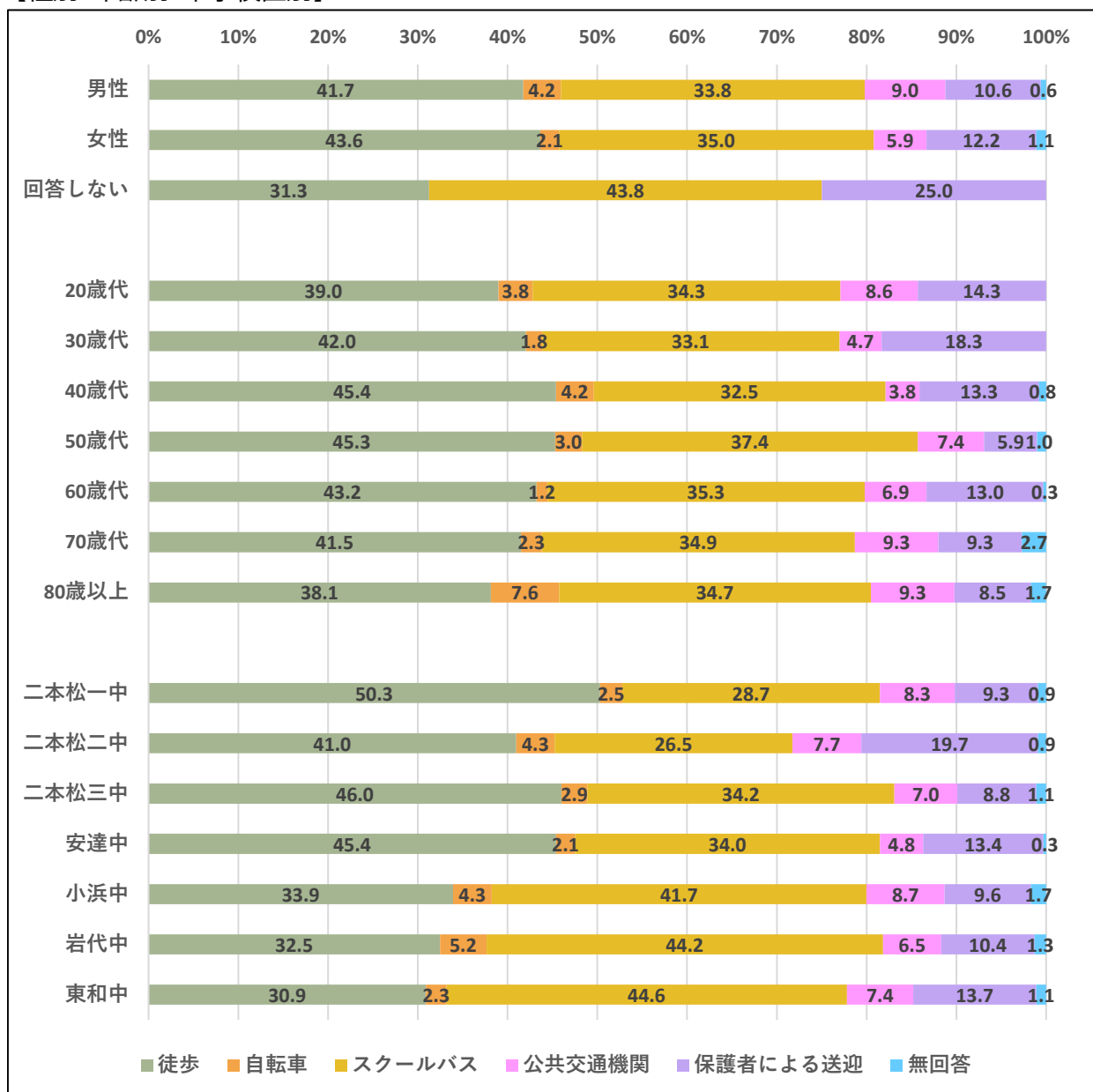
4.通学方法、通学時間について

問16 小学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（複数回答可）



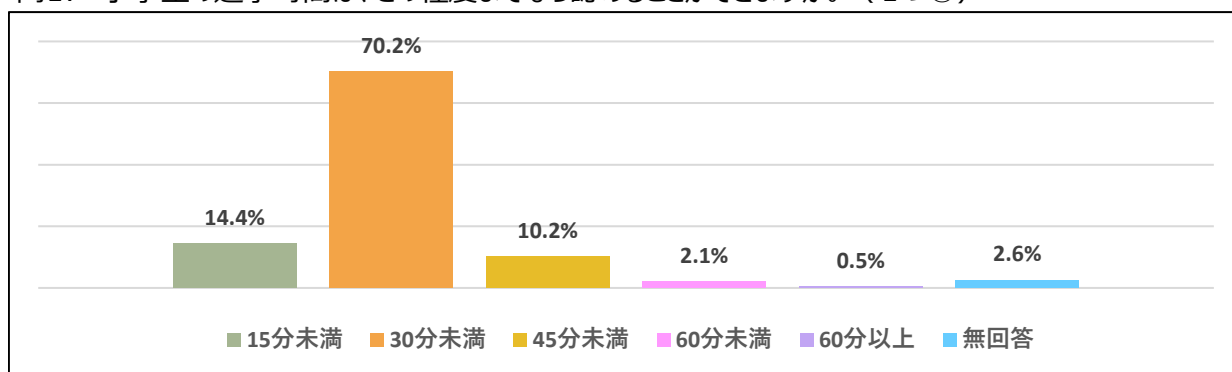
「徒歩」が最も高く（79.6%）、次いで「スクールバス」（64.6%）、「保護者による送迎」（21.9%）となっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



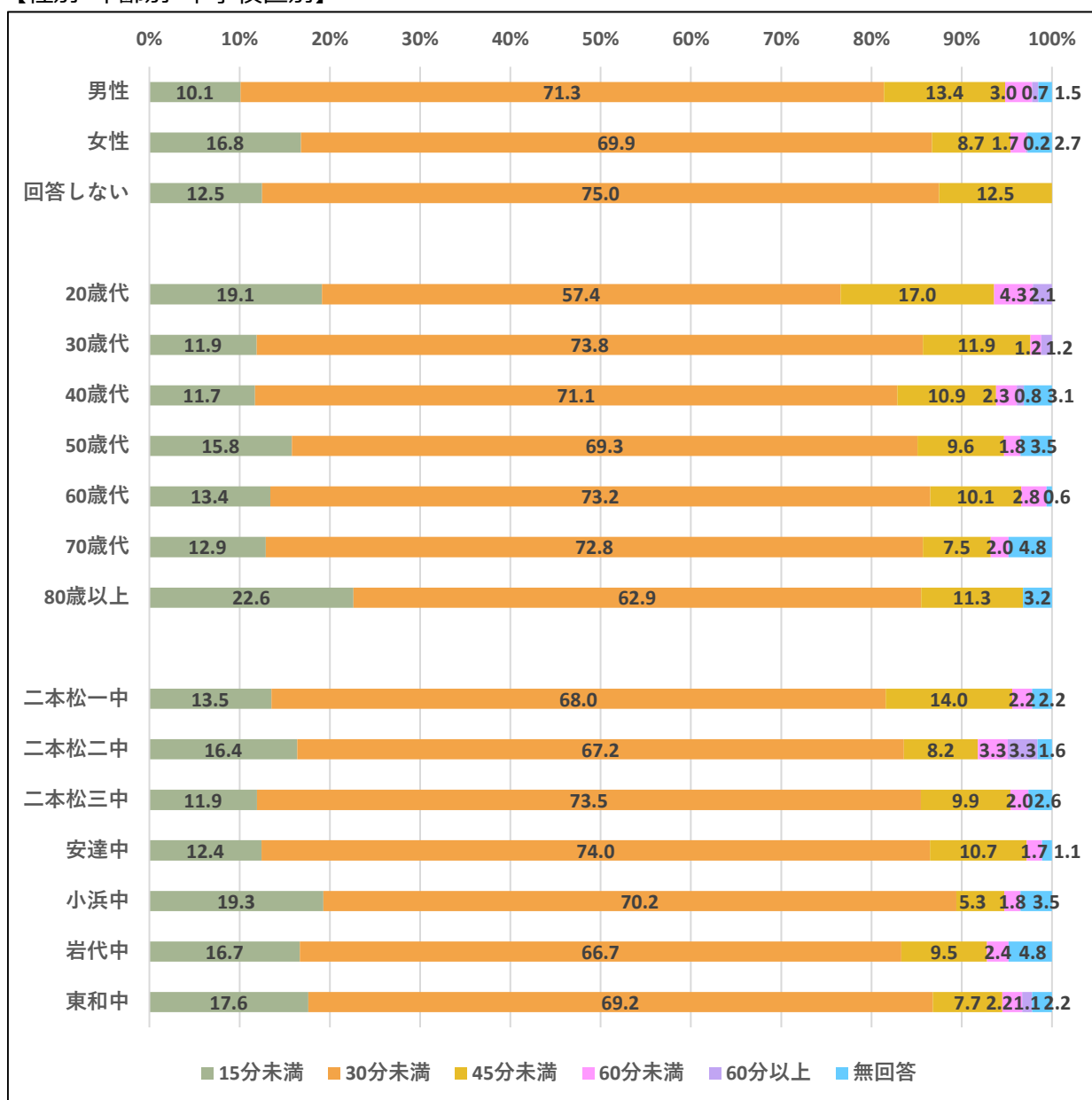
中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」、「二本松三中」、「安達中」で「徒歩」の、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「スクールバス」の割合が比較的高くなっている。「二本松二中」では、「保護者による送迎」も比較的高くなっている。

問17 小学生の通学時間は、どの程度までなら認めることができますか。（1つ○）



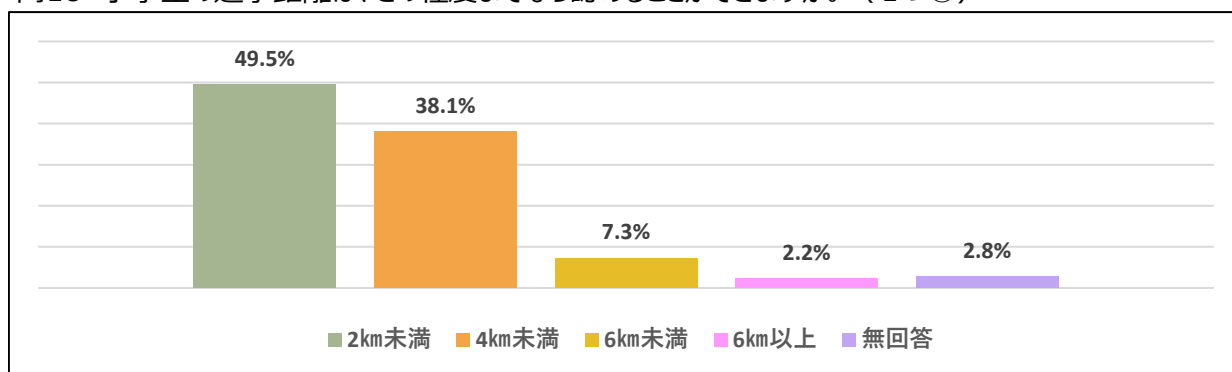
「30分未満」が70.2%と最も高く、次いで「15分未満」（14.4%）、「45分未満」（10.2%）となっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



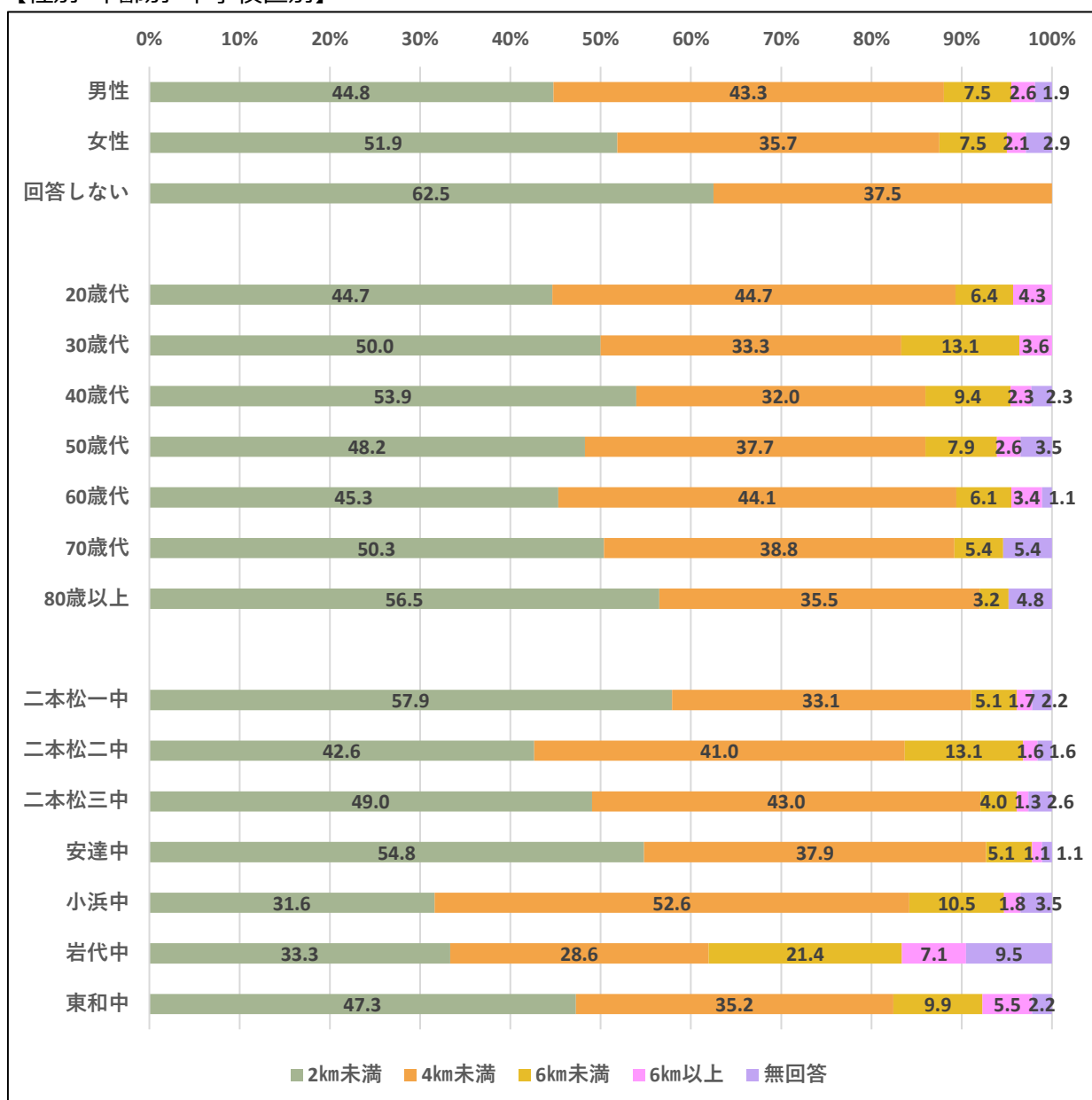
どの区分でも「30分未満」の割合が高くなっているが、性別の「男性」、年齢別の「20歳代」、中学校区別の「二本松一中」では、「45分未満」の割合も比較的高くなっている。また、「20歳代」において、「15分未満」と「30分未満」を合わせた割合が比較的低くなっている。

問18 小学生の通学距離は、どの程度までなら認めることができますか。（1つ○）



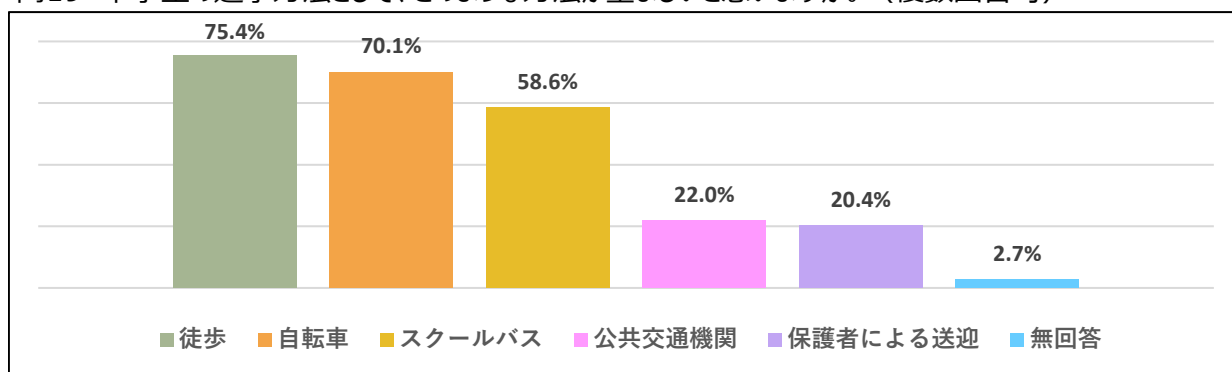
「2km未満」が49.5%と最も高く、「4km未満」（38.1%）と合わせて87.6%となっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



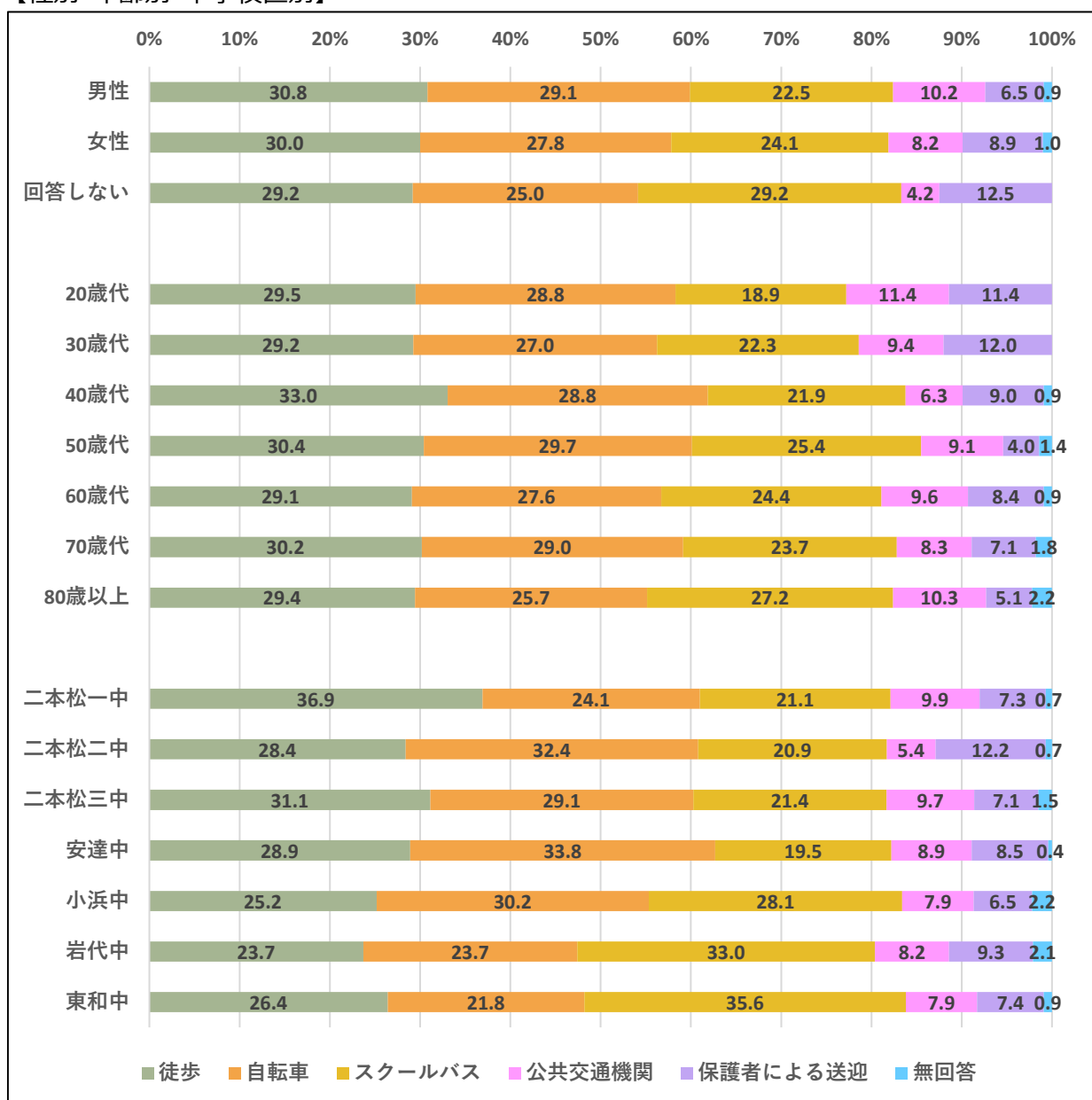
中学校区別では、「二本松一中」、「安達中」で「2km未満」の、「小浜中」で「4km未満」の割合が比較的高く、「二本松一中」、「二本松三中」、「安達中」で「2km未満」と「4km未満」を合わせた割合が90%を超えている。また、「岩代中」で「6km未満」の割合が比較的高くなっている。

問19 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（複数回答可）



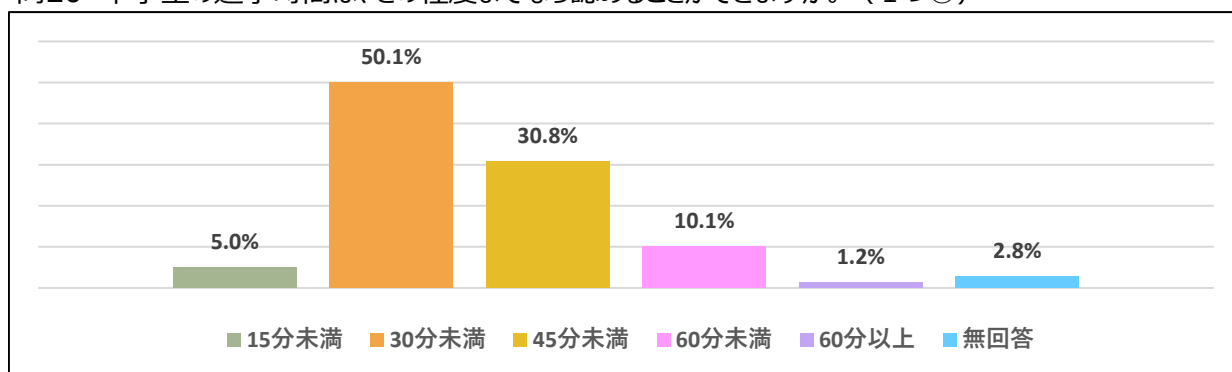
「徒歩」（75.4%）、「自転車」（70.1%）、「スクールバス」（58.6%）の順に高くなっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



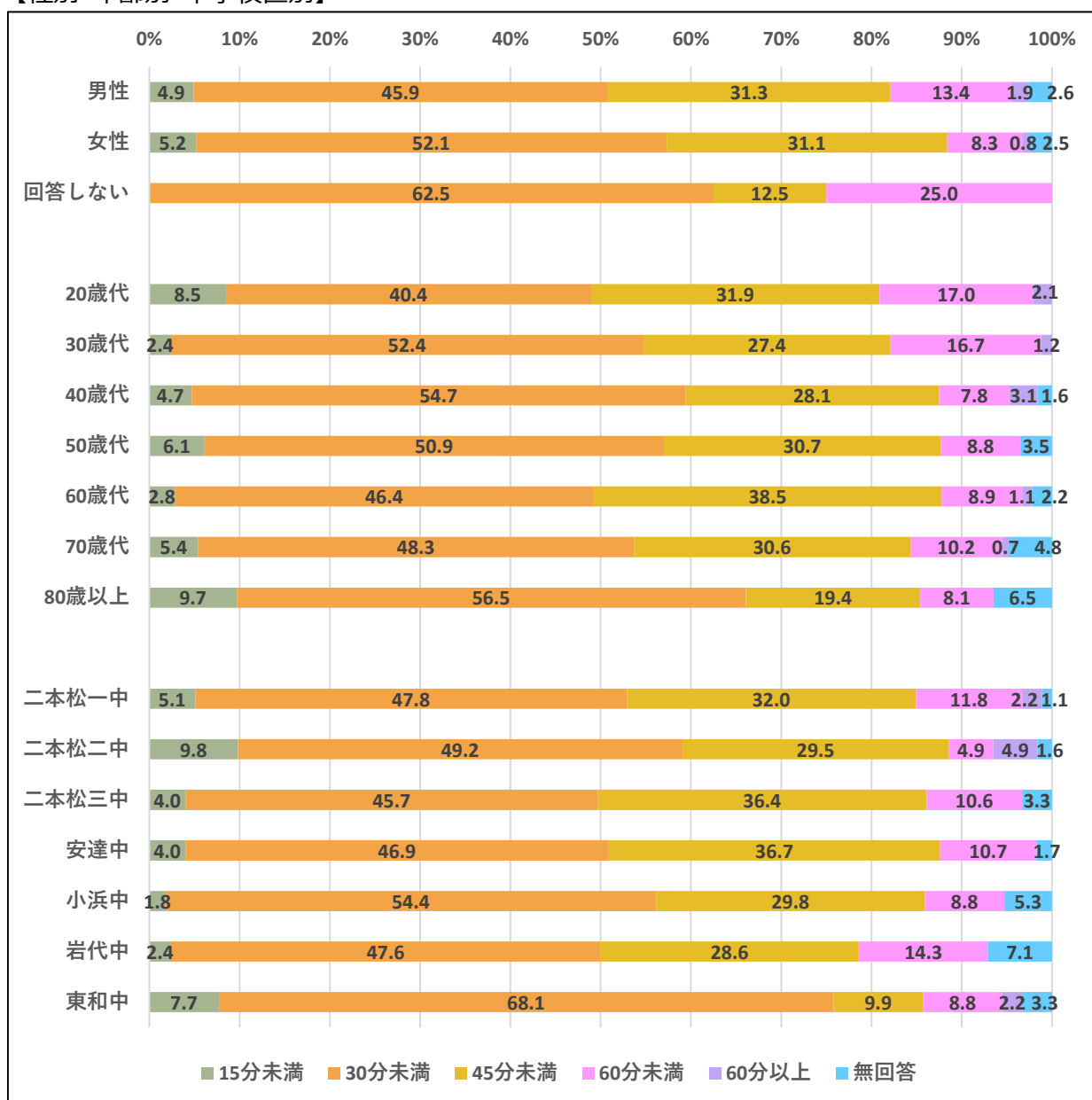
中学校区別では、「二本松一中」で「徒歩」の、「二本松二中」、「安達中」、「小浜中」で「自転車」の、「小浜中」、「岩代中」、「東和中」で「スクールバス」の割合が比較的高くなっている。

問20 中学生の通学時間は、どの程度までなら認めることができますか。（1つ○）



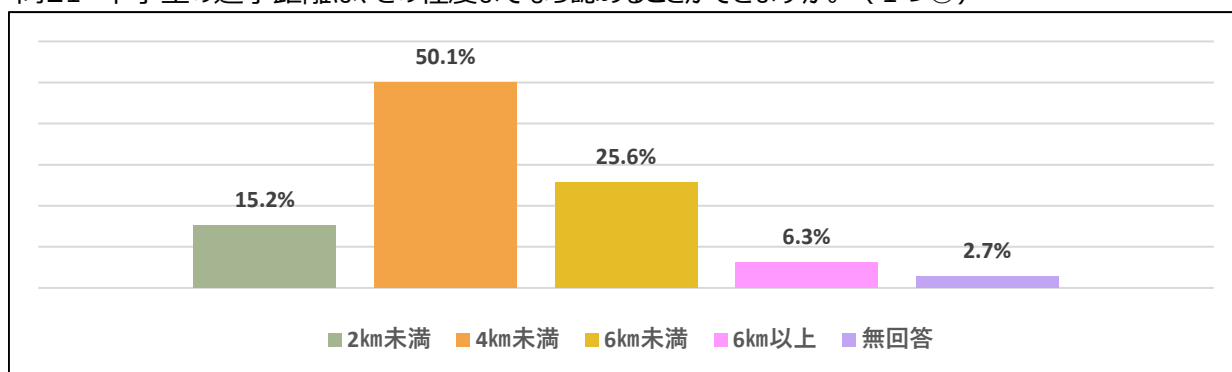
「30分未満」が50.1%と最も高く、次いで「45分未満」（30.8%）となっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



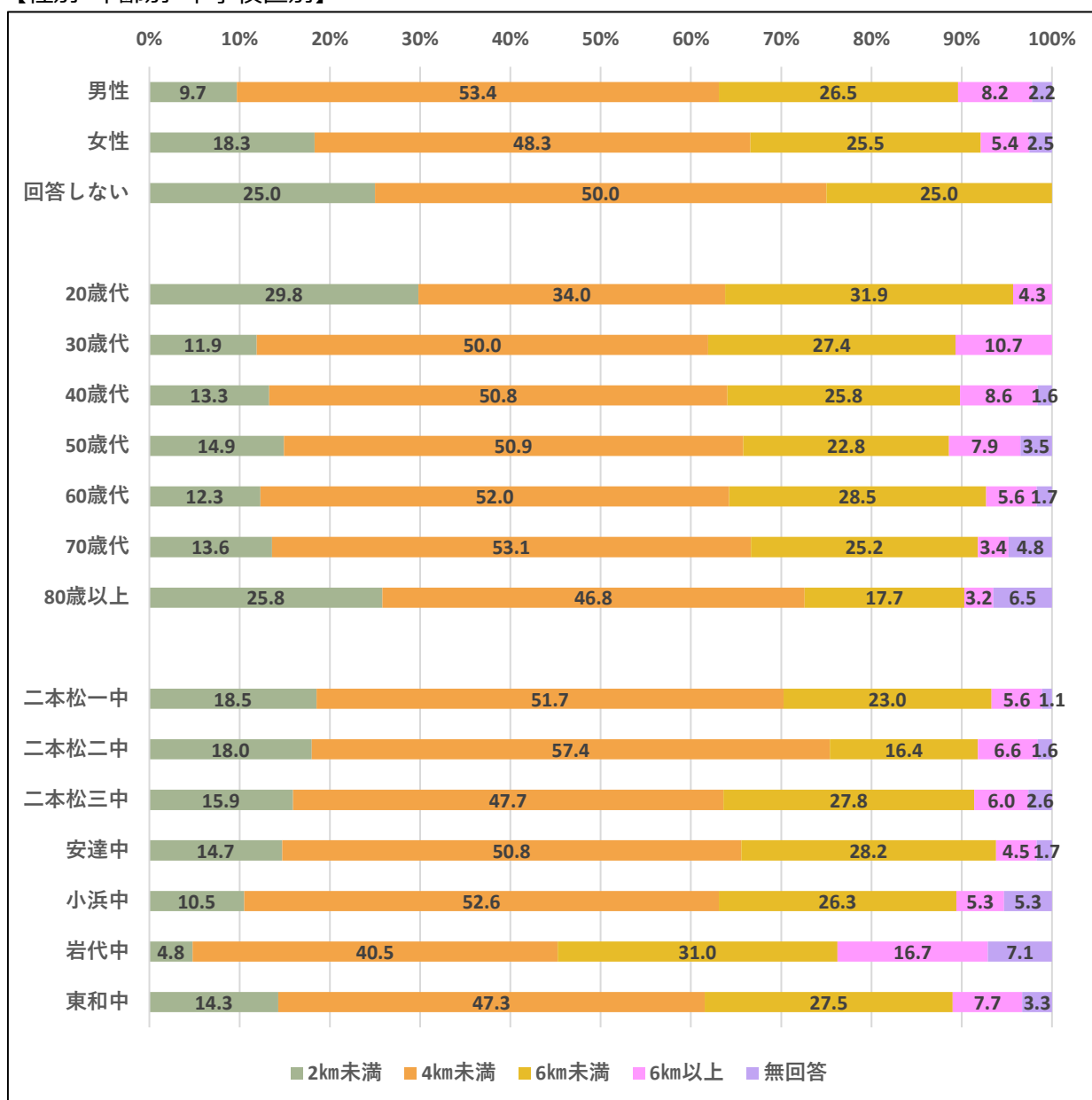
年齢別の「20歳代」、「30歳代」では、「60分未満」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「東和中」で「30分未満」が68.1%と高い割合となっている。また、「小浜中」で「30分未満」の、「二本松三中」、「安達中」で「45分未満」の、「岩代中」で「60分未満」の割合が比較的高くなっている。

問21 中学生の通学距離は、どの程度までなら認めることができますか。（1つ○）



「4km未満」が50.1%と最も高く、次いで、「6km未満」（25.6%）、「2km未満」（15.2%）となっている。

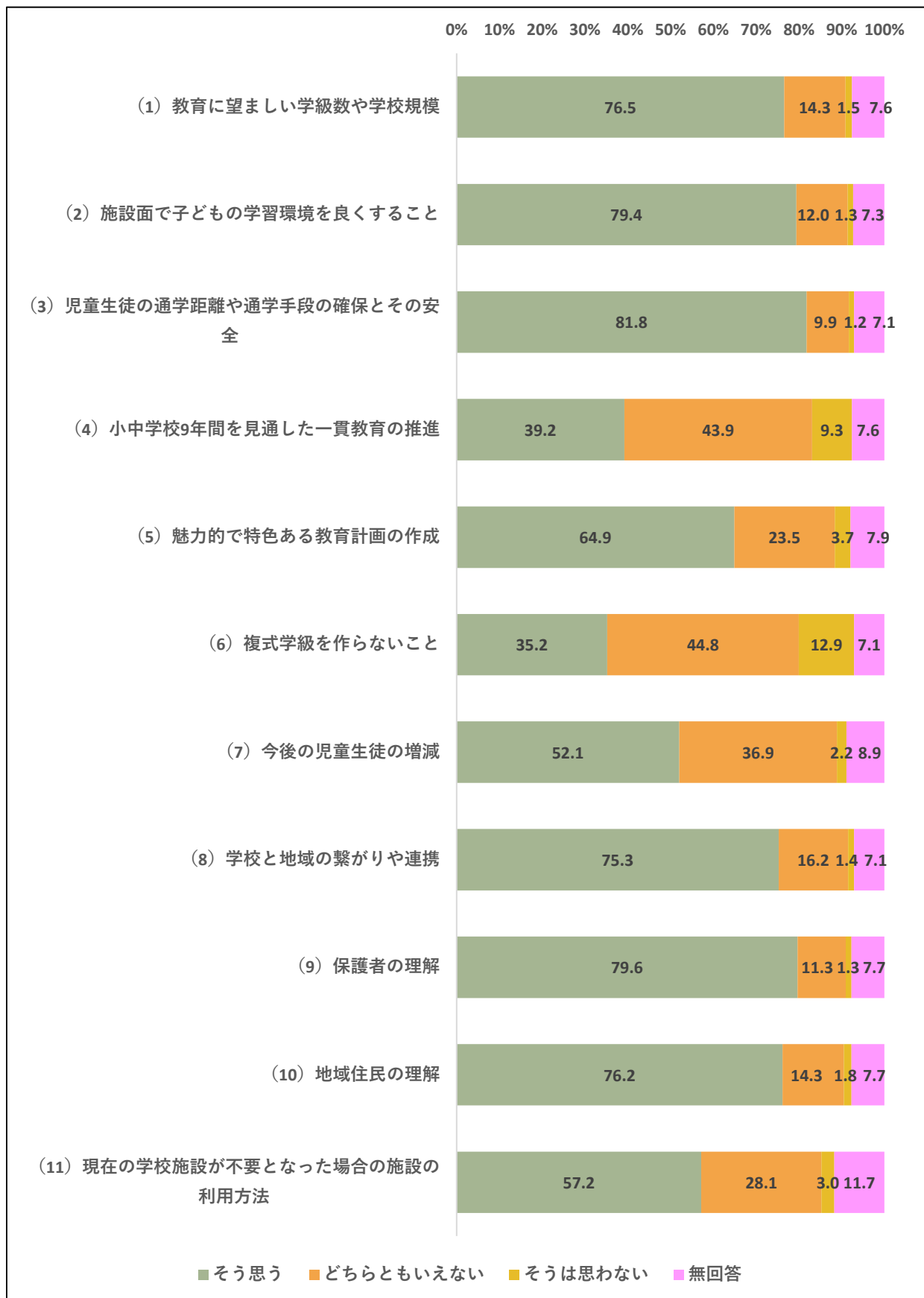
【性別・年齢別・中学校区別】



年齢別では、「20歳代」、「80歳以上」で「2km未満」の、「20歳代」で「6km未満」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」で「4km未満」の、「岩代中」で「6km未満」の割合が比較的高くなっている。

5.適正規模・適正配置を検討するうえで配慮すべき点について

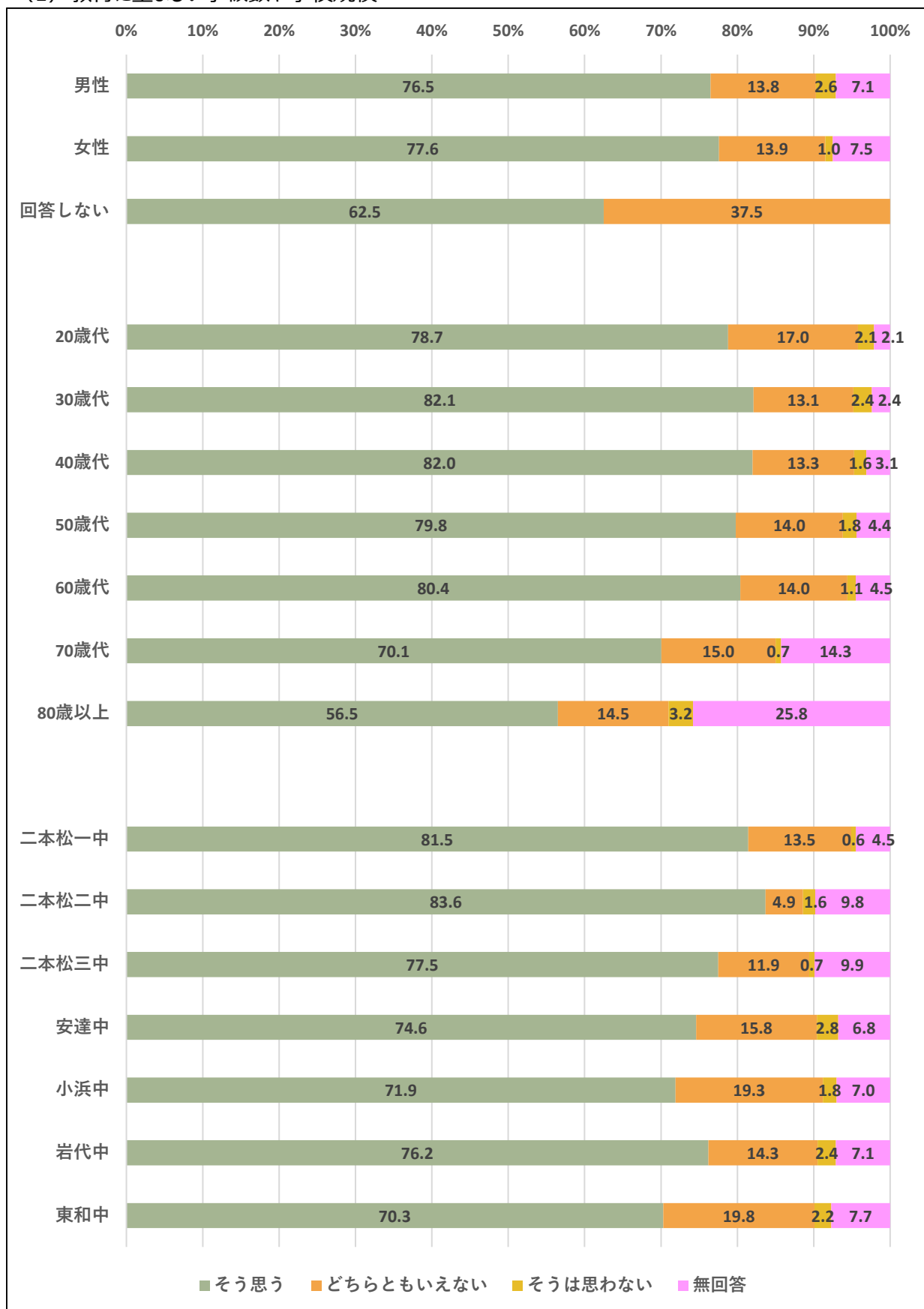
問22 今後、学校の適正規模・適正配置を検討するうえで配慮すべき点はどのようなことだと思いますか。
(それぞれ1つ○)



多くの項目で「そう思う」の割合が最も高くなっているが、「小中学校9年間を見通した一貫教育の推進」、「複式学級を作らないこと」で「どちらともいえない」の割合が最も高く、「そうは思わない」の割合も比較的高くなっている。

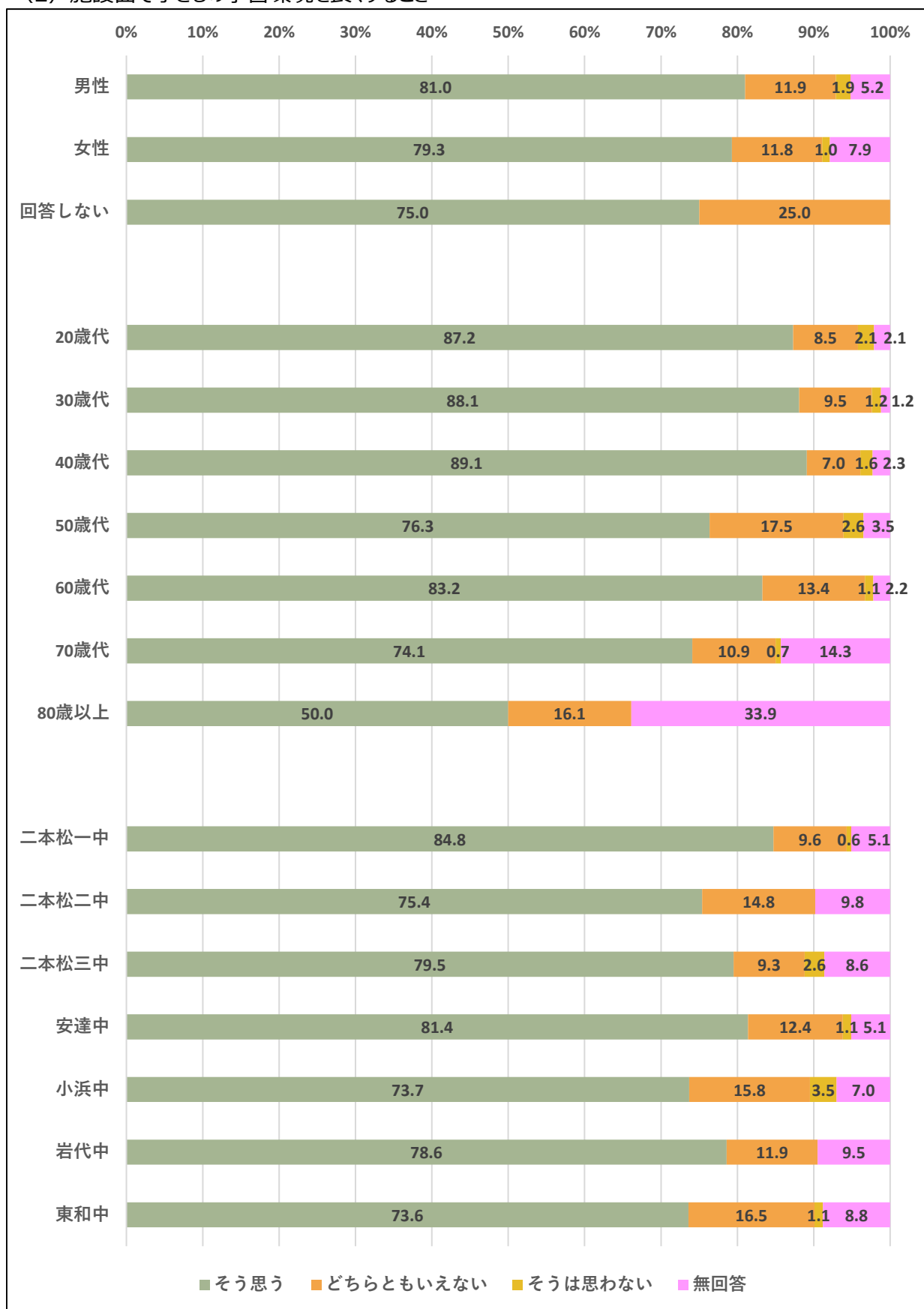
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 教育に望ましい学級数や学校規模



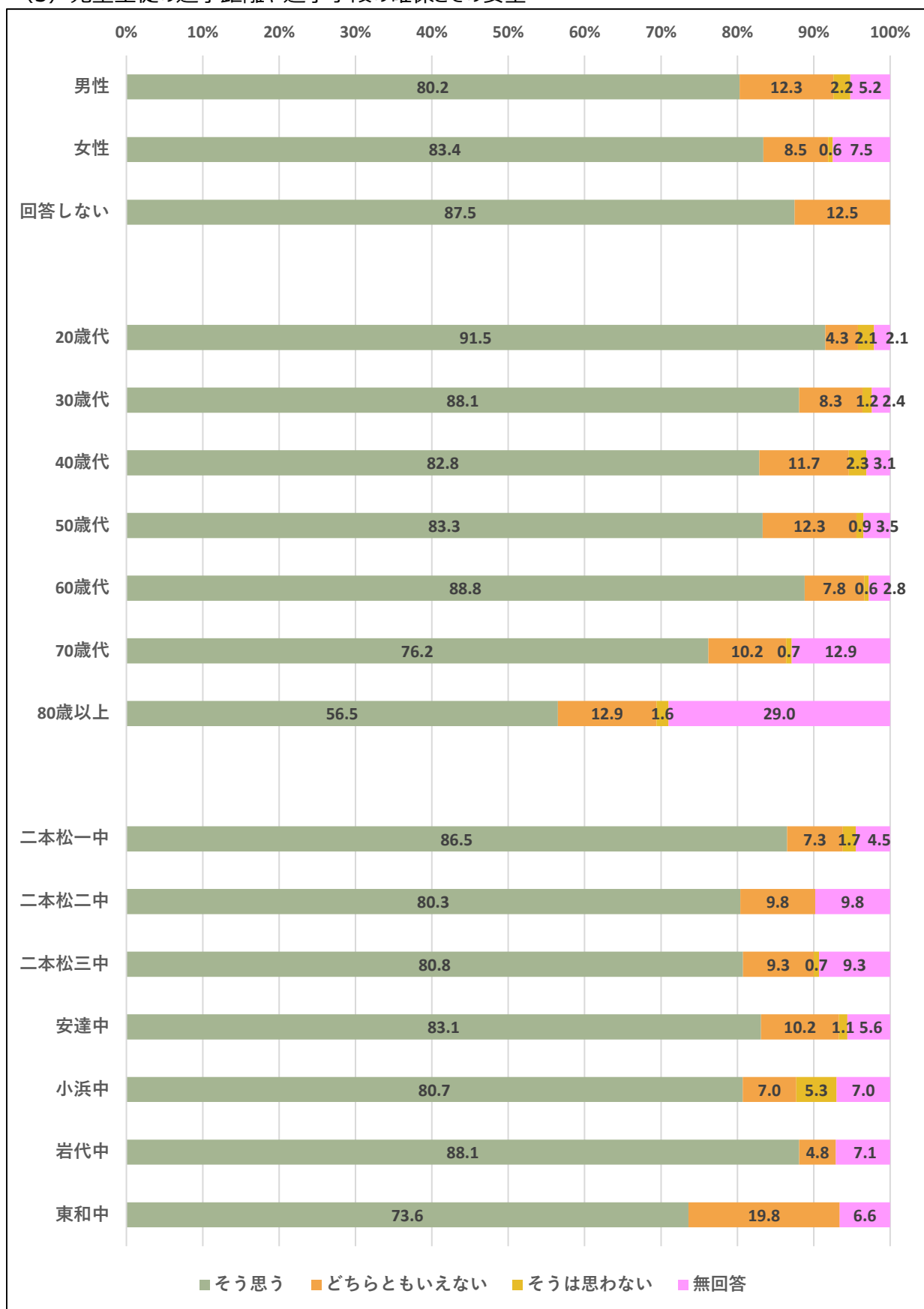
中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」で「そう思う」の、「小浜中」、「東和中」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

(2) 施設面で子どもの学習環境を良くすること



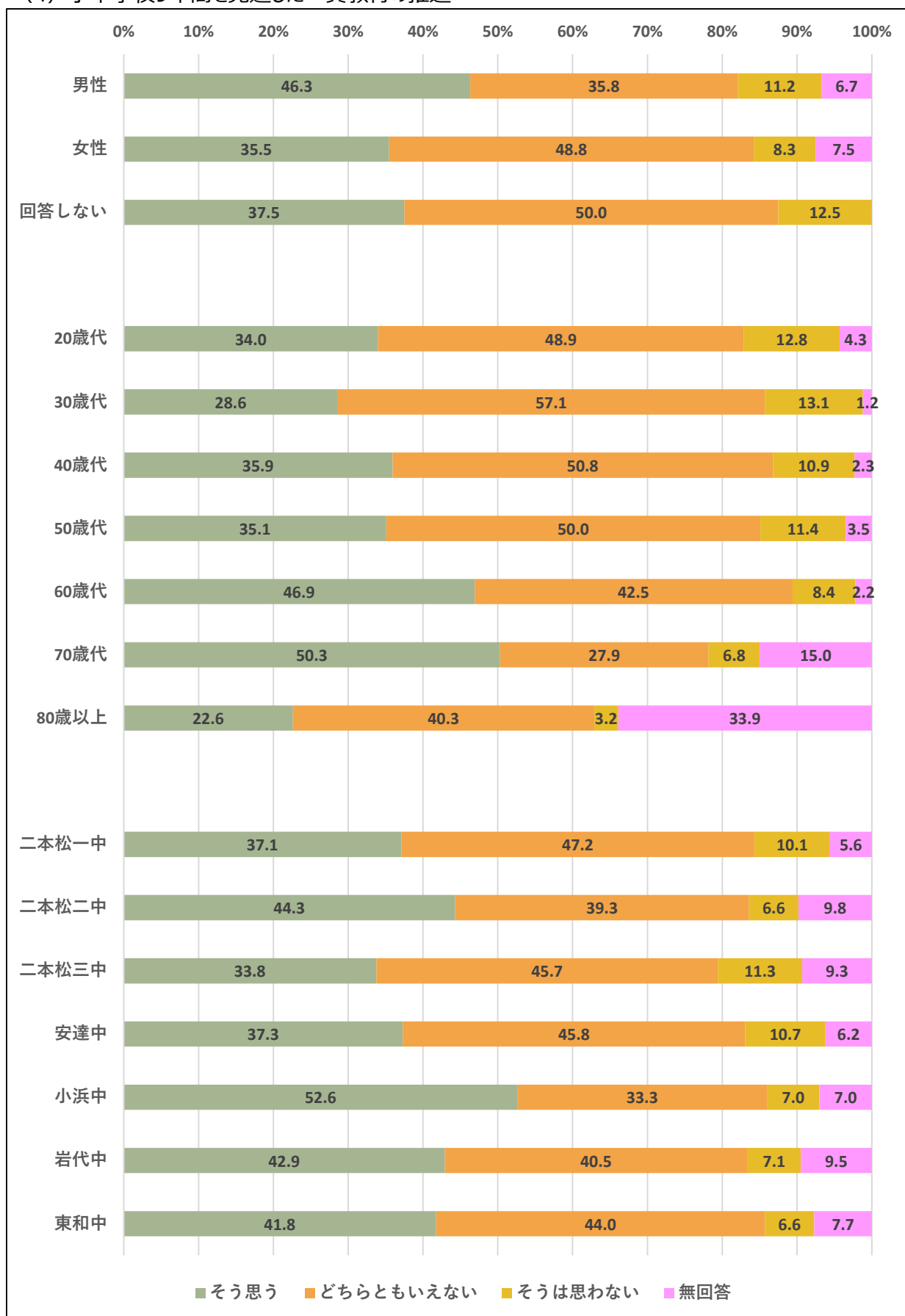
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(3) 児童生徒の通学距離や通学手段の確保とその安全



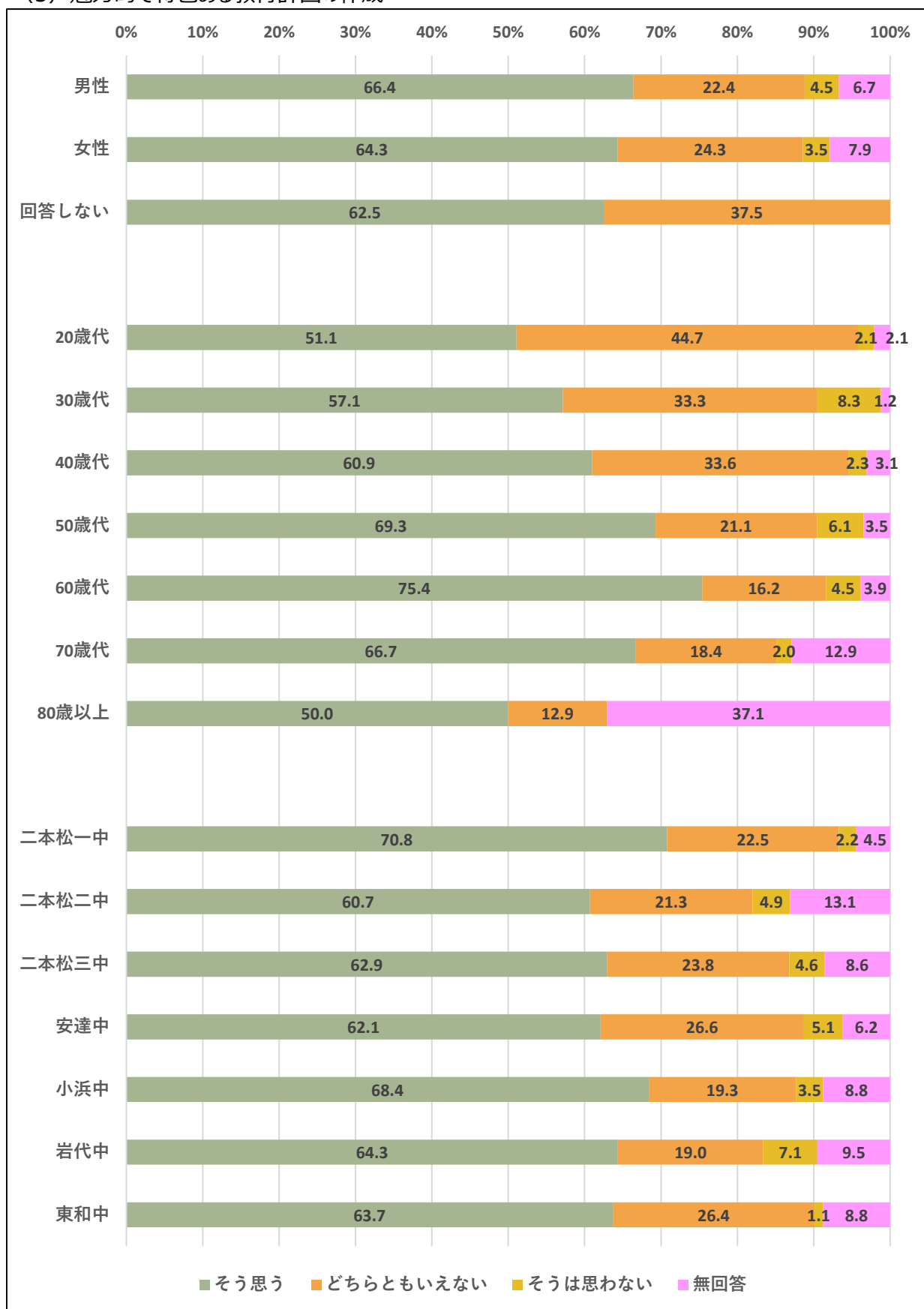
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「60歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「岩代中」で「そう思う」の、「小浜中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) 小中学校9年間を見通した一貫教育の推進



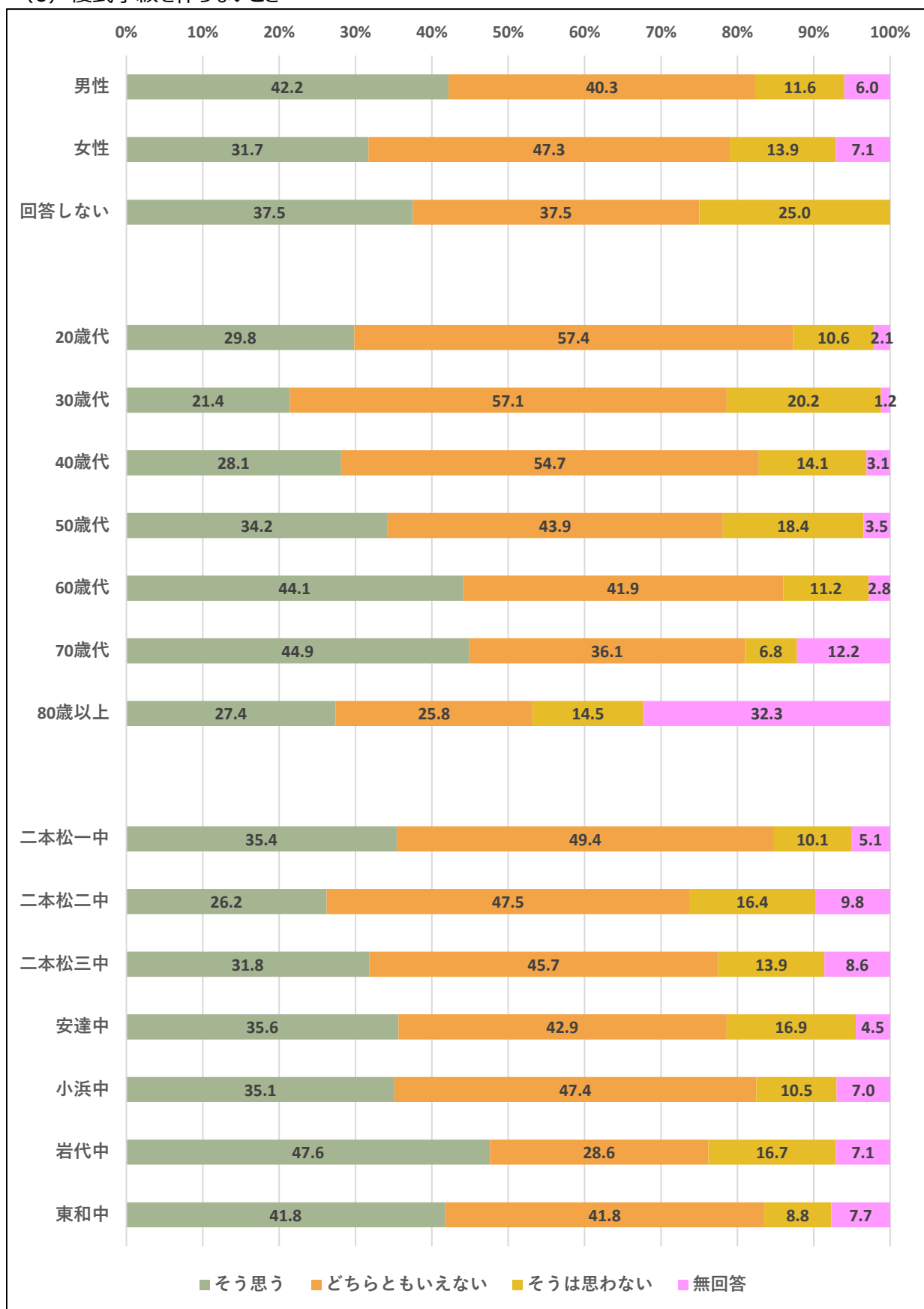
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「60歳代」、「70歳代」で「そう思う」の、「20歳代」から「50歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(5) 魅力的で特色ある教育計画の作成



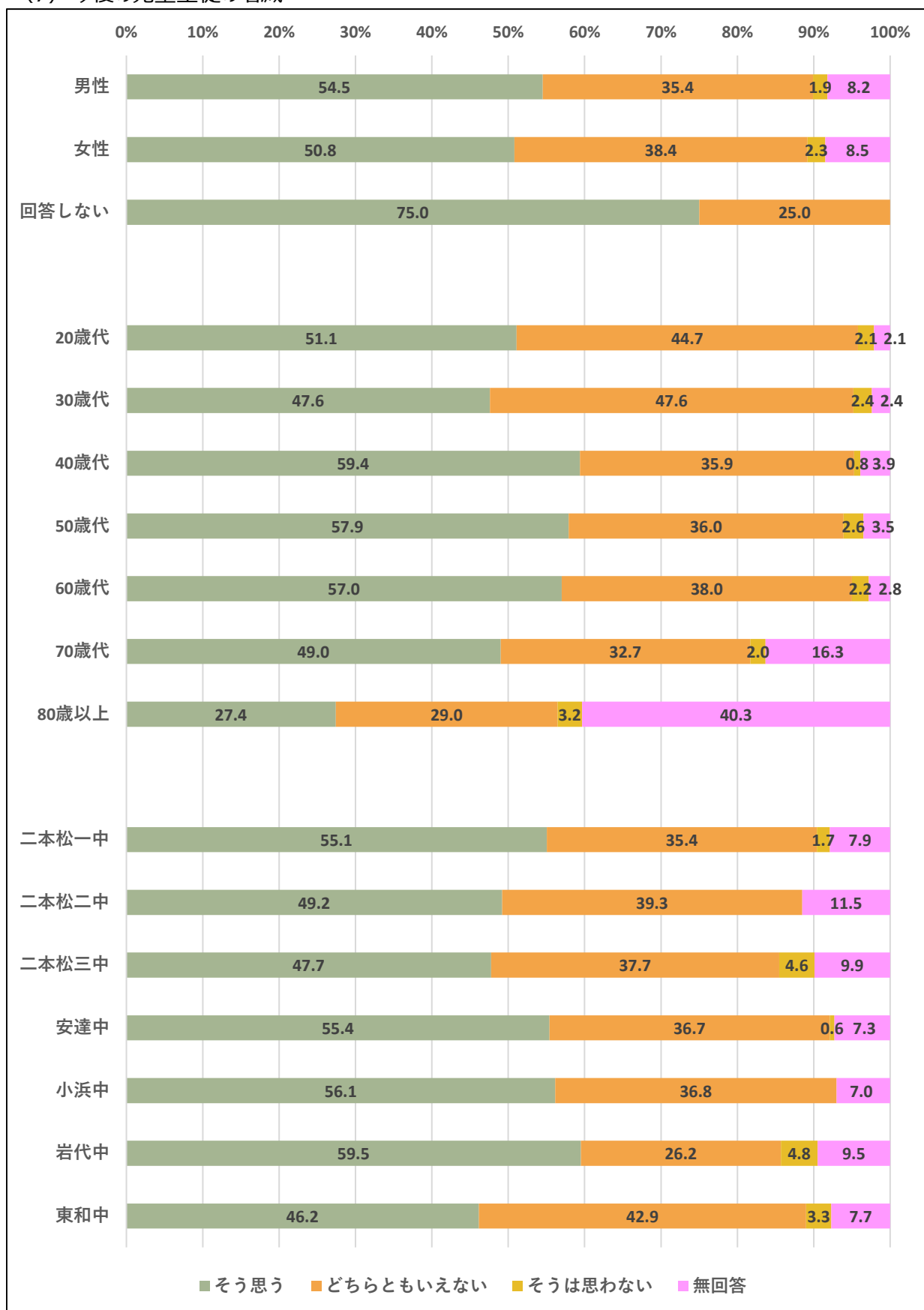
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。
 中学校区別では、「二本松一中」、「小浜中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(6) 複式学級を作らないこと



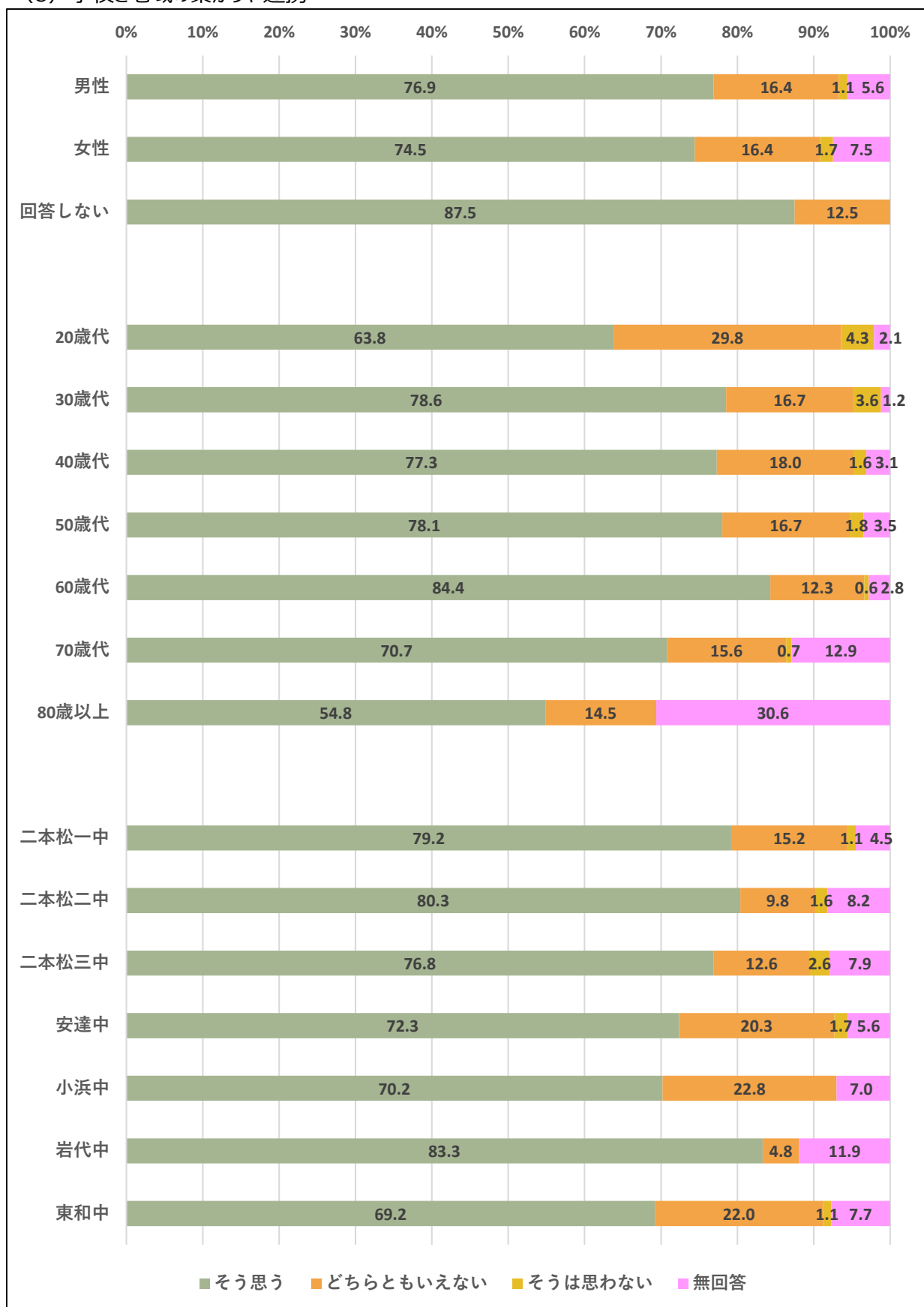
性別では、「男性」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。年齢別では、「60歳代」、「70歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「どちらともいえない」の、「30歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」、「東和中」で「そう思う」の、「二本松一中」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

(7) 今後の児童生徒の増減



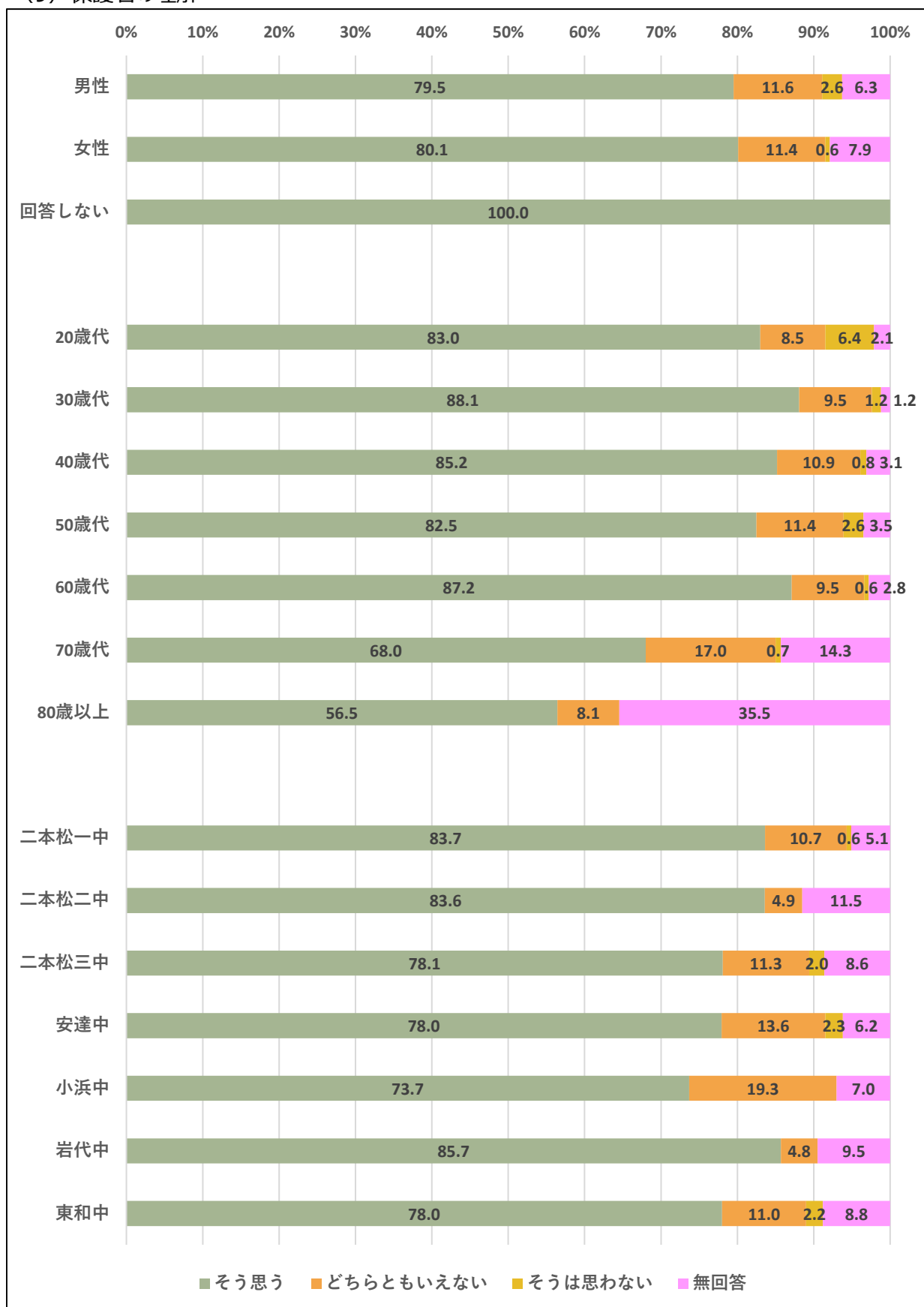
年齢別では、「40歳代」、「50歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「30歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の割合が比較的高い半面、「そうは思わない」の割合も比較的高くなっている。また、「東和中」で「どちらともいえない」の、「二本松三中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(8) 学校と地域の繋がりや連携



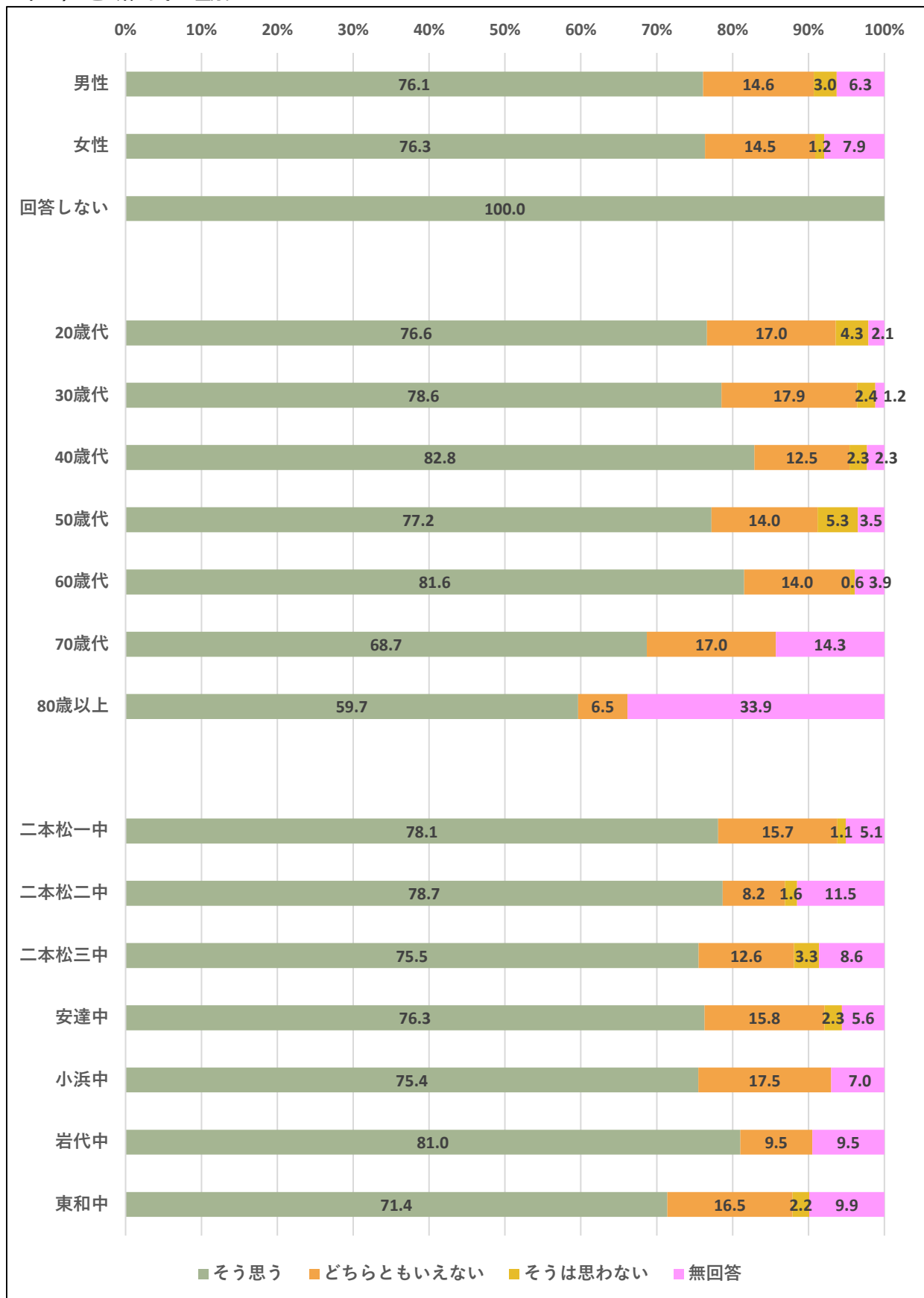
年齢別では、「60歳代」で「そう思う」の、「20歳代」で「どちらともいえない」の、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」、「岩代中」で「そう思う」の、「安達中」、「小浜中」、「東和中」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

(9) 保護者の理解



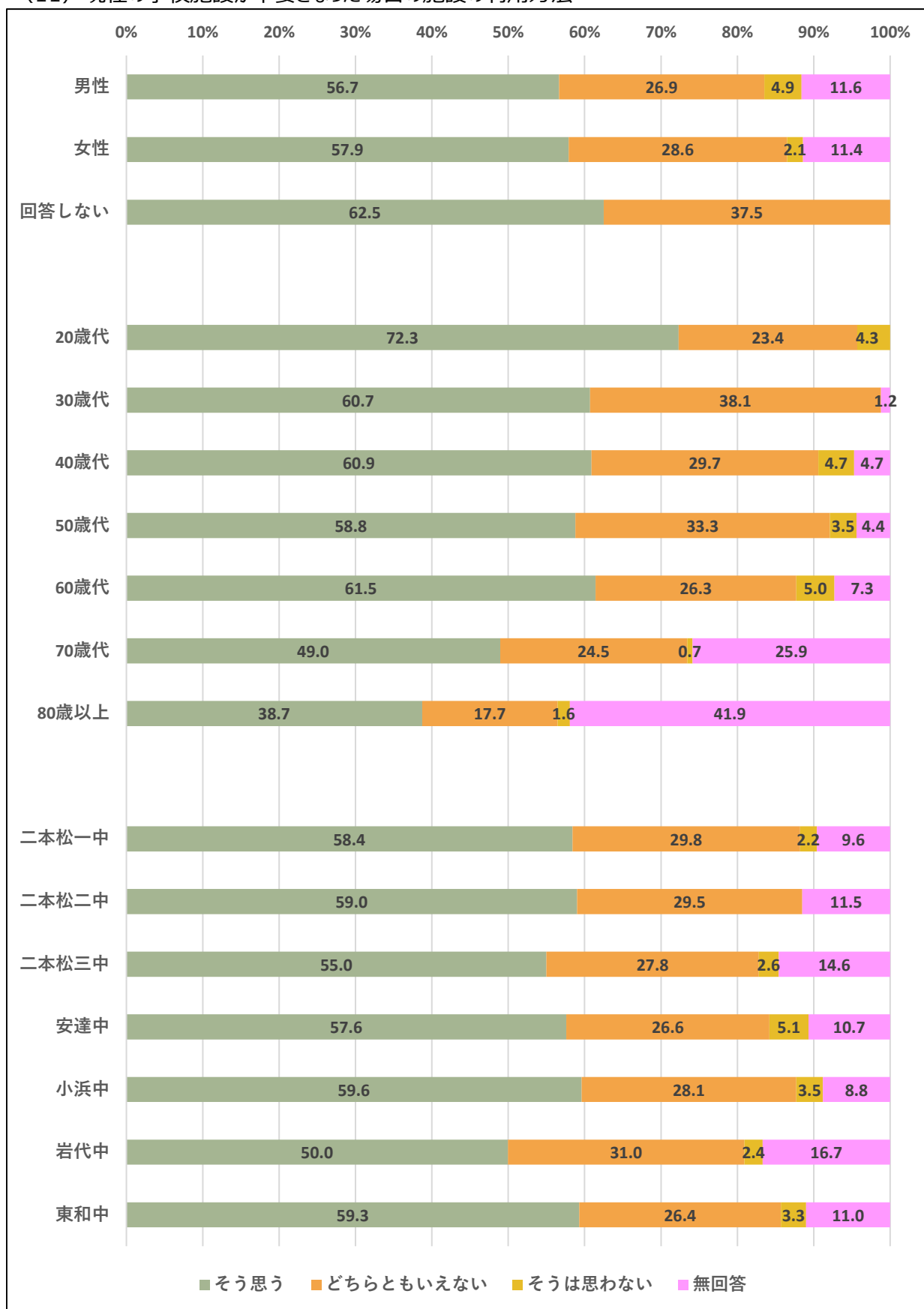
年齢別では、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」で、「そう思う」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」、「岩代中」で「そう思う」の割合が高くなっている。

(10) 地域住民の理解



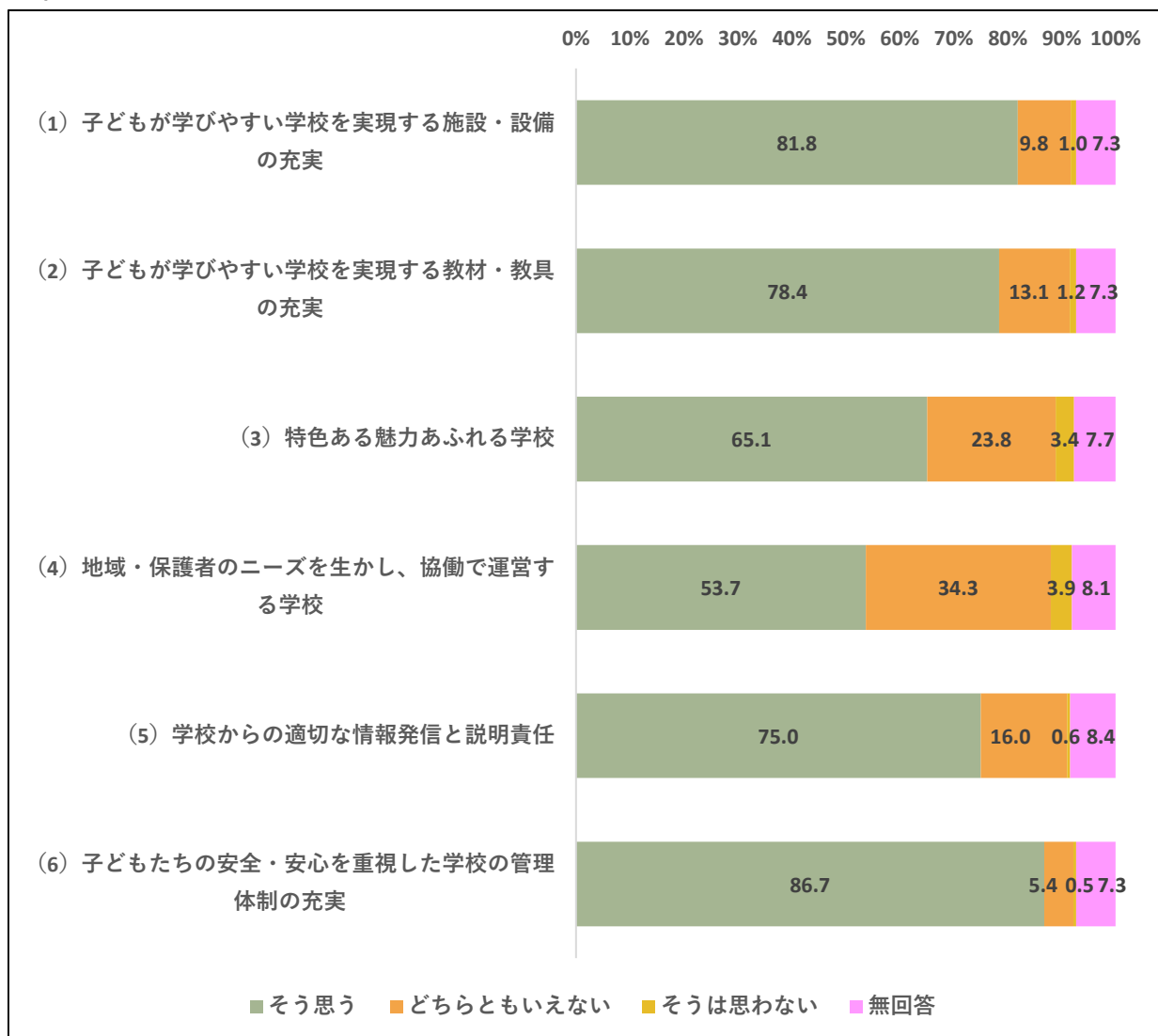
年齢別では、「40歳代」、「60歳代」で「そう思う」の、「20歳代」、「50歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(11) 現在の学校施設が不要となった場合の施設の利用方法



年齢別では、「20歳代」で「そう思う」の、「30歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

問23 子どもたちの学校教育や学校生活に関してどのようなことが重要だと思いますか。（それぞれ1つ○）

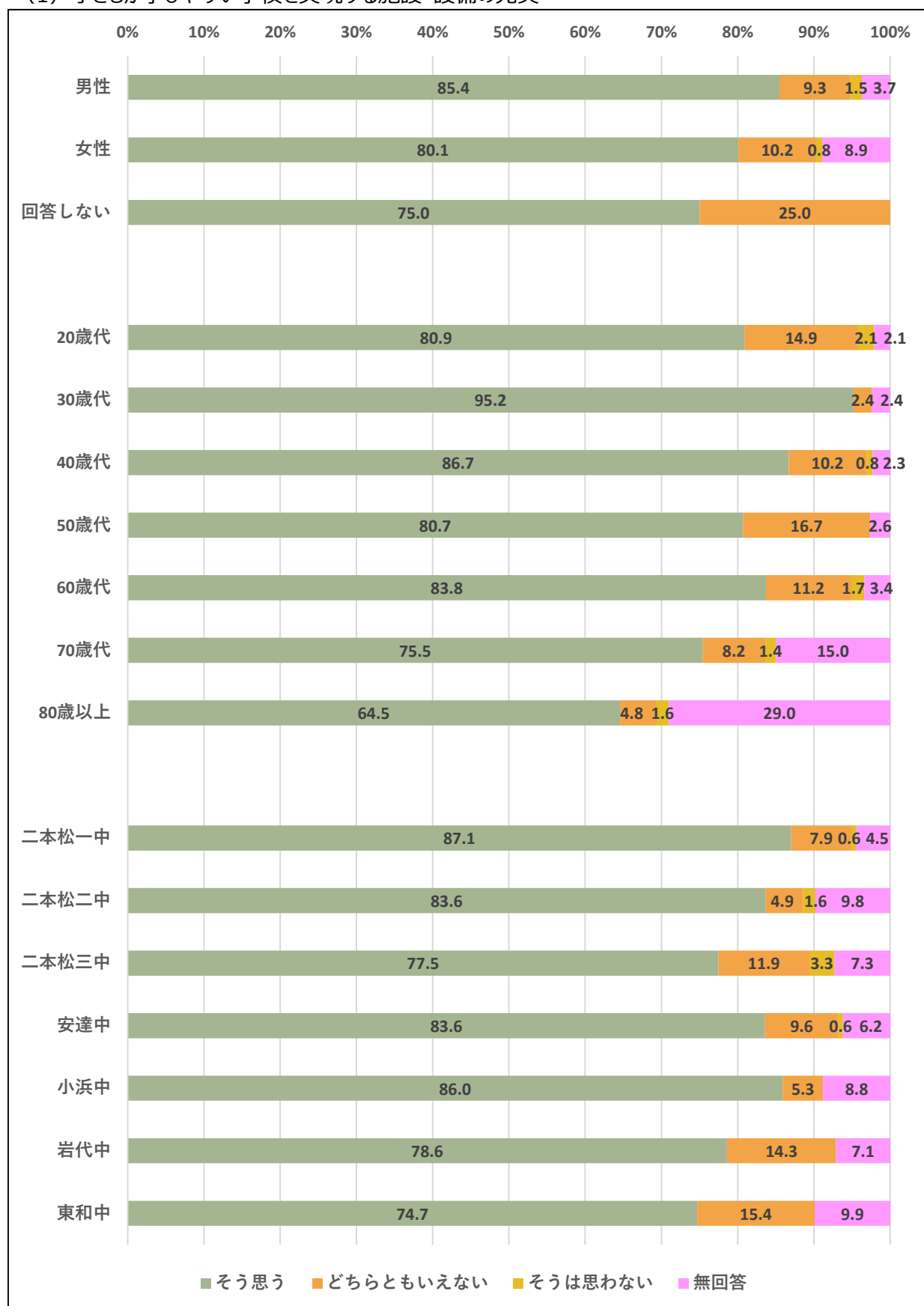


すべての項目で「そう思う」の割合が一番高くなっているが、「地域・保護者のニーズを生かし、協働で運営する学校」、「特色ある魅力あふれる学校」で「どちらともいえない」の割合が高めとなっている。

「そう思う」の割合が一番高いのは、「子どもたちの安全・安心を重視した学校の管理体制の充実」（86.7%）で、次いで「子どもが学びやすい学校を実現する施設・設備の充実」（81.8%）、「子どもが学びやすい学校を実現する教材・教具の充実」（78.4%）、「学校からの適切な情報発信と説明責任」（75.0%）となっている。

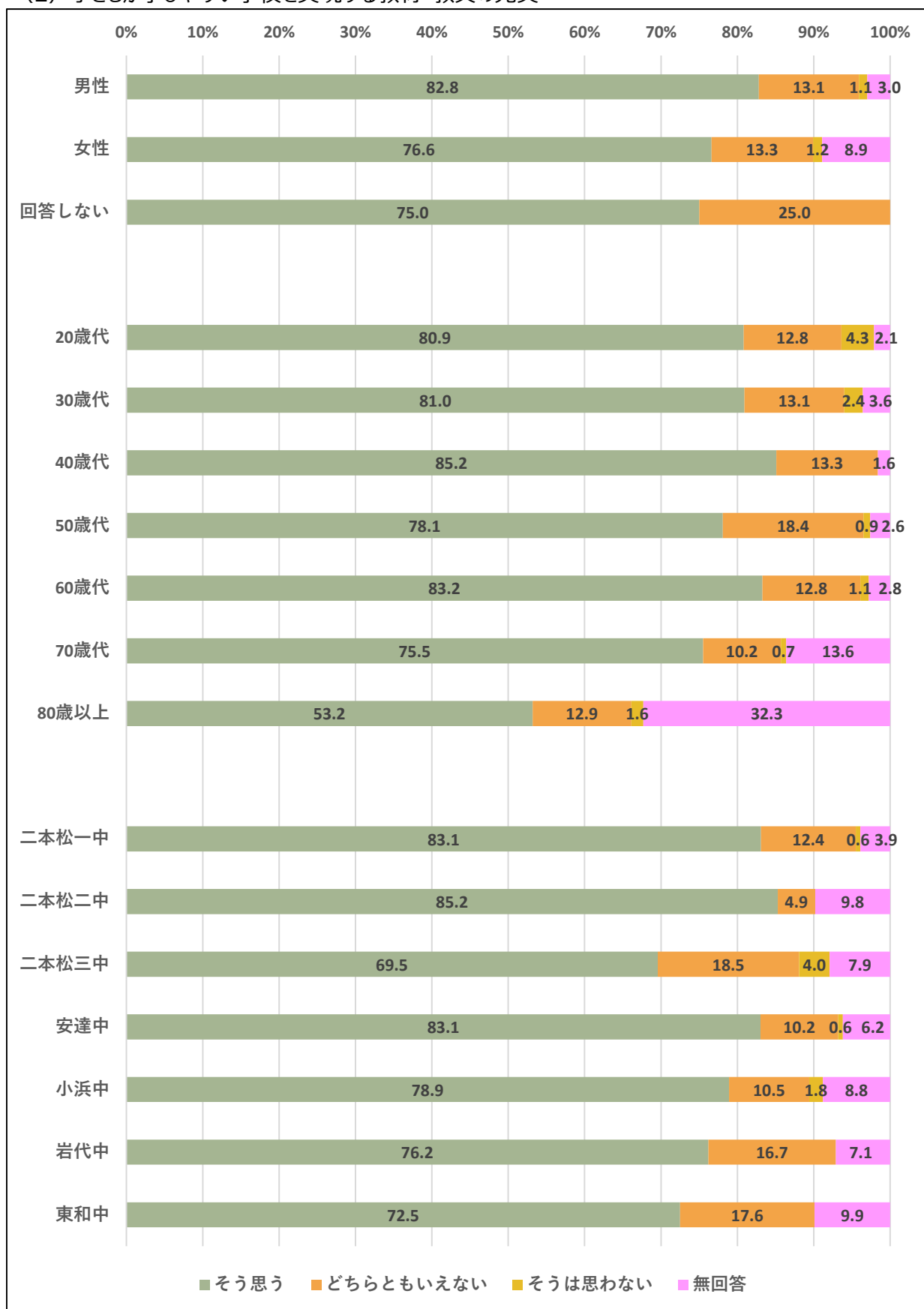
【性別・年齢別・中学校区別】

(1) 子どもが学びやすい学校を実現する施設・設備の充実



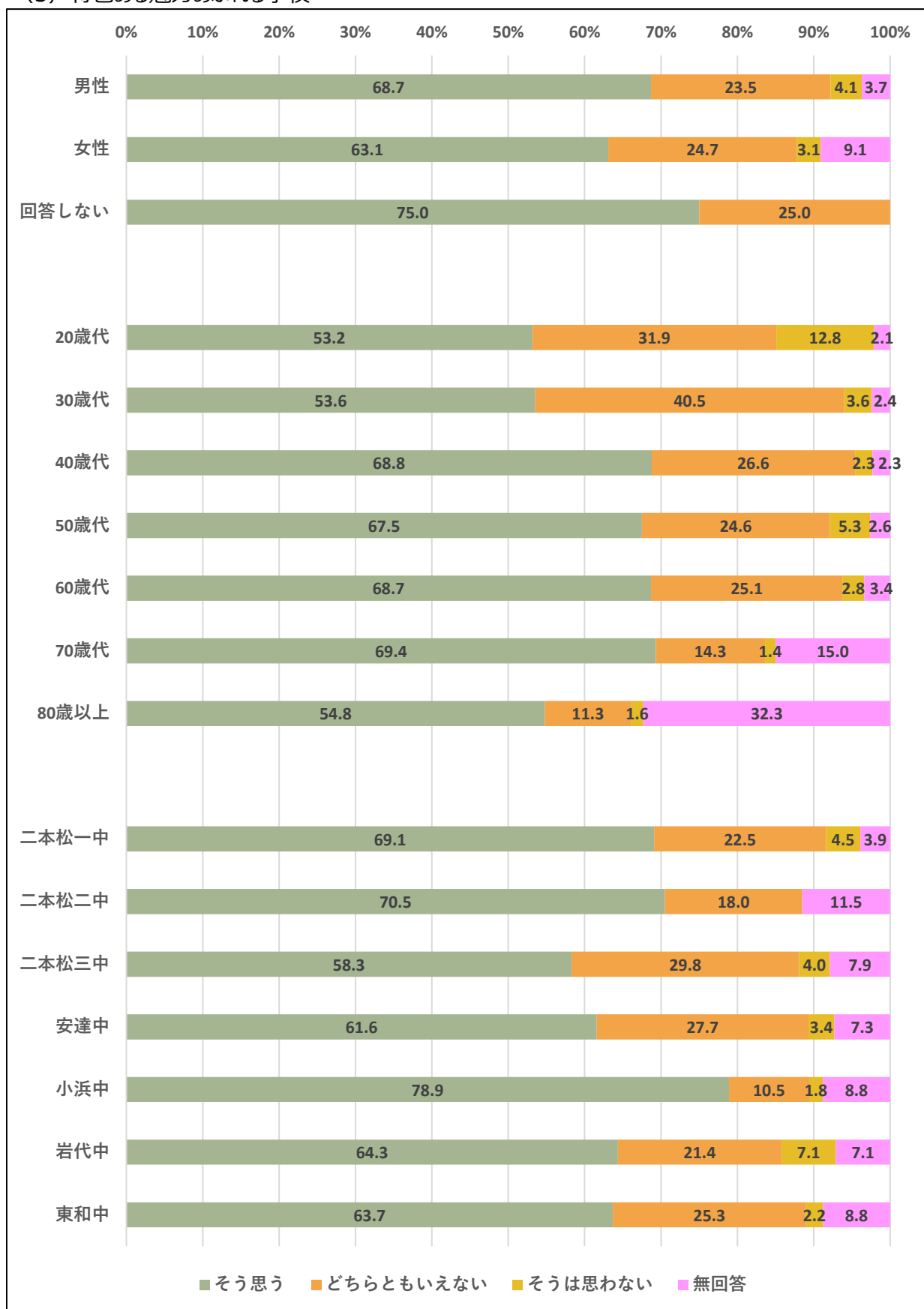
年齢別では、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「小浜中」で「そう思う」の割合が比較的高くなっている。

(2) 子どもが学びやすい学校を実現する教材・教具の充実



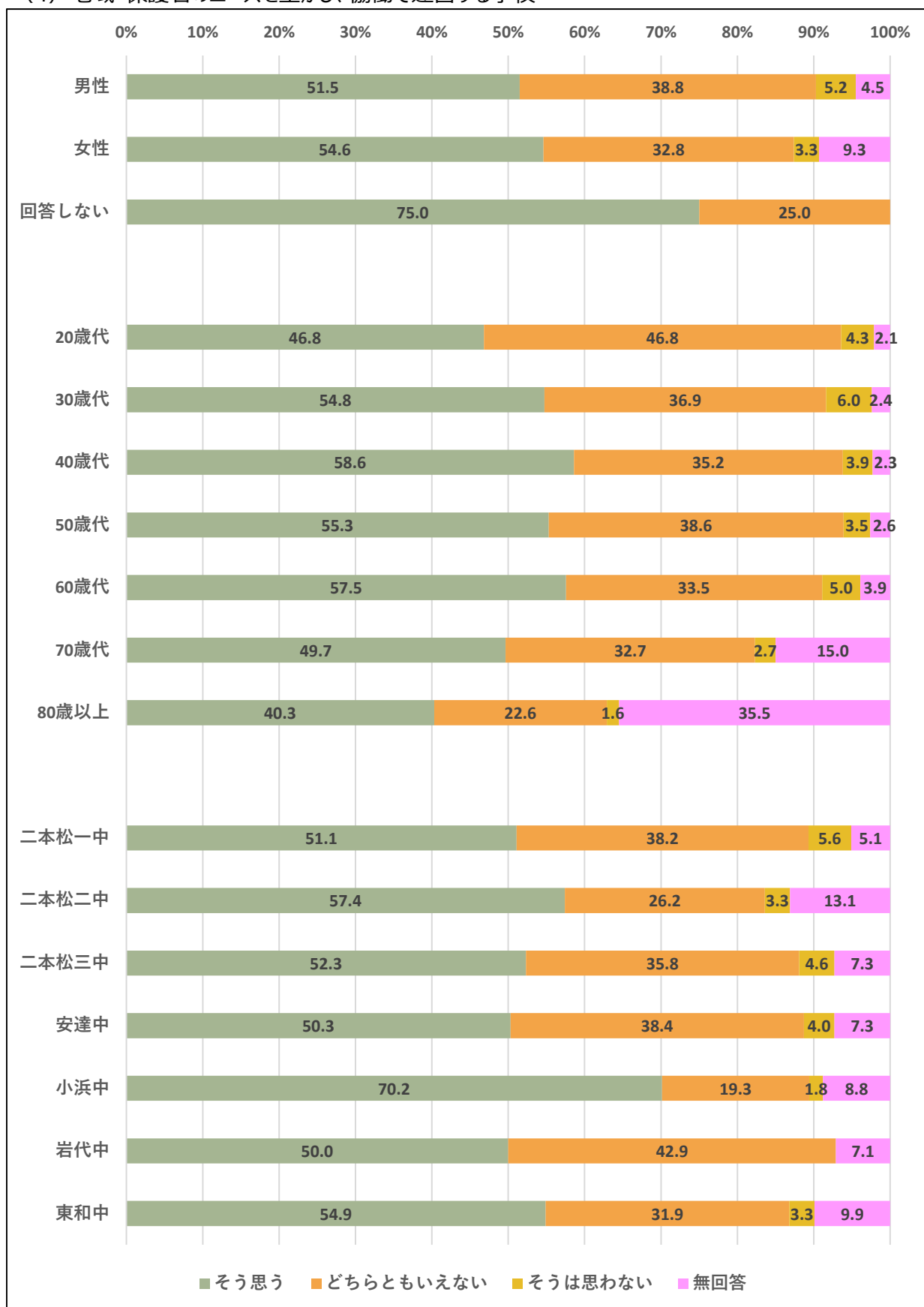
年齢別では、「40歳代」、「60歳代」で「そう思う」の、「50歳代」で「どちらともいえない」の、「20歳代」、「30歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松一中」、「二本松二中」、「安達中」で「そう思う」の、「二本松三中」、「岩代中」、「東和中」で「どちらともいえない」の、「二本松三中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(3) 特色ある魅力あふれる学校



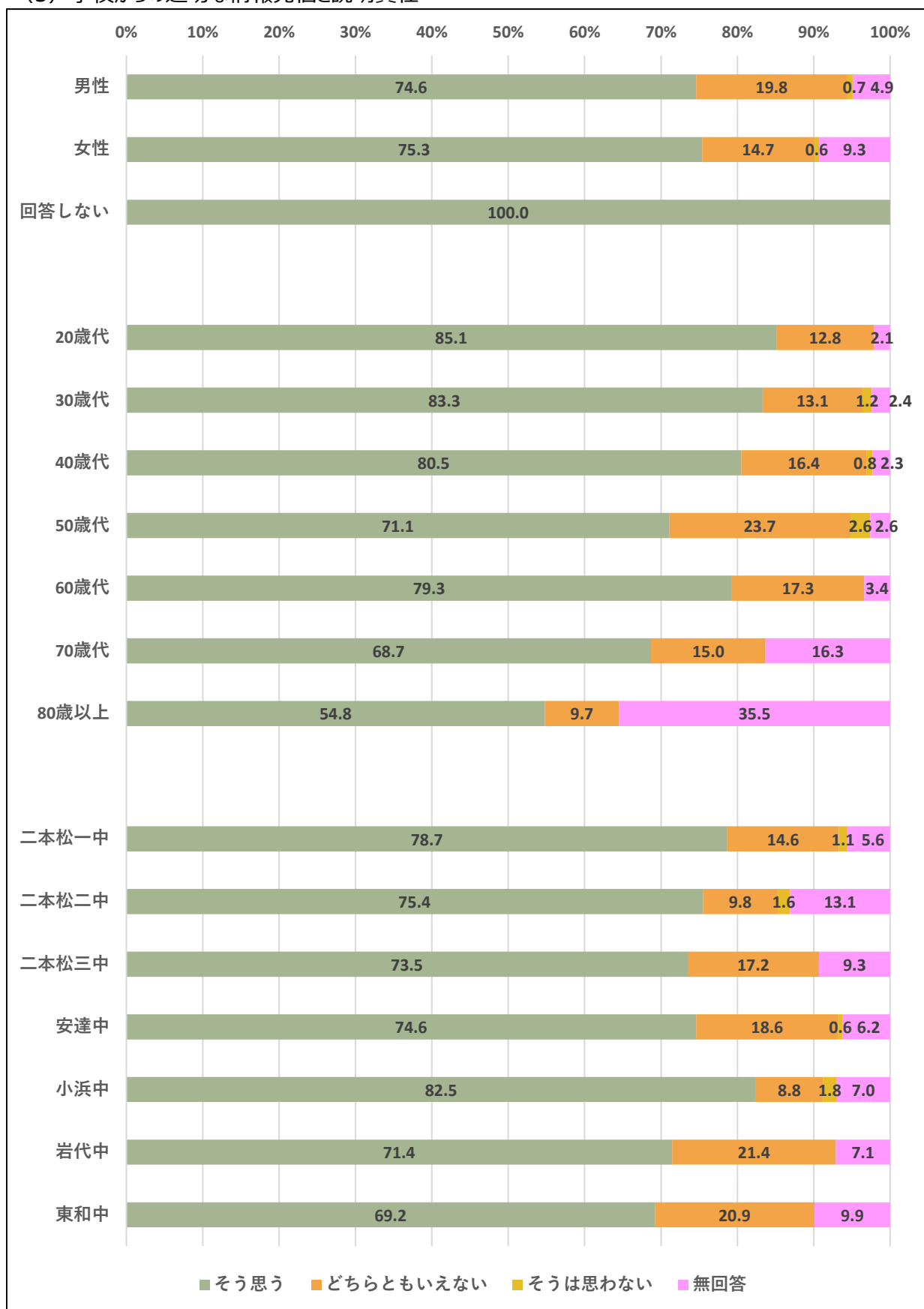
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」で「どちらともいえない」の、「20歳代」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「二本松二中」、「小浜中」で「そう思う」の、「二本松三中」、「安達中」、「東和中」で「どちらともいえない」の、「岩代中」で「そうは思わない」の割合が比較的高くなっている。

(4) 地域・保護者のニーズを生かし、協働で運営する学校



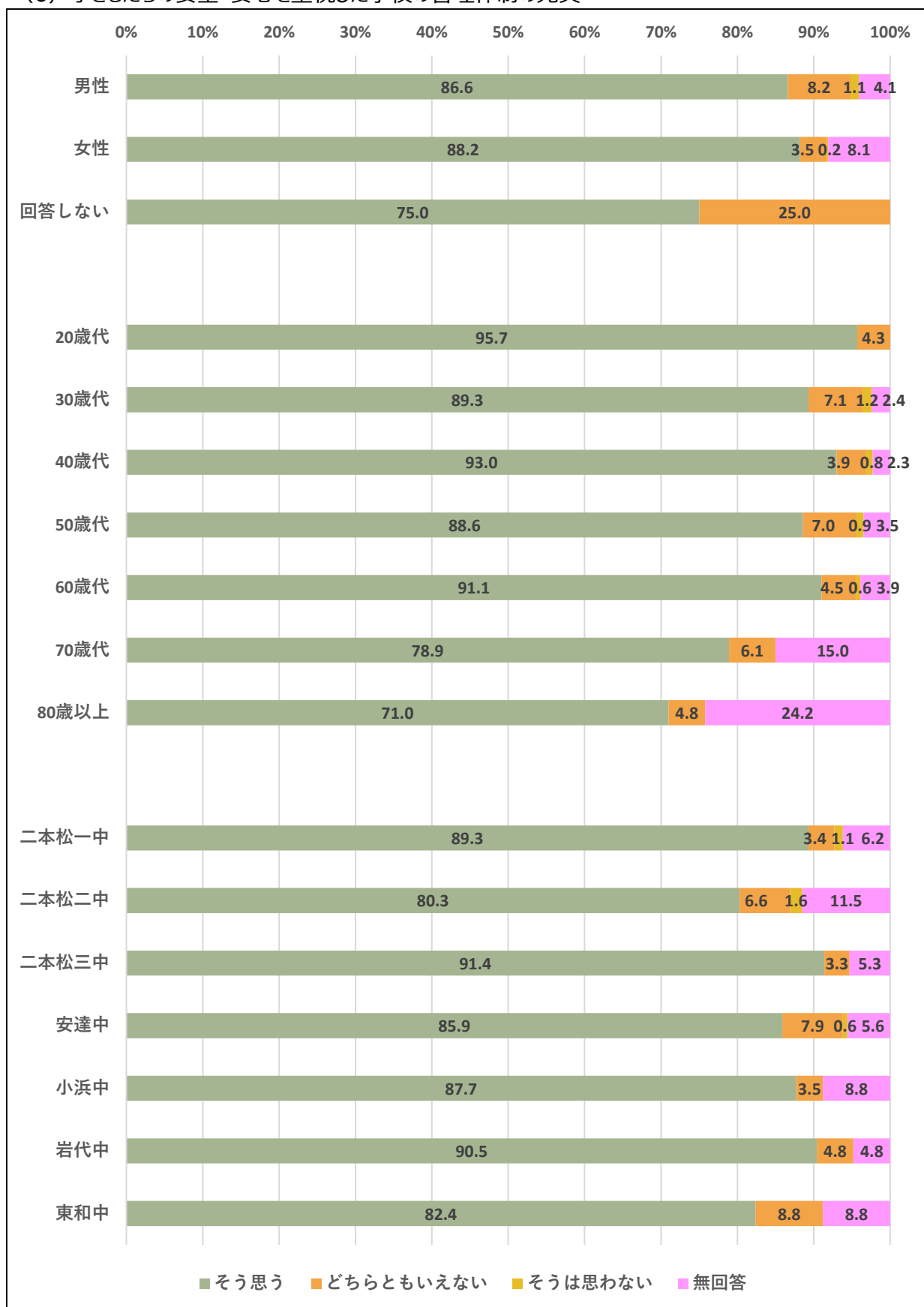
年齢別では、「40歳代」、「60歳代」で「そう思う」の、「20歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」で「そう思う」の、「岩代中」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

(5) 学校からの適切な情報発信と説明責任



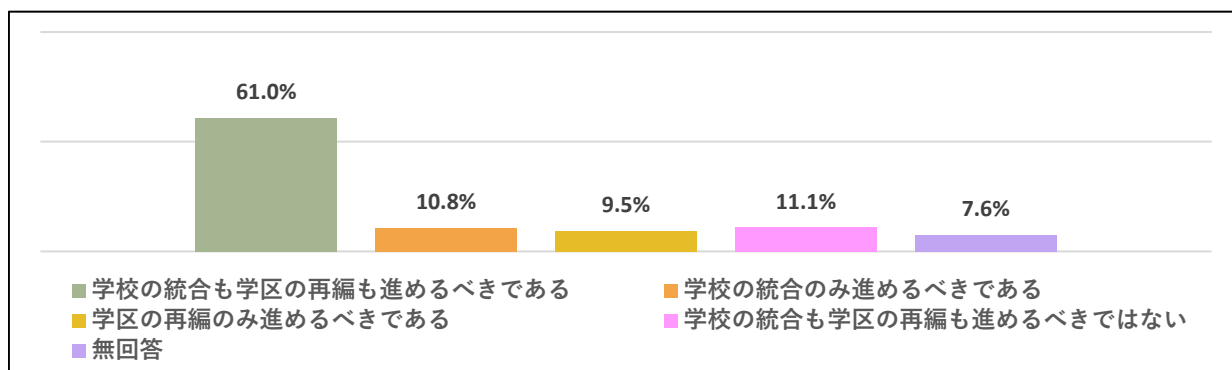
年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「そう思う」の、「50歳代」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「小浜中」で「そう思う」の、「岩代中」、「東和中」で「どちらともいえない」の割合が比較的高くなっている。

(6) 子どもたちの安全・安心を重視した学校の管理体制の充実



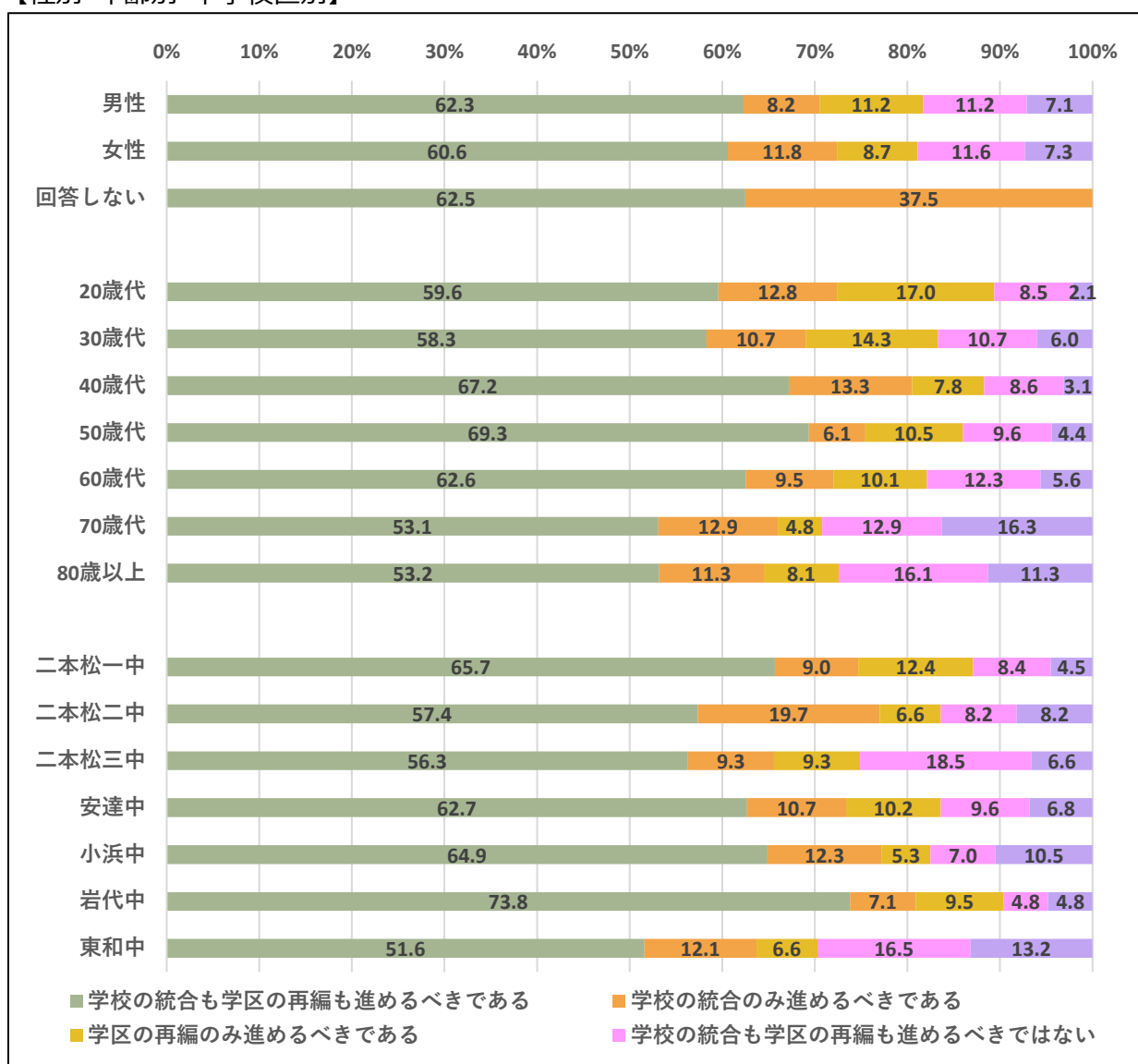
年齢別の「20歳代」、「40歳代」、「60歳代」で、中学校区別の「二本松三中」、「岩代中」で「そう思う」の割合が90%を超え、比較的高くなっている。

問24 少子化の影響で児童生徒数が減少しています。より良い教育環境をめざすという観点から学校の統合や学区の再編が選択肢の一つとして考えられますが、学校の統合や学区の再編についてどのように考えますか。（1つ○）



「学校の統合も学区の再編も進めるべきである」が61.0%と最も高くなっている。

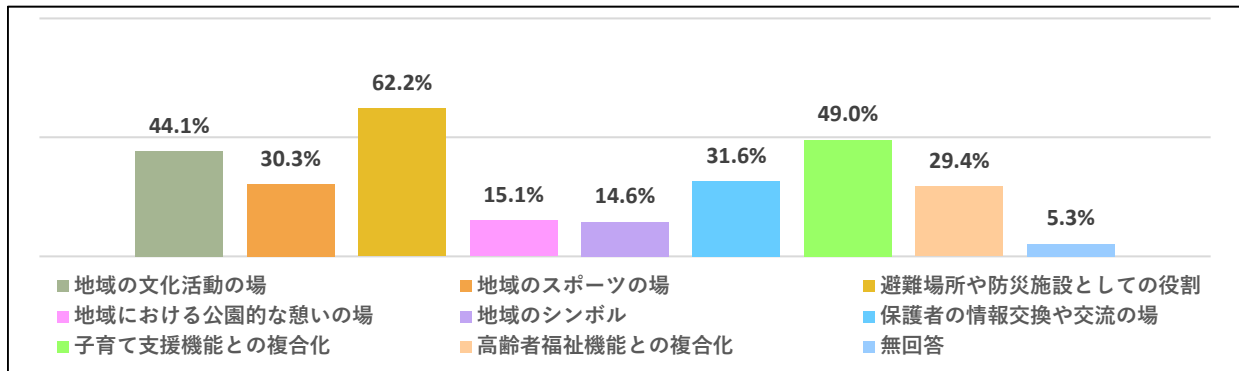
【性別・年齢別・中学校区別】



年齢別では、「40歳代」、「50歳代」で「学校の統合も学区の再編も進めるべきである」の、「20歳代」、「30歳代」で「学区の再編のみ進めるべきである」の割合が比較的高くなっている。中学校区別では、「岩代中」で「学校の統合も学区の再編も進めるべきである」の、「二本松二中」で「学校の統合のみ進めるべきである」の、「二本松三中」、「東和中」で「学校の統合も学区の再編も進めるべきではない」の割合が比較的高くなっている。

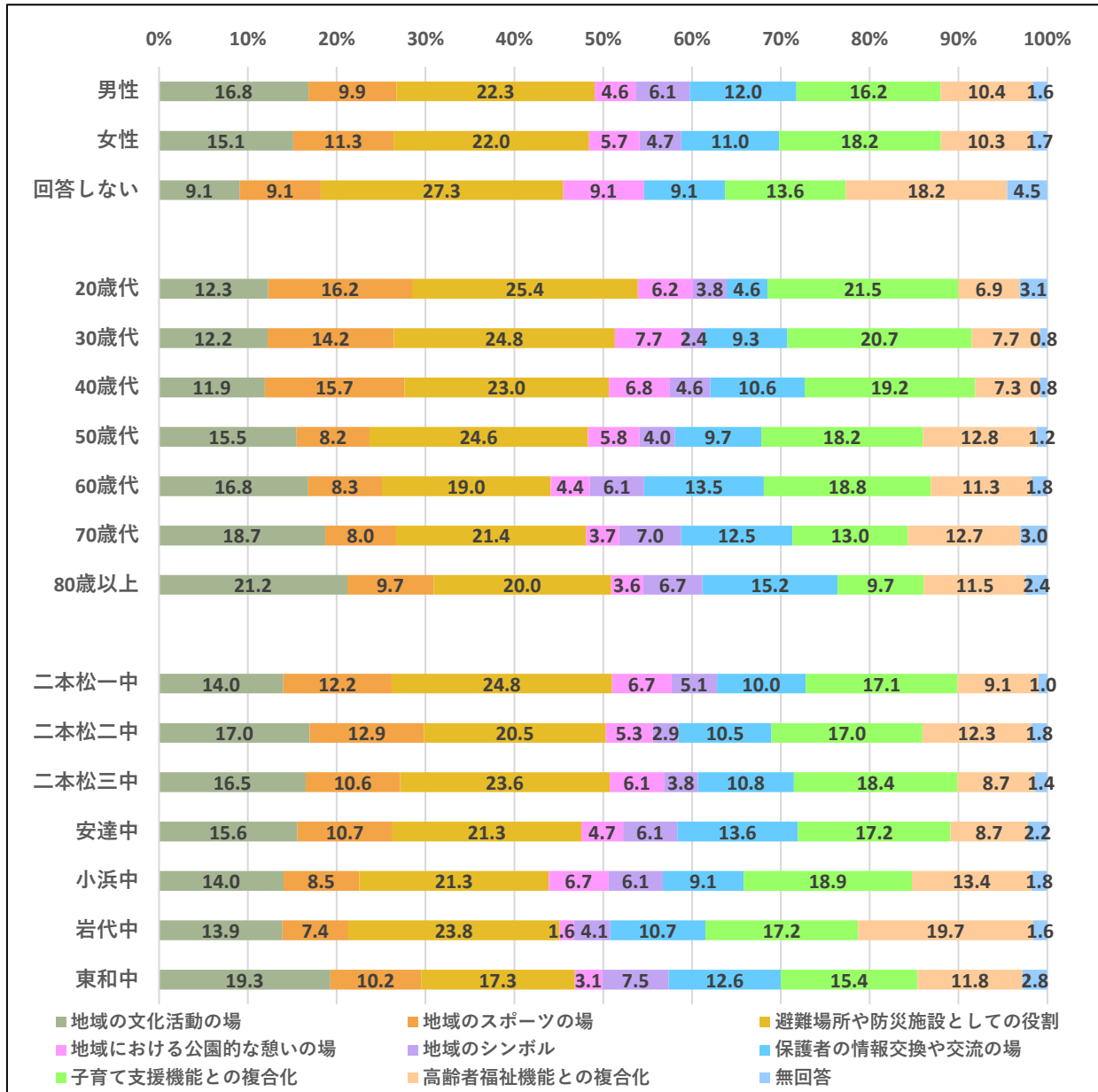
6.地域コミュニティの核としての学校の役割について

問25 小中学校に対して、子どもの教育という面以外に地域コミュニティの側面からどのような役割を期待しますか。(3つ〇)



高い順に、「避難場所や防災施設としての役割」(62.2%)、「子育て支援機能との複合化」(49.0%)、「地域の文化活動の場」(44.1%)、「保護者の情報交換や交流の場」(31.6%)、「地域のスポーツの場」(30.3%)、「高齢者福祉機能との複合化」(29.4%)、「地域における公園的な憩いの場」(15.1%)、「地域のシンボル」(14.6%)となっている。

【性別・年齢別・中学校区別】



【上位3項目・性別】

	全体	男性	女性	回答しない
1位	避難場所や防災施設としての役割 22.1%	避難場所や防災施設としての役割 22.3%	避難場所や防災施設としての役割 22.0%	避難場所や防災施設としての役割 27.3%
2位	子育て支援機能との複合化 17.4%	地域の文化活動の場 16.8%	子育て支援機能との複合化 18.2%	高齢者福祉機能との複合化 18.2%
3位	地域の文化活動の場 15.7%	子育て支援機能との複合化 16.2%	地域の文化活動の場 15.1%	子育て支援機能との複合化 13.6%

【上位3項目・年齢別】

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
1位	避難場所や防災施設としての役割 22.1%	避難場所や防災施設としての役割 25.4%	避難場所や防災施設としての役割 24.8%	避難場所や防災施設としての役割 23.0%	避難場所や防災施設としての役割 24.6%	避難場所や防災施設としての役割 19.0%	避難場所や防災施設としての役割 21.4%	地域の文化活動の場 21.2%
2位	子育て支援機能との複合化 17.4%	子育て支援機能との複合化 21.5%	子育て支援機能との複合化 20.7%	子育て支援機能との複合化 19.2%	子育て支援機能との複合化 18.2%	子育て支援機能との複合化 18.8%	地域の文化活動の場 18.7%	避難場所や防災施設としての役割 20.0%
3位	地域の文化活動の場 15.7%	地域のスポーツの場 16.2%	地域のスポーツの場 14.2%	地域のスポーツの場 15.7%	地域の文化活動の場 15.5%	地域の文化活動の場 16.8%	子育て支援機能との複合化 13.0%	保護者の情報交換や交流の場 15.2%

【上位3項目・中学校区別】

	全体	二本松一中	二本松二中	二本松三中	安達中	小浜中	岩代中	東和中
1位	避難場所や防災施設としての役割 22.1%	避難場所や防災施設としての役割 24.8%	避難場所や防災施設としての役割 20.5%	避難場所や防災施設としての役割 23.6%	避難場所や防災施設としての役割 21.3%	避難場所や防災施設としての役割 21.3%	避難場所や防災施設としての役割 23.8%	地域の文化活動の場 19.3%
2位	子育て支援機能との複合化 17.4%	子育て支援機能との複合化 17.1%	子育て支援機能との複合化 17.0%	子育て支援機能との複合化 18.4%	子育て支援機能との複合化 17.2%	子育て支援機能との複合化 18.9%	高齢者福祉機能との複合化 19.7%	避難場所や防災施設としての役割 17.3%
3位	地域の文化活動の場 15.7%	地域の文化活動の場 14.0%	地域の文化活動の場 17.0%	地域の文化活動の場 16.5%	地域の文化活動の場 15.6%	地域の文化活動の場 14.0%	子育て支援機能との複合化 17.2%	子育て支援機能との複合化 15.4%

性別では、「女性」の「子育て支援機能との複合化」の割合が高くなっている。年齢別では、「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」で「地域のスポーツの場」が3位に入っている。また、「70歳代」、「80歳以上」で「地域の文化活動の場」の割合が高く、「80歳以上」で「保護者の情報交換や交流の場」が3位に入っている。中学校区別では、「岩代中」で「高齢者福祉機能との複合化」の割合が、「東和中」で「地域の文化活動の場」の割合が高くなっている。